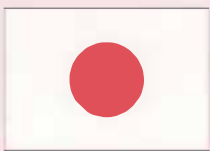


課内保存用

※配付厳禁※

平成19年度 ジュニアスタディーツアー報告書 Junior Study Tour 2007 Report



日本



ブラジル



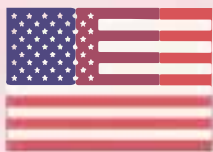
アルゼンチン



ペルー



ボリビア



アメリカ



カナダ



フィリピン



ドイツ



沖縄県

はじめに

ジュニアスタディーツアーは、海外の沖縄県系人子弟を本県に招待し、県内の中・高校生とともに、沖縄の歴史、文化、自然等について学び、母県・沖縄との絆を深めることにより、海外県系人社会の発展と次世代のウチナーネットワークの担い手を育成することを目的としています。

本事業は、平成13年に「第3回世界のウチナーンチュ大会」のプレイベントとして実施されましたが、海外県人会等からの強い継続要望を受け、平成14年度から継続して実施しています。

平成19年度は、平成19年7月23日から7月29日まで一週間の日程でツアーを実施しました。今回のツアーには、海外8カ国、13の沖縄県人会から17名の参加者と4名の引率者、沖縄県内から4名の中学生と13名の高校生が参加し、県内各地で様々な体験学習を行い、無事全日程を終了しました。

ツアー期間中、参加者は首里城見学等を通して沖縄の歴史について学ぶとともに、琉球舞踊や空手、三線などの伝統芸能を体験し、琉球王朝時代に育まれた沖縄の伝統文化にも触れました。また、国際通りの散策や美ら海水族館の見学を通して、現在の沖縄についても学びました。さらに平和学習では、戦争体験者から直接体験談を聞くことにより戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、自然学習では比地大滝をトレッキングし、沖縄の自然を十二分に満喫したことと思います。そして世界に広がるウチナーネットワークに関する理解を深めてもらうために、移民に関する講話や移民について考えるワークショップを実施しました。これらの学習プログラムを通して、沖縄に関する理解を深めることができたと思います。

また、前年度に引き続きエイサー学習も行いました。ツアー期間中遅くまで練習に励み、みんなで一つのことを成し遂げることによって、同じウチナーンチュとしての絆、そしてアイデンティティーを強く実感したことと思います。

この報告書は、参加者や引率者の感想文とツアー日程や写真等をまとめたものです。この冊子が生涯にわたる記念になるとともに、参加者の皆さんが、このツアーでの経験をきっかけとして世界へ視野を広げ、将来、様々な分野で沖縄と世界の架け橋となる国際人として活躍することを期待しています。

結びに、平成19年度ジュニアスタディーツアーの実施に御協力を頂いた多くの関係者の皆様に感謝の意を表し、発刊のあいさつといたします。

平成20年3月

沖縄県観光商工部長 仲田 秀光

ジュニアスタディーツアー報告書

目 次

はじめに
報告書目次

■事業概要	1
■スケジュール（日本語版・英語版・スペイン語版）	2
■記録写真	
7月17日（火）～7月22日（日）海外参加者迎え	5
7月23日（月）県庁表敬・ウェルカムパーティー	6
7月24日（火）自然学習（海洋博記念公園・エメラルドビーチ）	7
7月25日（水）自然学習（比地大滝）・交流プログラム（キャンプファイヤー）	8
7月26日（木）歴史学習（首里城・玉陵・金城町の石畳）伝統芸能体験学習	9
7月27日（金）平和学習（平和祈念資料館・平和の礎）社会学習（マチグラー散策）	10
7月28日（土）歴史・社会学習（講話「世界中に広がるウチナーンチュの心」） （ワークショップ「沖縄移民を学ぼう」）	11
7月29日（日）学習成果発表会・修了式・さよならパーティー	12
7月30日（月）～8月1日（水）見送り	13
■ジュニアスタディーツアーに参加して	
海外参加者レポート	15
県内参加者レポート	55
海外引率者レポート	74
■資料編	
受入実績（平成13年度～平成19年度）	83
参加者名簿（平成13年度～平成19年度までの海外・県内・県外参加者）	84
知事表敬式次第	100
ウェルカムパーティー式次第	101
さよならパーティー式次第	102
ジュニアスタディーツアーグループ表	103

感想文人名索引

■海外参加者

宮里 賢征 (ブラジル)	15
MIYAZATO UETA MAURY MASSAYUKI	
上江洲 小百合 シルビア (ブラジル)	17
UESU SILVIA SAYURI	
ヴィヴィアネ ユミ ハラサキ (ブラジル)	18
VIVIANA YUMI HARASAKI	
大城 広大 (ボリビア)	19
KODAI OSHIRO	
クダカ 美咲 (ボリビア)	20
MISAKI KUDAKA	
新城 パブロ アリエル (アルゼンチン)	23
PABLO ARIEL ARAGUSUKU	
仲宗根 ゆかり (アルゼンチン)	28
YUKARI NAKASONE	
真栄城 仲宗根 カリーナ 初江 (ペルー)	31
KARINA HATSUE MAESHIRO NAKASONE	
伊佐 与儀 幸子 カロリーナ (ペルー)	34
SACHIKO CAROLINA ISA YOGUI	

■県内参加者

栗 國 志 帆 AGUNI SHIHO	55
金 城 華奈子 KINJO KANAKO	56
宮 城 玲 奈 MIYAGI RENA	57
安 里 巽 ASATO TATSUMI	58
玉 城 美耶子 TAMAKI MIYAKO	59
上 間 瑞 樹 UEMA MIZUKI	60
与那覇 智 都 YONAHA CHISATO	61
瑞慶山 美 咲 ZUKEYAMA MISAKI	62
宮 城 聖 乃 MIYAGI SYONO	63

■海外引率者

城間 呉屋 カリーナ ジセーレ (ペルー沖縄県人会)	74
儀間 いつ子 (ボリビア沖縄県人会)	78
カネシロ ジョゼ マツオ (ブラジル沖縄県人会)	79
マユミ マーレイン コール (アトランタ沖縄県人会)	81

ジャスティン トヨサト (アメリカ)	36
JUSTIN TOYOSATO	
麗矢 マーロウ (アメリカ)	38
LAIYA MARLOW	
マケラ レネー コール (アメリカ)	41
MICHAELA RENE COLE	
トモコ レネー レオナード (アメリカ)	43
TOMOKO RENEE LEONARD	
クリスティーナ チハル ヘンリー (アメリカ)	46
CHRISTINA CHIHARU HENRY	
ジョシュア マイケル キャンベル (カナダ)	48
JOSHUA MICHAEL CAMPBELL	
クリスチアン サントス マカリンタル (フィリピン)	50
MACALINTAL CHRISTIAN SANTOS	
比嘉 紀乃 (ドイツ)	52
KOTONO HIGA	

狩 俣 友 恵 KARIMATA TOMOE	65
上 原 善 男 UEHARA YOSHIO	66
宮 城 和 哉 MIYAGI KAZUYA	67
川 満 大 祐 KAWAMITSU DAISUKE	68
岸 本 りいま KISHIMOTO RIIMA	69
許 田 侑 加 KYODA YUKA	71
源 河 花乃子 GENKA KANOKO	72
宇 座 愛 希 UZA AIKI	73

ジュニアスタディーツアー 事業概要

1. 趣 旨

海外沖縄県系人子弟を沖縄県に招待し、県内の児童生徒とともに沖縄の歴史、文化、自然などの体験学習をとおして母県・沖縄との絆を深めることにより、海外の沖縄県系人社会の発展と将来のウチナーネットワークを担う次世代の人材育成に貢献する。

2. 事業内容

(1) 実施期間：平成19年7月23日（月）～7月29日（日）

来 沖 日：7月17日（火）～7月22日（日）

離 沖 日：7月30日（月）～8月1日（水）

(2) 参加者

○海外参加者

14歳～18歳までの沖縄県系人子弟 17名

※国別内訳（8カ国・17名）

ブラジル	3名	アメリカ合衆国	5名
アルゼンチン	2名	カナダ	1名
ペルー	2名	フィリピン	1名
ボリビア	2名	ドイツ	1名

○県内参加者

沖縄県内の中学・高校生17名（中学生4名、高校生13名）

○海外引率者

海外参加者の引率及び通訳の役割 4名

ブラジル、ボリビア、ペルー、アメリカ 各1名

(3) 学習プログラム

① 自然学習

沖縄の自然や動植物等に触れ合いながらその大切さを学ぶ。

② 歴史学習

沖縄の歴史的な史跡等を巡り、沖縄が琉球王国だった頃の歴史とロマンに触れる。

③ 伝統工芸・芸能体験学習

沖縄の伝統工芸・芸能の体験学習を行う。

④ 平和学習

沖縄の戦跡等を巡りながら、平和の意味を考える。

⑤ 社会学習

沖縄県庁見学、国際通り散策等をおして沖縄の現状を学ぶ。

月日 時間	7/23(月) 1日目	7/24(火) 2日目	7/25(水) 3日目	7/26(木) 4日目	7/27(金) 5日目	7/28(土) 6日目	7/29(日) 7日目
6:30		6:30 起床		6:30 起床	6:30 起床		
7:00		7:00 朝食	7:00 起床	7:00 朝食	7:00 朝食	7:00 起床	
8:00		8:00 レクセンター出発	7:30 朝食	8:00 出発	8:00 出発	7:30 朝食	
8:30	引率・主催者・スタッフ集合 ミーティング		8:30 出発				
9:00			9:30 自然学習(山) ●比地大滝 ・トレッキング	10:00 歴史学習 ●首里城 ●金城町の石畳	9:30 平和学習 ●平和祈念資料館 ・職員説明～ビデオ ●公園内散策 ●平和の礎見学	9:00 歴史・社会学習 ※沖縄の移民 ①講話(前原信一氏) 「世界中に広がるウチナーンチュの心」 ②ワークショップ	ホームステイ
9:30	全参加者集合 (集合 県庁1階県民ホール)	自然学習(海) 10:30 海洋博記念公園到着					
10:00		11:00 イルカショー見学	12:00 昼食・弁当	12:30 昼食 フードコロシアム	12:30 昼食	12:00 昼食 レクセンターレストラン	
11:00	11:00 県知事表敬訪問 ・歓迎セレモニー、記念撮影 11:30 県庁出発	11:45 昼食・弁当				※ワークショップ再開	
12:00	12:00 昼食 かんぼレクセンター	12:45 美ら海水族館見学					
13:00				13:30 文化学習 ●テンプス館体験教室 ①琉球舞踊 ②空手 15:00 社会学習(産業) ●琉球ガラス・壺屋焼 見学	15:00 社会学習(街・人々) ●マチグワー散策 ※JST6期生16名ボランティア		
13:30	開講式 ～オリエンテーション	15:00 ●エメラルドビーチ到着 海水浴	14:00 トレッキング終了	15:30 三線教室開始	15:30 三線教室終了		14:00 参加者集合 14:30～15:30 リハーサル (かんぼレクセンター体育館)
14:00	・学習ツール配布 ・諸説明		15:00 ホテルタニュー到着 (ホテルにて休憩)	16:40 三線教室終了	17:00 ●琉球芸能「唄舞～い」見学		15:30～16:15 学習成果発表会 (かんぼレクセンター体育館)
15:00	参加者自己紹介 ②班分け、班長紹介 ③言語学習 ④自国の概要紹介			17:00 「唄舞～い」終了	17:00 散策終了	16:00 学習終了	16:20～16:40 修了式
16:00			17:00 夕食・ホテルタニュー (パベキュー)	18:30	17:45 レクセンター着 18:00 夕食 かんぼレクセンター	16:30 エイサー講習	17:00 さよならパーティー
17:00	17:00 交流プログラム かんぼレクセンター	17:00 エメラルドビーチ出発		19:00 夕食 かんぼレクセンター	19:15 エイサー講習		
18:00	18:00 終了～荷物部屋移動 18:30 ウェルカムパーティー かんぼレクセンター	18:00 ホテルタニュー到着 18:15 夕食 ホテルタニュー	19:00 交流プログラム ～キャンプファイヤー ※JST6期生7名ボランティア	20:30 エイサー講習		17:30 終了～解散	
19:00		19:30 ～日程終了～ スタッフミーティング	20:30 ～日程終了～ スタッフミーティング	21:30 ～日程終了～ スタッフミーティング	20:45 ～日程終了～ スタッフミーティング		18:30 終了～解散
20:00	20:00 パーティー終了 ～日程終了～ スタッフミーティング					ホームステイ	ホームステイ
21:00							
22:00							
宿泊地	かんぼレクセンター	ホテルタニュー	ホテルタニュー	かんぼレクセンター	かんぼレクセンター	ホームステイ	ホームステイ

Day Time	Jul 23 (Mon) Day 1	Jul 24 (Tue) Day 2	Jul 25 (Wed) Day 3	Jul 26 (Thu) Day 4	Jul 27 (Fri) Day 5	Jul 28 (Sat) Day 6	Jul 29 (Sun) Day 7	
6:30		6:30 Wake-up time		6:30 Wake-up time	6:30 Wake-up time		Homestay	
7:00		7:00 Breakfast	7:00 Wake-up time	7:00 Breakfast	7:00 Breakfast	7:00 Wake-up time		
8:00		8:00 Departure	7:30 Breakfast	8:00 Departure	8:00 Departure	7:30 Breakfast		
9:00	8:30 Escorting Staff and Organizers' Meeting 9:30 Participants Assembly	*Stone pavements in Kanagusuku town	8:30 Departure 9:30 Nature Study (Mountain) *Trekking in the Great Hiji Falls	10:00 History Study *Shuri-jo Castle *Stone pavements in Kanagusuku town	9:30 Peacs Study *Peace Memorial Museum Explanation from the museum staff ~video session~ *Stroll in the park *Orientation in the Cornerstone of Peace	9:00 History/ Social Study ※Okinawan Immigration ①Lecture "The hearts of Uchinanchu throughout the world" ②Workshop		
10:00	11:00 Courtesy call for all participants in the prefectural building *Welcome Ceremony 11:30 Departure from prefectural building	10:30 Nature Study (Sea 1) *Ocean Expo Park 11:00 Dolphin Performance Show						
11:00	12:00 Lunch	11:45 Lunch	12:00 Lunch	12:30 Lunch	12:30 Lunch	12:00 Lunch		
12:00		12:45 Orientation in Chraumi Aquarium				Workshop		
13:00	13:30 Opening Speech ~Orientation~			13:30 Culture Study *Naha Tenbusu Hall (1) Ryukyuan Dance (2) Karate	15:00 Social Study (daily life: public market place) *Stroll in Machigua Market Place			
14:00	*Distribution of study tools *Further explanations (1) Participants' self-introduction (2) Group allocation, selection of leaders (3) Language study (4) General introduction of your own country	15:00 Arrive at Emerald Beach sea bathing	14:00 End of trekking 15:00 Arrive at Hotel (Break time in hotel)	15:00 Social Study (Industries) *Ryukyu Glass,Tsuboya-yaki 15:30 *Sanshin Class 16:40 End of Sanshin class	16:00 End of Workshp 16:30 Eisa Class (3)	14:00 Participants Assembly 14:30-15:30 Rehearsal 15:30-16:15 Presentation of learning outcomes 16:20-16:40 Closing Ceremony		
15:00	17:00 Exchange Program	17:00 Departure from Emerald Beach	17:00 Dinner (B.B.Q.)	17:00 Traditional Entertainments "Utamai"	17:00 End of Stroll in Machigua Market Place	17:00 Farewell Party		
16:00	18:00 End of Exchange Program 18:30 Welcome Party ~Dinner	18:00 Arrive at Hotel 18:15 Dinner	19:00 Camp Fire	18:30 end of "Utamai" 19:30 dinner	17:45 Arrive at Hotel 18:00 dinner	18:30 End of Program ~Dismissed~		
17:00	20:00 End of Welcome Party Group Meeting (with the presence of	19:30 Group Meeting (with the presence of chaperones and organizers)	20:30 Group Meeting (with the presence of chaperones and organizers)	20:30 Eisa Class (1) 21:30 Group Meeting (with the presence of chaperones and	19:15 Eisa Class (2) 20:45 Group Meeting (with the presence of chaperones and			
18:00	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime	22:00 Bedtime			
19:00								
20:00								
21:00								
22:00								
Lodging	Kampo Recreation Center	Tanyuu Hotel	Tanyuu Hotel	Kampo Recreation Center	Kampo Recreation Center	Homestay		Homestay

día hora	Lun. 23/7 1er día	Mar. 24/7 2do día	Mie. 25/7 3er día	Jue. 26/7 4to día	Vie. 27/7 5to día	Sab. 28/8 6to día	Dom. 29/7 7mo día
6:30		6:30 Levantarse		6:30 Levantarse	6:30 Levantarse		
7:00		7:00 Desayuno	7:00 Levantarse	7:00 Desayuno	7:00 Desayuno	7:00 Levantarse	
8:00		8:00 Partida del hotel	7:30 Desayuno	8:00 Partida	8:00 Partida	7:30 Desayuno	
8:30	Reunión de Tutores, Organizadores y Personal		8:30 Partida				
9:00			9:30		9:30	9:00	
9:30	Reunión con todos los participantes	Naturaleza (Mar)	Naturaleza (Montaña)	10:00	Estudio sobre la Paz	Historia • Sociedad	Homestay
10:00		10:30 Ocean Expo Park	● Catarata "Hijiootaki" • Caminata	● Castillo Shuri ● Caminito de piedra en Kanagusuku	● Museo Conmem. de la Paz • Explicación ~ video	※ Emigración okinawense ① Expositor: Shinichi Maehara (El Sentimiento Okinawense en el mundo) ② Taller	
11:00	11:00 Visita al Gobernador • Ceremonia de bienvenida, foto	11:00 Show de delfines			● Recorrido por el parque		
11:30	11:30 Partida de la Prefectura	11:45 Almuerzo			● Lápidas de la Paz		
12:00	12:00 Almuerzo	12:45 Acuario Chura Umi	12:00 Almuerzo	12:30 Almuerzo	12:30 Almuerzo	12:00 Almuerzo	
13:00						※ Continuación del taller	
13:30	13:30 Apertura ~ Orientación			13:30			
14:00	• Entrega de material • Descripción del programa		14:00 Término de la caminata	Cultura			14:00 Reunión con todos los participantes
15:00	① Presentación personal ② Present. de grupos y líderes ③ Taller de idiomas ④ Presentación de c/país	15:00 ● Playa "Emerald beach" baños de mar	15:00 Llegada al hotel (Descanso en el hotel)	● Centro artesanal Tenbusu ① Danza Ryukyu ② Karate	15:00		14:30 ~ 15:30 Ensayo (Gimnasio kamporekucenter)
16:00				Sociedad (Industria)	Sociedad (ciudad-gente)		15:30 ~ 16:15 Presentación final
17:00	17:00 Activ. de Integración	17:00 Partida al hotel	17:00 Cena (parrillada)	● Visita: talleres de cerámica y vidrio Ryukyu	● Recorrido por el mercado	16:00 Término del taller	16:20 ~ 16:40 Clausura
18:00	18:00 Término ~ transporte de equipajes a sus habitaciones	18:00 Llegada al hotel		15:30		16:30 Práctica de Eisa	17:00 Fiesta de despedida
18:30	18:30 Fiesta de Bienvenida Cena (en Kamporekucenter)	18:15 Cena		● Taller de Sanshin			
19:00			19:00 Activ. de Integración ~ Fogata	16:40 Término del taller	17:00 Término del recorrido	17:30 Término ~ Separación	18:30 Término ~ Despedida
20:00	20:00 Término de la fiesta ~ Término de la jornada del día ~ Reunión del personal	19:30 ~ Término de la jornada ~ Reunión del personal		17:00			
21:00			20:30 ~ Término de la jornada ~ Reunión del personal	● Presentación artística Ryukyuniense "Utamaai" Cena (comedor Tenbusu)	17:45 Llegada al hotel 18:00 Cena	Homestay	Homestay
22:00	22:00 Hora de dormir	22:00 Hora de dormir	22:00 Hora de dormir	18:30 Término de la presentación	19:15 Práctica de Eisa		
				19:30 Cena	20:45 ~ Término de la jornada ~ Reunión del personal		
				20:30 Práctica de Eisa	22:00 Hora de dormir		
				21:30 ~ Término de la jornada ~ Reunión del personal			
				22:00 Hora de dormir			
Estadía	Hospedaje Kamporekucenter	Hotel Tanew	Hotel Tanew	Hospedaje Kamporekucenter	Hospedaje Kamporekucenter	Homestay	Homestay

記 録 写 真

海外参加者出迎え 7月17日:ペルー、ドイツ
 7月18日:カナダ・アメリカ
 ブラジル・アルゼンチン・ボリビア
 7月22日:フィリピン



7月23日(月)

県庁表敬・ウェルカムパーティー



7月24日(火) 自然学習(海洋博記念公園・エメラルドビーチ)



7月25日(水) 自然学習(比地大滝)・交流プログラム(キャンプファイヤー)



7月26日(木) 歴史学習(首里城・玉陵・金城町の石畳)伝統芸能体験学習



7月27日(金) 平和学習(平和祈念資料館・平和の礎) 社会学習(マチグラー散策)



7月28日(土) 歴史・社会学習(講話「世界中に広がるウチナンチュの心」)



7月29日(日) 学習成果発表会・修了式・さよならパーティー



7月30日(月)~8月1日(水) 見送り



ジュニアスタディーツアーに参加して



宮里 賢征

MIYAZATO UETA MAURY MASSAYUKI

17歳 3世

ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil

ブラジル沖縄県人会



ジュニアスタディーツアーは僕の一生の思い出

ジュニアスタディーツアーは僕にとって一生忘れられないいい体験となりました。初めて会う親戚の人たちは、みんな優しく、親切で、又沖縄のいろいろなことを教えて、いろんな所へ連れてもらいました。毎日たくさんのご馳走があっびびっくりしました。

親戚のことを絶対忘れません、又沖縄へ行くときは必ず訪ねたいと思います。JSTのプログラムは凄く忙しく感じました。エメラルドビーチでは2時間では短いと思いました。

もっと遊びたかったです。そこへいくときの格好を僕はそばで見てこっけいに感じました。それは、大きな荷物を担いで、遠い旅にでるような格好でした。その理由は、その日にホテルを移動するためです。

比地大滝のトレッキングでは、沖縄の木、花、草を見てブラジルと同じく感じました。

それは沖縄もブラジルも暑いからだと思います。そこでガイドがみんなに自然を守る大切さを教えてくれて、感動しました。

那覇テンプル館体験教室では、空手の授業で、守り方、立ち方、攻撃方を習う時に、先生は大きな声で教えたけど、とても楽しかったです。

平和祈念公園で戦争の話を聞いて凄く感動し、平和の大切さを感じました。沖縄戦を反省して、二度と過ちをおこさないよう叫びたいと思います。世界中から集まってきた人たちの文化、習慣、環境、考え方が似ているところと違っているところを感じました。

みんな素直で、一度も悲しい思いをしたことはありませんでした。

みんなと一緒に話をしながら食事をしていい思い出になりました。最後の夜はダンスをしたり、話をしたり時間の経つのも忘れて、遅くまで遊びました。

みんなにメッセージを書きたいけど、ながくなるので、ただ言いたい事は、一人一人からいろんな事を学びました。みんな努力して、成功するよう願ひ、又いつかどこかで会って、沖縄での思い出話をしたいと思います。メールでも手紙でも交流を続けたいと思います。沖縄で会った皆さんのことは一生忘れないと思います。

来年の8月にはブラジル移民100周年のイベントを行ないますので皆さんが来るのを待っています。たった二週間の短い期間で、ただ沖縄の文化、歴史、自然を学んだだけでなく、ウチナンチュの心の温かさを感じ自分もウチナンチュであることを誇りに思います。沖縄県の交流推進課のスタッフの皆さん、いろいろお世話になりまして有難うございました。ブラジル沖縄県人会の皆様にも心から感謝申し上げます。

JUNIOR STUDY TOUR: Uma lembrança para a vida toda

Junior Study Tour foi uma experiência inesquecível na minha vida.

Era a primeira vez que encontrava meus parentes de Okinawa, mas todos foram gentis, simpáticos, além de me ensinarem muitas coisas sobre Okinawa e me levarem a muitos lugares. Assustei-me com a quantidade de comida que me davam em todas as refeições. Eu nunca me esquecerei deles, e da próxima vez que for á Okinawa, com certeza irei visitá-los.

A programação do JST era muito apertada. Tanto que ficamos apenas duas horas na *Emerald Beach*. Foi engraçado ver todos com malas grandes indo a praia. O motivo para as malas era porque iríamos trocar de hotel naquele dia, e alguns tiveram que levar tais malas, por não terem outra menor.

No *trekking* de *Hiji* (*Hiji Taki*) percebi algumas semelhanças com a flora de Okinawa e do Brasil. Provavelmente é por serem ambos, países de clima quente. Quando nosso guia turístico falou sobre a importância de preservar a natureza, fiquei muito contente.

Em *Naha Tenbusu Hall* (*Naha Tenbusukan Taiken Kyoushitsu*), na aula de Karatê, enquanto aprendíamos como nos defender, atacar e como ter a postura correta, nos divertimos muito com o professor que gritava a todo o momento (GENKI!?!).

No Parque Memorial da Paz (*Heiwa Kinen Kôuen*), ouvi histórias sobre a guerra, e me emocionei muito. Percebi a importância que tem a paz em nossas vidas e espero que, o que aconteceu na batalha de Okinawa sirva de exemplo para que

não cometamos o mesmo erro novamente.

Tive oportunidade de conversar com jovens do mundo todo, e perceber diferenças e semelhanças sobre as culturas, os costumes e as formas de pensar de cada um. Todos eram muito legais, e não houve nenhum momento em que fiquei triste (apenas na despedida). Guardei muitas lembranças boas como quando conversávamos enquanto todos almoçavam. Ou então quando na última noite que passamos juntos, ficamos dançando, conversando e não vimos o tempo passar. Gostaria de deixar aqui, uma mensagem para cada um de vocês. Só que como o texto ficaria muito extenso, apenas direi que: podem ter certeza que aprendi algo com cada um de vocês. Quero que todos se esforcem, e sempre almejem o sucesso. Espero encontrá-los algum dia, em algum lugar, para relembrarmos dos bons momentos que passamos em Okinawa. Vamos continuar este intercâmbio por meio de cartas e e-mails. Nunca me esquecerei de vocês!

Como em agosto do ano que vem vai acontecer o Centenário da Imigração Japonesa aqui no Brasil, conto com a presença de todos neste grande evento.

Nestas duas semanas que estive em Okinawa, não aprendi somente sobre a cultura, a história e a natureza de Okinawa. Mas também pude sentir o calor dos corações Uchinanchu, e agora sinto mais orgulho de ser Uchinanchu.

Agradeço do fundo do coração aos organizadores, e a todos envolvidos com o Junior Study Tour. Agradeço também ao Okinawa Kenjin do Brasil. Muito Obrigado!



上江洲 小百合 シルビア

UESU SILVIA SAYURI

15歳 4世

ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil

ブラジル沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー

私は沖縄から帰ってきて、このすばらしいジュニアスタディーツアーに参加したことで沖縄をとっても好きになりました。

沖縄は緑がたくさんあって、海も空もとてもきれいで、それにもまして美しい文化があり、普及されていることは、とてもよいことだと思いました。そして空港では私を幼いころから知っているように、家族のように温かく迎えてくれました。遠いおじいちゃんおばあちゃんのふるさとで、このような喜びに出会ったことは私は一生忘れません。

見せていただいた水族館、守礼の門、比地大滝、国際通り、平和記念塔など大変感動しました。私の一生の思い出になりました。ボリビア、ペルー、アルゼンチン、フィリピン、アメリカ、カナダ、ドイツ、沖縄県のみなさんに始めて出会った人たちと言葉は違っていましたけど、早くお友達になり「イチャリパチョウデー」というのはこんなことだなーと気づきました。

すばらしかった2週間のツアーのお友達一人ひとりにお礼をして、お元気で居られるように、そして私を温かく歓迎して下さった、ご親戚の方々に心からお礼を申し上げます。

いつまでも忘れられない、このプログラムに私を薦めて力になって下さった家族、それから特別にブラジル沖縄県人会にお礼と感謝を申し上げます。

沖縄はとても良いところ、また行きたいと思っています。沖縄の文化はとてもすばらしいもので、大勢の若い人達が沖縄の島を知ってくれるように、私はブラジルでがんばりたいと思います。沖縄の島、そして沖縄のみなさんに心からお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

Junior Study Tour

Eu nunca imaginei que me sentiria como me sinto depois de ter voltado de OKinawa. Essa oportunidade de ter participado do Junior Study Tour fez com que eu descobrisse meu amor por Okinawa. Não apenas pela sua paisagem exuberante, onde você não sabe onde termina o mar e começa

o céu.

Não apenas por sua cultura encantadora, repassada de geração o em geração.

Não só pelos tão calorosos uchinanchus, que me acolheram como se eu fosse da família, como se me conhecessem desde pequena.

E também pela alegria, de mesmo de longe, poder fazer parte disso tudo!

A cada lugar que fui, como o Aquário Chura Umi, Shurijo, Hijiootaki, Emerald Beach, Kokusai doori, Memorial da paz de Okinawa aprendi lições que levarei para o resto de minha vida.

Consegui também, perceber que eu tinha um laço muito forte com as pessoas que convivi, mesmo nunca as tendo visto na vida. Bolívia, Peru, Argentina, Filipinas, Estados Unidos, Canada, Alemanha, Brasi e Okinawa. As grandes diferenças, como por exemplo as diferentes linguas que falávamos foram superadas, pois a força de vontade de nos conhecer era muito maior. "Ichariba Choude", eu os considero meus irmãos.

Eu gostaria de agradecer a cada um de vocês, que passaram essas duas maravilhosas semanas comigo, aos meus parentes que me acolheram com tanto carinho, à Associação Kenjin de São Paulo que me escolheu para participar deste programa, e principalmente à minha família, que me deu forcas desde o começo para que este sonho que jamais esquecerei, fosse realizado.

Aqui do Brasil, farei de tudo para que todos conheçam a cultura de Uchiná, porque depois de ter voltado, Okinawa passou a ser o meu maior motivo de orgulho. E podem ter certeza, eu volto!



ヴィヴィアネ ユミ ハラサキ

VIVIANA YUMI HARASAKI

17歳 3世

ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil

カンボグランデ沖縄県人会



ニハーデービル

「ジュニアスタディーツアー」、これは忘れられない思い出となりました。

家族や友達とはなれて旅行するのは初めてで、とても不安でした。飛行場に着いたら、ブラジルからいっしょに行く皆さんに会った事で少し安心しました。親切に声をかけてくれて、仲良くしてくれたおかげです。だが、沖縄に着いたら「またわかれるんだ」と思い、「一人で大丈夫なのだろうか」とまた不安がもどってきました。でも、沖縄に着いたとたん、その不安はどこかへ消えました。話した事が一度もなかった親せきの方達はとても親切に受け入れてくれて、とても嬉しく思いました。それからジュニアスタディーツアーが始まるまで、いろいろ教えてくれたり、いろんな場所を案内してくれました。

ジュニアスタディーツアーの一日目。参加者全員そろいました。かんぼレクセンターでの自己紹介、ゲーム、ドキドキしながら参加しました。ウェルカムパーティーでは同じくブラジルのマウリとボリビアの広大といっしょに三味線をひきました。ちょっと練習がたりなかったけど、皆さんが歌ってくれて、本当に嬉しかったです。

二日目はイルカのショーを見学しました。すばらしかったです。そして、美ら海水族館。言葉に出来ないくらいすごかったです。その後のエメラルドビーチはとても楽しかったです。沖縄の海はきれいだけではまとめられません。写真1枚でもそのすばらしさは伝わる事が出来ないとわかりました。

三日目はトレッキング。比地大滝に着くまでの道はとても楽しかったです。自然の中にいる感じがとても気持ち良かったです。ホテルタニューに帰ってからのバーベキュー。自分達で作って食べました。おいしかったです。それからキャンプファイヤー。ジュニアスタディーツアー6期生7名ボランティアが来てくれて、もりあげてくれました。いろんなゲームをしたり、歌っておどったり、楽しかったです。

四日目。首里城へ行きました。すばらしい場所でした。その後の空手、むずかしかったけれど楽しかったです。そして三味線の教室。琉球芸能は何度かビデオ

で見た事はありませんが、目の前で見ることが出来て嬉しかったです。ブラジルでも沖縄の文化を学んだりしています。三味線やおどり、いつか沖縄で見たように美しくおどったりしたらいいなと思います。そして、私が大好きなエイサー講習。ブラジルでもエイサーはやっていて、本当に好きです。楽しかったです。

五日目は平和祈念資料館で実際に戦争に参加した方の話を聞きました。つらい事やかなしい事、そして今、ここで幸せにくらしている事が何より大事だと思いました。その後は、またボランティアの方達とマチグラーへ行きました。いろんな場所を案内してくれたり、とても楽しかったです。

六日目は沖縄の移民の話をしました。その日はホームステイ。そろそろツアーの終わりを感じ、さびしくなりました。

七日目、最終の日。修了式で皆さんが自分達の国の踊りや歌を歌って、すばらしかったです。そしてさよならパーティー。このみじかい間で出来たぎずなはこわれないとわかっているけど、かなしくて、わかれるのはつらかったです。

このツアーに参加出来た事は本当に嬉しかったです。そこで会った皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。皆様、ここから感謝いたします。本当にありがとうございました。



大城 広大

KODAI OSHIRO

13歳 3世

ボリビア共和国 Republic of Bolivia

ボリビア沖縄県人会



ジュニアスタディーツアーに参加して

僕は、生まれて初めて祖父母の故郷沖縄県に行ってきました。

沖縄県では、僕たちのように海外に住む日系沖縄人の子供たちが集まり、沖縄の歴史、文化、伝統、自然環境について学ぶ、毎年一回、短い期間ではありますが、ジュニアスタディーツアーという素晴らしい研修が行われています。僕は、このジュニアスタディーツアーに参加することができて、とてもうれしく思っています。

沖縄に到着して、会う人皆初めてだったので、ちょっと不安な気持ちもありましたが、ホームステイ先の名幸房男おじさんはとても優しい方だったので、安心しました。おじさんは、親戚の方達を呼んで、僕のために歓迎会を開いてくれました。ボリビアの話や、沖縄に住んでいるおじさん、おばさん達とめぐり合うことができ、楽しいひとときを過ごすことができました。それからおじさんは、沖縄のいろんな所を案内してくれました。

沖縄に着いて三日目には、現在ボリビアに沖縄県派遣教師としていらしている松尾剛先生が、一時帰国で実家に帰っていたため、僕は先生の家で招待されました。そして、先生と一緒に三メートルの海底に水中散歩に行き、直接自然の魚と触れ合う体験をし、とても感動しました。それから、恩納村祭りにも連れて行ってもらい、ボリビアでは見ることのできない大きな花火を見てきました。

ホームステイも終わって、いよいよジュニアスタディーツアーが始まりました。参加国はブラジル、アルゼンチン、アメリカ、カナダ、ドイツ、フィリピン、ペルー、ボリビアそして沖縄県、八カ国からの研修生たちでした。ホテルに宿泊し、お客様として招待され、いつもおいしい食事をしながらいろんな国の人たちと交流することができ、また、県内在住の中学生、高校生たちとの交流を通して、ウチナーンチュのアイデンティティーを知ることができました。そして、沖縄人としての絆を深めることができ、また、今回ツアーで出会った参加者達とも仲良くなり、これからは、メールやインターネットで意見交換をしながら付き合っ

ていきたいと思っています。

僕は、ボリビアで生まれ育ちましたが、日本語を不自由なく話せたため、先生方や同じ仲間たちともすぐ仲良くなることができました。人と人との出会いは、やっぱり言葉の大切さだと知りました。僕が通う、オキナワ第一日ボ学校の下級生たちにも、日本語はぜひ忘れないように、努力することを教えていきたいと思っています。

このツアーを通して、沖縄人として生きるすばらしさを学ぶことができました。沖縄県の自然、歴史、文化、平和、社会など、すべてについて学ぶことができ、とてもよかったです。僕たちは、いろいろなことを見学しましたが、見るもの、聞くもの、すべてが初めてで、びっくりすることばかりでした。

これからも、海外に住む日系沖縄人の子供たちをもっと多く沖縄県に招待し、沖縄の歴史、文化、自然のすばらしさを身につけてもらったらよいと思います。

沖縄県の皆様、僕たちのことをこころよく迎えてくれて、本当にありがとうございました。



久高 美咲

MISAKI KUDAKA

15歳 3世

ボリビア共和国 Republic of Bolivia

ボリビア沖縄県人会



私の沖縄県での冒険

まず始めに、ジュニアスタディーツアーという素晴らしい体験の機会をくださいました、沖縄県知事様と、沖縄県人会へ感謝を申し上げたいと思います。ツアーは私にとって二つとない、素晴らしい体験でした。

私の沖縄県での冒険は、次のようにはじまりました。

それは、ボリビアで参加者を選考するときからはじまります。私の名前が発表されたときは、うれしさのあまり、言葉も出ませんでした。私は、その時からうれしくて、うれしくて、ジュニアスタディーツアーのことをいつも考えておりました。「私の日本語が通じるだろうか?」「沖縄のひとびとは親切だろうか?」

そして、いよいよその日がやってきました。

7月16日にボリビアを出発しました。旅行はサンパウローニューヨークー成田空港ー羽田空港ー那覇空港へと続きました。私にとって初めての長い旅でした。サンパウロにてアルゼンチンとブラジルの参加者と合流しました。刻々と沖縄県へ近づくにつれて、わたしは緊張していました。

那覇空港に着くと、大勢の方々が私たちを待っていていたのを思い出します。親戚の方々、スタッフのみなさん、それからカメラマンがたくさん写真を取ってくれました。

ジュニアスタディーツアーは、7月23日から始まりました。参加者全員にとって、新しい体験のはじまりです。私は、知っている人がいなく、とても緊張していましたが、ツアーが始まると共に、突然かわりました。まるでずっと前から知っているかのような、心が通じ合っているような気持ちにかわったのです。

7月24日はオーシャン・エキスポ・パークへ行きました。言葉で言い表せないほど大きな水族館です。私にとってはじめての水族館です。大きくて、いろんな種類の魚を見ることができました。私の人生の中で見たこともないいろいろな水の生物を見ました。ボリビアには海がありませんので、自分の目で見て確認することができたことは、素晴らしい体験でした。

また、イルカショーもよかったです。イルカはわたしの大好きな生き物ですので、このように近くで見ることができ、うれしく思いました。

ショーのあとは、ビーチへ行きました。澄んだ水の美しい海を見るのは初めてです。みんなでバレーボールをして、楽しい一日が過ぎました。

7月25日は比地大滝へ行きました。滝へ着くまでの道のりは長かったけど、途中いろいろな生き物と出会い、楽しかったです。へびと遭遇したことを覚えています。自然のにおいと、美しい景色、滝の音、見ること、体験することすべてが新しく、美しいこの自然を大切にしなければいけないことを実感しました。

その日の午後はバーベキューパーティーでした。バーベキューを準備しながら、おしゃべりがつきることがありませんでした。ひとときもみんなと一緒にいる時間を無駄にしたくなかったのです。

キャンプファイヤーの前には、以前ジュニアスタディーツアーに参加した方々がいろいろなゲームを用意してくれました。いくつかのグループに分かれて、なぞなぞや、早食い競争、腕相撲など競うゲームでした。最後には新しいステップを教えていただき、ダンスをしました。

キャンプファイヤーが始まると、参加者全員で腕を組んで「島んちゆぬ宝」を歌いました。そのとき私は、みんなが兄弟のように思えました。

7月26日は首里城を訪問しました。城についての説明は興味深いと思いました。

午後からは、琉球舞踊と空手の二つのグループに分けられました。私は舞踊の方へ行きました。舞踊を覚えることは大変でしたが、楽しかったです。その後、三味線を弾きましたが、初めての体験で難しかったです。びっくりしたのは、大勢の参加者が三味線を弾くことができたことです。(海外からの参加者を含めて)

エイサーの練習には力を入れました。たくさんまちがいましたが、うまくできるまで練習しました。時々夜の12時まで練習したことを覚えています。エイサーの先生(お兄ちゃん)は、とてもゆかいな方で兄弟のような存在でした。

7月27日は、平和祈念館へ行きました。あるおじいちゃんが、戦争体験談を聞かせてくれました。戦争の映像も見ました。多くの人々が戦争で死んでいる映像を見て、心の底から悲しみを感しました。赤ちゃんや子供まで死んでいるのです。私の印象に強く残ったこ

とは、多くの人々が自殺している現在に比べて、戦争という厳しい状況のなかで、苦しい立場にあっても、生きることに関心を失わず懸命に戦っている姿をみたことです。

戦争の悲惨な姿をみて、戦争を知らないわれわれは、どれだけ「幸せ」かということを実感しました。生きていられることを大切に思い、命の尊さを感じました。今まで、食事をしたり、学校へ行ったり、遊んだり、寝たりすることが当たり前の大切さを知りました。生きていることのありがたさを神様に感謝しております。

7月28日は、前原シンイチ氏の講話がありました。前原氏が現在まで触れ合った、世界のウチナンチュのこと、世界に広がる沖縄の心意気のこと、などについて話してくださいました。私の夢の一つは、前原氏のように、世界に広がるウチナンチュのことを学ぶことです。

その日の夜は眠ることができませんでした。実はみんなと過ごす最後の夜だったからです。ミニパーティーをみんなで企画し、ラテン音楽で踊り、最後には枕投げをしました。

そして、いよいよサヨナラ・パーティーです。

各自、代表してきている国の踊りを披露した後、私たちラテン系の国の参加者で「アミーゴス」の歌をみんなにプレゼントしました。その後は、全員で練習の成果を見せるエイサーでした。大勢の方々の前で披露することに、私はとても緊張しました。しかし、その最後のひとときを、私は「沖縄が大好き」と言う気持ちをこめて踊りました。

「島んちゆぬ宝」は、全員抱き合っ、涙を流しながら歌いました。短い時間にこんなにみんなと仲良くなれるなんて信じられないことです。私は、あの瞬間を一生忘れません。

みんなと過ごした楽しい時間の数々。言葉では言い表せない素晴らしい体験でした。前にも言いましたが私の「二つとない貴重な体験」でした。いろいろな情報を交換し、いろいろな習慣があることを知りました。世界各地のみんなのことについてたくさん学びました。これから私は、まだまだ学習しなければいけないことがいっぱいあることも確認しました。ですから、またみんなと再会し、このツアーの続きをみんなと共に実行できる日を目標にがんばります。本当にツアーは短くあっという間に終わってしまいました。

ツアーで知り合ったみんなは、私にとって家族のような存在となりました。住むところは違っても、このツアーで培った友情は永遠のものです。みんなは私の心の中の一部となっています。

みなさん、また再開できることを楽しみにしております。

それから、ボリビアにもいらしてください。両手を

大きく広げて待っております。

最後に、ジュニアスタディーツアーで知り合い、すばらしい体験を共にしたみんなへ感謝の気持ちを伝えたいです。そして、みんなのあたたかい友情に感謝します。ありがとうございました。

MI AVENTURA EN OKINAWA

Primeramente, quiero darle gracias al Gobernador de la Prefectura de Okinawa y a los Señores Directores de Okinawa Kenjinkai por darme esta Beca Inolvidable. Fue una experiencia UNICA:

Así comenzó mi aventura a Okinawa:

En el Kenjinkai que pertenezco, nos reunimos para elegir a los participantes del Junior Study Tour. Cuando salió mi nombre no tenía palabras que decir. Estaba muy, pero muy feliz. Desde ese día no dejé de pensar en el Junior Study Tour. Me ponía a pensar muchas cosas... será que entenderán mi japonés.? ¿Será que las personas son amigables?

Y el día llegó.

El día 16 de Julio partimos de Bolivia. El itinerario fue de Sao Paulo – New York – Narita – Haneda – Naha. Fue mi primer viaje largo y muy cansador. En Sao Paulo nos encontramos con los participantes de Argentina y Brasil.

Cada vez se acercaba a Okinawa... y cada vez estaba más nerviosa.

En el Aeropuerto de Naha me acuerdo que habían muchas personas esperándonos. Los familiares, miembros del Staff, y también los fotógrafos que nos sacaban muchas fotos.

El Junior Study comenzó el 23 de Julio.

Fue un nuevo comienzo para todos los participantes.

Estaba un poco nerviosa por lo que no conocía a nadie. Pero eso cambió... de un día para otro sinceramente éramos muy unidos. Es raro porque sentía que los conociera desde hace mucho tiempo.

El 24 de Julio fuimos al Ocean Expo Park.

Ni qué hablar. Fue mi primera vez que hice una visita al acuario. Fue espectacular. Era muy gigante con muchas variedades de peces. Era algo impresionante porque podía ver especies de animales acuáticos que nunca en mi vida he visto. Ya que en Bolivia no hay mar. Y lo mejor fue que pude ver con mis propios ojos. Además me encantó el show de los delfines, ver de tan cerca por que desde chica era uno de mis animales preferidos.

Después de todas esas presentaciones, fuimos a la Playa. Es la primera vez que pude observar un mar tan hermoso con aguas cristalinas. En la playa jugamos volley entre los participantes. Lo pasamos muy bien.

El 25 de Julio fuimos a la catarata de Hijjootaki. Fue una caminata muy larga pero era divertido. Por que mientras

caminábamos encontrábamos muchas especies de animales. Me acuerdo que hasta encontramos serpiente. Me gustaba mucho el olor, la vista y el ruido de las cataratas. Relajaba y cada vez me iba gustando más y más. Y valoré la naturaleza, es muy importante para los seres humanos y sentí que teníamos que cuidarla.

En la tarde hicimos nuestra parrillada entre todos. Todos cocinamos y mientras comíamos no parábamos de hablar. Por que no queríamos desperdiciar el tiempo que estábamos juntos.

Antes de hacer la fogata los Exparticipantes del Junior Study nos organizó unas dinámicas de juegos. Nos dividimos en grupos y era como una competencia. Jugamos a las adivinanzas, quién come más rápido, pulsetas y hasta bailamos y nos enseñaron los pasos. En la fogata nos pusimos a cantar el Shimanchu nu Takara, abrazaditos entre todos los participantes... Ese momento sentí y me di cuenta que éramos todos como hermanos unidos.

El 26 de Julio fuimos al Castillo de Shuri. Fue interesante la charla, y pude apreciar el lugar.

En la tarde nos separamos en 2 grupos, un grupo de los que querían aprender danza de Okinawa y el otro grupo los que querían aprender Karate. Yo entré al grupo de danza. Fue muy difícil aprenderlos, pero fue muy lindo. Después con el tema de sanshin tuve muchos problemas. Ya que nunca antes había tocado este instrumento. Lo que más me sorprendió fue que la mayoría sabían tocarla. (Hasta los extranjeros)

En las prácticas de Eisa, todo poníamos ánimo. Nos equivocábamos muchas veces pero practicamos hasta que salga bien ... Me acuerdo que una vez practicamos hasta las 12 de la noche. El Profesor (Oniichan) que nos enseñaba era muy divertido, no era sólo profesor si no era como un hermano más.

El 27 de Julio fuimos al museo Conmemorativo de la Paz. Un abuelito nos contó lo que había vivido en la Guerra y nos mostró un video. Escuchando y viendo eso sentía un dolor muy profundo ver cómo morían las personas. Hasta bebés y niños. Me impresionó como la gente durante la guerra sentía esa esperanza y las ganas de vivir. Ver que hoy en día muchas personas se suicidan.

Viendo eso nos demostró que ahora nosotros somos muy MUY FELICES. Porque no sufrimos nada de eso. Yo creo que nosotros debemos apreciar más de los que nos da la vida y reflexionar sobre su importancia. A mi todo me parecía obvio comer, ir al colegio, dormir, jugar. Pero pensándolo muy bien, es algo muy pero muy grande. Así vivo dando gracias a Dios.

El 28 de Julios nos dio una charla el Sr. Shinichi Maehara, el señor nos contó el sentimiento Okinawense en todo el mundo. Sus experiencias en el recorrido de sus viajes. Uno

de mis sueños es ir a conocer a los Okinawenses que están en todo el mundo. Y aprender mucho de ellos.

En la noche no dormimos porque iba a ser la última noche que íbamos a estar juntos. No queríamos desperdiciar el tiempo. Entonces organizamos una Mini Fiesta. Bailamos música latina y también jugamos a tirar almohadas.

Llegó el día del SAYONARA PARTY.

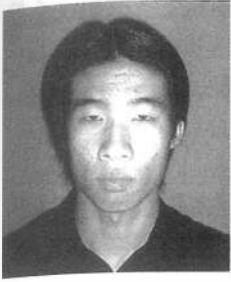
Presentamos bailes representando el país. Nosotros los latinos dedicamos una canción de AMIGOS para toda la gente que conocimos en el Junior Study Tour. Luego bailamos Eisa. Tanto nervio bailar delante de muchas personas. Pero disfruté ese momento mostrando que me gustaba mucho Okinawa. En la hora de cantar Shimanchu nu Takara, era el momento que todos lloramos. Es increíble cómo nos encariñamos mucho y en muy poco tiempo. En lágrimas de cada una se lo demostraba. Y no me voy a olvidar esos abrazos fuertes que dimos entre todos.

Tantos momentos y aventuras que pasamos juntos. Fue el mejor de lo mejor. Algo que no se puede expresar en palabras. Como dije antes, una experiencia UNICA. Compartimos cosas e intercambiamos informaciones de nuestra costumbre. Aprendí mucho de ellos y sé que me falta aprender más y más. Por eso espero algún día volver a verlos a todos de nuevo para poder seguir esta experiencia. No termina aquí, continúa.

Esas personas que conocí en el Tour, para mí es como una Familia.

Aunque estemos aquí o allá, no cambia nada porque esta amistad que nos hicimos es eterno. Igual los considero como mis hermanos y siempre van a estar en mi corazón. Espero reencontrarnos de nuevo. Y no se olviden que en Bolivia estamos esperándolos con los brazos abiertos.

Por último quiero agradecer a esas personas que he conocido en el Junior Study Tour por compartir esta inolvidable experiencia. También agradecer por esa amistad que cada uno de los participantes me dio.



新城 パブロ アリエル

PABLO ARIEL ARAGUSUKU

18歳 4世

アルゼンチン共和国 Argentine Republic

在亜沖縄県人連合会



ジュニアスタディーツアー 2007

7月19日

アルゼンチンと日本では時差があるのでその日はとても早く目が覚めました。でも、それは一日を有効に過ごす事ができるのでいいことです。

私のホームステイ先は親戚の叔父さんの家でした。私は日本語があまり上手でないのが最初でコミュニケーションに苦労しましたがだんだんと慣れていきました。

沖縄の朝食はアルゼンチンのそれとは違っており、初めての朝食はミルクココア、トースト、おにぎりとその他にみたことのないものでした。(朝食におにぎりを食べたのははじめてだった) 沖縄は多くのものがアルゼンチンとは違います。例えば車。ハンドルは右についており道路はとても安全で車と自転車が整然と走っていました。

沖縄に着いて次に驚いたことはお店です。あんなに大きなお店は見た事がありませんでした。例えばJUSCO。アルゼンチンにあるアバストというショッピングセンターに似ていますが違う点は建物の中にたくさんのお店があることです。そこで色々な本を買いました。

そしてヤマダ電機という電機店。ここもその大きさに驚かされました。(まだ東京の秋葉原へは行ったことはありませんが。。) その日の夕方は綺麗な夕焼けを見に海へ行きました。

それにしても沖縄の食事は美味しかったです。初日の夕食はそばと刺身を食べました。それらは私の国では日常食べることが少ないものですからね。

7月20日

今日もヤマダ電機へ行きました。本当に驚かされっぱなしで気づいたら6時間もそこにいました。沖縄のスーパーマーケットはとても大きく、種類も豊富です。そしてなによりも買い物に来る人の数が多くて印象的でした。

親戚のおじさんと空手古武道の教室に行きとても楽しかったです。道具を使ってみました。日本の伝統的な空手は何も使わないからです。空手は防御のためで厳

しく辛いものです。

沖縄では毎日早い時間に夕食をして22時には寝ていました。

7月21日

沖縄にいるときは毎日朝早く起きていました。朝食はおにぎりとアイスココアでした。(毎日気温は33度以上)

そして今日もまたヤマダ電機に行ってきた。昨日買ったものがあつたからです。帰りにスーパーマーケットに寄り、美味しいうどんを食べました。

その後、米軍基地を遠くから見渡せる場所に行き、ビデオカメラのズームを使って軍用機を見ました。

その日の夜はサッカーのアジアカップ中継があり、日本とオーストラリアが対戦しました。以前から日本代表の試合を見たいと思っていましたのでついにその夢が叶いました。特に背番号10番の中村俊輔選手が好きです。

アルゼンチンから来た叔父さんの友人を紹介してもらい30年前の沖縄についてたくさん興味深いお話をさせていただきました。

7月22日

今日はメインシティというデパートに行きました。そこには服、本、CDショップ、食品、などさまざまな売り場がありました。特に服売り場では浴衣や着物など興味深いものがたくさんありましたが、それらはとても高価なものでした。

7月23日

今日はジュニアスタディーツアーに参加した人たちと合流しました。私達はカンボレクセンターに移動し、コウダイ君とヨシオ君と同室になりました。コウダイ君とはスペイン語を使って話すことができましたが、私は日本語がそんなに上手くないのでヨシオ君とは最初はあまり話せませんでした。しかし日が経つにつれて話すようになりました。その日の昼食はとても豪華で美味しい昼食をホテルで食べました。

24日

世界で2番目に大きい水族館に行き、イルカショーやさまざまな魚(サメ、クジラ、エイなど)を見る事ができましたが、今度は時間をかけてゆっくり見たいと思いました。そして今日もとても暑かった。沖縄はアルゼンチンの夏よりはるかに暑い!!

ホテルに戻り軽食をとった後、アルゼンチンの国紹介をしました。

今日はタニューホテルに泊まりコウダイ君、ヨシオ君、ダイスケ君と同室でした。そして、みんなと45℃の猛烈に熱い大浴場に入った後、とても心地よい浴衣を着ました。

25日

今日は自然学習ということで山に登りました。野生動物、昆虫、滝、川などとても素晴らしかった。昆虫は小さい蟻から大きいクモ、動物はおとなしいトカゲから獰猛なヘビまで見る事ができました。川には変わった石もあり、その石をつかって絵の具をつくる事ができるとのことでした。山の上に雲ができ、やがて雨が降って滝の水量が増しそして川になっていく説明を聞きました。その日は暑い中たくさん歩いてとても疲れました。

26日

以前から行きたかった首里城に行き、沖縄のすばらしい歴史を知る事ができました。

その後レストランで食事をし、沖縄伝統舞踊、三線、歌を聞きました。

ホテルに戻ってヨシオと一緒にエイサーの練習をしました。なかなか難しく、しかもできるまで解散できないので大変でした。

27日

沖縄の歴史を知ることができる平和博物館に行き、当時人々はどんな生活をしていたかなどとても興味深いものでした。ガイドの人が沖縄での戦争について説明し、とても悲しく衝撃的でした。

平和祈念公園に行き、そこには石碑に戦争で亡くなった人の名前がたくさん書かれていました。私は叔母の両親の名前を探し、写真を撮りました。

その後、中心街に行きました。お寺の入り口にはシーサーがありました。私は素晴らしいお土産がたくさんあったので買い物がしたかった。

今日もエイサーの練習をしました。徐々に上達し、エイサーがますます楽しく感じられました。そして、その日はみんなと泊まる最後の日でもありました。

28日

とても興味深い沖縄移民の話を聴きました。そして、

これらの話をアルゼンチン戻ったらもう一度ゆっくり聞く為にビデオを撮りました。

その日は最後のエイサーの練習をしました。

29日

送別会はとても楽しかったが友達と別れるのは本当に辛いです。友達としていつまでも忘れずに、そしてもう一度再会したい!と感じました。

30日

今日は、昨日までの団体行動とは違って一人になったので沖縄の田舎を散歩しましたが、道端にはだれも歩いていなかったのには驚かされました。

夜には叔父さんが実に美味しい寿司を持ってきてくれました。

31日

叔父さんが忙しかったので叔父の友達を紹介してもらい、いろいろとお世話になりました。

ジャスコとメインシティーに買い物と食事をしに行きました。私はこのジュニアスタディーについて書かれてある新聞を買いたかったがどこで買っていいのか、誰に聞いたらいいのか分かりませんでした。

1日

朝早く那覇市に向かいました。期間中お世話になった叔父さんにお礼を言いました。

多くの沖縄の人が見送ってくれました。ツアーが終わってもこの友情はなんとしても続けたい。私は「別れはとても悲しいが、いつかまた必ず再会しよう!!」と言いました。

嬉しかった事は以前から行きたかった国に行くことができ、たくさんの人と知り合ったことがうれしい。そして彼らのことをいつまでも忘れません。

おわりに、今回のツアーはとてもいい経験になったと思います。本当に楽しく、充実した日々を過ごす事ができました。他の国の友達、沖縄の方々、親戚の叔父さん、ツアー関係者、沖縄県政府、県人会の皆様深く感謝致します。本当にこのような素晴らしい機会に参加できたことを心から嬉しく思い、これからの私の人生においてかけがえのない経験になると確信しております。

本当にありがとうございました。

JUNIOR STUDY TOUR 2007 IN OKINAWA

Home Stay:

Día: 19 de Julio 2007

Por el cambio de horario que teníamos de Argentina a Japón me hacia despertarme muy temprano. Pero estaba bien

porque así tenía más cosas para hacer en el día.

Mi Home Stay fue en la casa de mi tío, la comunicación al principio fue complicada porque no entendía muy bien que digamos lo que me decía, pero me llevaba bien. Los desayunos en Okinawa son muy diferentes a los míos acá en Argentina. Mi primer desayuno fue cocoa (para ellos es la leche chocolatada) con pan tostado, onigiri, y otras cosas que no conocía (Lo del onigiri para mí es nuevo como desayuno). Okinawa es muy distinto a la Argentina en muchas cosas, uno de los ejemplos son los autos, que tienen el volante a la derecha, las calles son más tranquilas, no hay nadie caminando en las calles solo se ven autos y/o bicicletas.

Lo que me sigue sorprendiendo de Okinawa son los negocios. Nunca vi negocios tan grandes, por ejemplo: JUSCO, para mí es un Shopping grande, como el Abasto para nosotros, pero mejor. Dentro de JUSCO hay secciones de Revistas y libros que me sorprendió la cantidad que había y compre muchas cosas interesantes de ahí.

Las comidas para el almuerzo o cena en Okinawa son deliciosas. Mi primer día he comido Soba y sashimi, el soba en Okinawa es muy rico y el sashimi también, pero no estoy acostumbrado a comerlo.

Otras de las tiendas que me sorprendió fue YAMADA DENKI, nunca vi un negocio de electrónica tan grande... eso que no fue a AKIHABARA de Tokyo. Es para vivir en ese lugar.

Para terminar el día fui a ver el mar con una hermosa vista, ver como baja el Sol.

día: 20 de Julio 2007

Hoy fui nuevamente a YAMADA DENKI, me sorprendió tanto este lugar que me quede 6 horas y no exagero.

En este día conocí a más parientes, como siempre la comunicación se me complicaba un poco al menos al principio.

Los supermercados en Okinawa son muy grandes, tienen mucha variedad. Pero es impresionante la cantidad de gente que va a comprar.

Fui a una clase de Karate Kobudo con mi tío, el Karate Kobudo es muy interesante, se usa armas, comparado con el Karate tradicional de Japón que no usa. Lo que tiene el Karate en sí es que es solo para la defensa, se respeta mucho al sensei y a sus superiores, es duro y estricto.

En Okinawa generalmente se acostumbra comer temprano y dormir a partir de las 22hs.

día: 21 de Julio 2007

Me desperté temprano como todos los días en Okinawa, desayune onigiri y Ice Cocoa (Aclaro que hacía mucho calor todos los días, mínimo 33° C).

Hoy fui nuevamente a YAMADA DENKI, para comprar unos accesorios que me faltaban.

Fui más tarde a la hora del almuerzo al supermercado de Okinawa llamado UNION a comprarme comida, muy rica!!!!.

Fui a visitar las fuerzas aéreas de Estados Unidos, lo único que vi es la base (a lo lejos) y los aviones, pero con la cámara de video podía hacer Zoom para verlo de cerca.

En este día jugó Japón vs. Australia para la Copa Asiática, uno de mis sueños era ver partidos de Japón en la Copa Asiática y allá se hizo realidad, yo soy fanático del fútbol japonés, fanático de Nakamura Shunsuke (10).

conocí también a un amigo de mi tío que es de Argentina y con él me pude comunicar muy bien, por suerte. Me contaba como era Okinawa hace 30 años y un poco de historia... muy interesante.

día: 22 de Julio 2007

En este día fui a conocer otros negocios y otros lugares. Por ejemplo: MAIN CITY.

Fui a ver la ropa, los libros y revistas, la sección de juegos, música, y comida.

Estuve viendo en la sección de ropa, había muchas cosas interesantes, como por ejemplo una yukata, un kimono, pero para mí estaba muy caro.

Encuentro con los de Okinawa:

día: 23 de Julio 2007

Hoy fui hacia Naha a encontrarme con el resto del Junior Study Tour. Nos trasladamos al hotel "Kamporekucenter", la habitación en la que me ha tocado a mí fue con Kodai y con Yoshio. Con Kodai me podía comunicar ya que hablaba español aunque más hablaba japonés y con Yoshio al principio mucho no me pude comunicar al no saber como hablar japonés, como nunca había hablado anteriormente, pero me fui acostumbrando y él a mí hasta que luego nos pudimos comunicar bien, lento pero bien por suerte. En este día almorzamos en el Hotel, un lindo almuerzo, nunca había comido así... aunque las comidas no las conocía comí un poco de cada uno. En el hotel, en un lugar donde se hacían las reuniones hicimos juegos, idioma japonés, español, portugués como si estuviésemos jugando. Algunos países hicieron su presentación artística por ejemplo Perú y la presentación explicativa de algunos países.

Conocí chicos y chicas de Okinawa, todos con muy buena onda, sociables y amigables. Los primeros que me he llevado bien fueron con Yoshio, Kazuya y Daisuke.

Las chicas de Okinawa son muy lindas, en especial Miyako. En Okinawa es todo por horarios, muy bien organizado. La hora de dormir es a partir de las 22hs.

día: 24 de Julio 2007

Hoy fuimos al Acuario, como me dijeron "El segundo más grande del mundo", estuvo muy bueno e interesante. La verdad que me gustaría volver y seguir viendo todo más tranquilo y si es posible con los chicos de Okinawa y seguir la amistad.

El espectáculo de los delfines fue muy bueno, ver a los delfines saltar, pero hacia mucho calor, los días de Okinawa en verano comparándolo con la Argentina es demasiado fuerte...

Dentro del Acuario había muchas cosas, peces de muy chiquitos a muy grande, pero muy grandes. Tiburones, vi una ballena, rayas. También peces de la oscuridad, tortugas, y todo tipo.

Luego fuimos a conocer la playa y el mar de Okinawa, el agua es cálida, la arena es blanca, en el mar encontramos pequeños pececitos.

La experiencia fue muy buena en este día, el mar es lo que más me gusto de este día, me gustaría volver.

Volvimos al hotel merendamos e hicimos la presentación explicativa de Argentina, nuestro país.

En este hotel que nos trasladamos se llama "Hotel Tanew", mis compañeros de habitación son: Kodai, Yoshio, Daisuke y yo. Nos metimos en el baño publico (para hombres) el agua estaba a 45° C aproximadamente, esta muy bueno para relajarse. Luego nos pusimos las Yukatas. En este día la pase re bien.

día: 25 de Julio 2007

En este día fuimos a hacer la caminata en la montaña... nos toca Naturaleza.

En las montañas encontras muchas cosas de la naturaleza, por ejemplo animales salvajes, bichos de todo tipo, ríos, cascadas. Bichos: podemos encontrar de pequeñas hormigas a grandes arañas.

Animales: podemos encontrar animalitos indefensos parecidos a las iguanas a las más peligrosas, las víboras.

ríos: Se encuentra en ella cosas raras, también víboras. Las rocas que con algunas de ellas nos dijeron que se hacen las temperas...

Cascada: La cascada se forman por las lluvias, en la cima de las montañas cuando llueve se acumula agua y por lo tanto cae en forma de cascada y luego va hacia los ríos y por eso se forma todo esto, también en la naturaleza y en otros lugares.

Por el calor y la caminata, este día fue muy cansador.

día: 26 de Julio 2007

Día esperado para mí, fuimos de visita al Castillo de Shuri, es muy interesante, la historia y todas las cosas de valor que hay dentro, realmente es muy interesante.

Luego fuimos a un restaurante a comer, teníamos mesas reservadas, donde por una barra podíamos agarrar la comida que queramos.

Fuimos a ver los bailes tradicionales de Okinawa, vimos tocar sanshin y cantar. Los bailes son muy variados y estaban buenos... siempre lo original es bueno.

A la tardecita fuimos a practicar Eisa, y la verdad que el Eisa es muy difícil, al menos al principio. Fui con yoshio para practicar un poco Eisa con el sensei porque no nos salía hasta que algo entendimos.

Estamos nuevamente en el Hotel Kamporekucenter en la habitación con Kodai y Yoshio.

día: 27 de Julio 2007

Fuimos al museo de la Paz, tomé nota sobre la historia de Okinawa, ya que es muy interesante saber lo que paso en el pasado y que nuestros antepasados vivieron.

La historia que nos contó un señor sobre la guerra de Okinawa, todo lo que él vivió fue muy triste, me quede impresionado y me shockeo mucho.

Luego, fuimos al Peace Memorial Park, donde están todas las piedras negras con los nombres escrito de las personas que murieron en la segunda guerra mundial. Ahí busque los nombres de los padres de mi abuela, saque fotos y me filmaron trazaba con un lápiz y pintaba sobre ella y formaba la escritura de los nombres de mis bisabuelos.

Después de esto, fuimos al centro de Okinawa a ver los negocios. Nos explicaban cosas en el camino sobre por ejemplo, los leones protectores de las entradas de los templos, etc. Me hubiese gustado poder comprar algunas cosas ya que lo que había estaba muy bueno como recuerdo.

En este día tuvimos otra practica de Eisa, seguimos avanzando cada vez mas y se pone más interesante.

Este día fue la ultima noche en el hotel con todos los chicos...

día: 28 de Julio 2007

Tuvimos una charla sobre la inmigración okinawense. Fue una charla interesante, lo filme para poder entenderlo mejor cuando este en casa y verlo y tomar nota sobre ello.

Luego de la charla tuvimos nuestra ultima practica de Eisa. Después nos venían a buscar nuestros parientes para el home stay.

Home Stay:**día: 29 de Julio 2007**

La fiesta de despedida fue muy linda, la pasamos bien, pero es algo triste porque nos separamos de todos nuestros amigos. Lo que me gustaría es que esto siga y poder ver a todos mis nuevos amigos nuevamente y seguir la amistad sin que se pierda.

día: 30 de Julio 2007

En este día aprovechando que me quede solo en la casa de mi tío fui a pasear por Okinawa, fui a comprarme comida y algo para tomar, camine y camine. Lo que me sorprende de Okinawa es que no haya nadie caminando...

En este día me llevaron a comer Sushi, estuvo muy rico.

día: 31 de Julio 2007

Fui a conocer a mas parientes.

Como mi tío estaba ocupado con unas cosas, un amigo de él que lo había conocido antes, me llevo a JUSCO, MAIN CITY y esos lugares para comprar cosas, también me llevo a comer y la verdad que agradezco todo lo que hizo por mí.

Una de las cosas que me hubiese gustado es comprar los diarios en los que salimos por lo de Junior Study Tour, pero mi pariente no me dijo nada y no sabia donde comprarlos y si vendían también los números anteriores.

día: 1 de Agosto 2007

Fui hacia Naha temprano, me despedí de mi tío agradeciendo todo lo que él hizo por mí en este viaje, que sin él no podía haber hecho nada.

Los chicos de Okinawa fueron a despedirnos... me hubiese gustado que esto siga ya que generalmente uno recién tiene una buena amistad cuando termina el tour en mi caso, me llevo muy bien con los chicos y las chicas, la verdad que en este día dije "Los voy a extrañar a todos, espero verlos algún día y que no sea la ultima vez que nos veamos".

Fue muy triste la despedida, pero a la vez alegre, por haber conocido a personas de un país que nunca había ido anteriormente y que siempre quise ir, amigos que espero que dure por siempre.

Conclusión:

Tuve una muy buena experiencia con el viaje, y la verdad que la pase muy bien, conocí e hice muchos amigos de distintos países. Amistades con los chicos de Okinawa, coordinadores del tour, etc. Gracias a todos por haberme invitado y muchísimas gracias al gobierno de Okinawa por habernos brindado esta beca. Le estoy muy agradecido. Espero poder viajar nuevamente y seguir la amistad con los chicos de Okinawa y seguir compartiendo cosas con ellos.

Me gustaría volver y volver a vivir esta experiencia que he vivido que fue la más hermosa de mi vida. Gracias a todos, la verdad muchísimas gracias.



仲宗根 ゆかり

YUKARI NAKASONE

17歳 2世

アルゼンチン共和国 Argentine Republic

在亜沖縄県人連合会



ジュニアスタディーツアー 2007

2007年7月16日は私にとって忘れられない日でした。ついにジュニアスタディーで沖縄に行く事ができたからです。沖縄に着く前日はあまりの嬉しさと興奮して眠れませんでした。出発の日は父、友達、琉球舞踊の先生である山本先生が空港まで見送りに来てくれてとてもうれしかったです。

7月18日 ついに那覇空港に到着しました。長旅で疲れていましたがそんなことを忘れるくらい感激しました。なぜなら那覇空港で沖縄県政府関係者、親戚、山本先生の妹さんが私達を盛大に出迎えてくださったからです。

このレポートでは期間中に感じた事などを書いていきます。

まずこのツアーに携わった方々、一緒にツアーに参加した各国の人々たちに感謝します。このような素晴らしいツアーに参加することができたことを本当に幸せに思います。

このツアーではいろいろな場所に行きました。その1つにチュラウミ水族館に行きました。あんなに大きい水族館は生まれて初めて見ました。エメラルドビーチもいままでに見たことのないほど綺麗な海で、そこでバレーボールをして遊びました。

比地大滝までの遠足では大自然を十分堪能し、首里城はとても奥深い歴史を感じることができました。そして平和祈念公園では平和の大切さを改めて考えさせられ、戦争の生存者の方から貴重な戦争の体験話を聞くことができました。

沖縄の女子高生と一緒にデパートへ買い物に行きました。彼女達はとても親切でいつも私を暖かく受け入れてくれました。

親戚の人と一緒に今帰仁城へ行ったり、ボリビアから来た女の子と一緒に渡嘉敷島へ行き、海水浴をしたり、きれいな風景の写真をたくさん撮りました。あんなに透き通った水を見たのは初めてでした。

そして沖縄の文化や習慣をたくさん学びました。ツアー中にはテンプス館で琉球舞踊の手の動かし方や動作を学び、サンバやパラנקという道具を使って練習をしていました。サンバを弾いたことは初めての経験

でした。長い間、沖縄舞踊を習っていますが今回のツアーで沖縄舞踊の素晴らしさを改めて感じる事ができました。

三線は、友達が弾いているのを見て私もいつかやってみたいと思っていましたが、恥ずかしくてなかなか実現できませんでした。今回このように三線を弾くことができ、そして友達がとても親切に教えてくれたので本当に嬉しく思いました。とても充実した時間を過ごすことができました。その日の夕方は琉球芸術発表会がありとても素晴らしい沖縄舞踊を見て楽しみました。

その他にエイサーの練習もしました。エイサーを踊るのは初めてではありませんでした。今回は同じ年の仲間と一緒に踊ったこともありとても楽しく練習できました。みんながサロンに集まり先生も一緒にエイサーの練習をしました。本当に忘れられない思い出になりました。その夜は遅くまで踊りの練習をしたにもかかわらず、みんなと一緒にたのしく練習したのそんなに疲れを感じる事はありませんでした。

世界のウチナーンチュ講座は自分自身のアイデンティティーを確認し、世界の人々と文化交流をすることの素晴らしさを実感しました。沖縄の文化は私が今まで思っていた以上に深く、素晴らしいものでした。

ホームステイを含めて沖縄滞在2週間という短い期間にもかかわらずたくさんのことを学んだことは自分自身に本当に驚いています。自分が住んでいる国の歴史や文化だけではなく、違う言語を話すさまざまな国の文化をよく勉強したと思います。

言葉の壁は感じましたが、ボディランゲージをつかってお互いのコミュニケーションをとることで理解を深める事ができました。そのとき私は他の国の言語を今まで以上にもっと勉強し、理解を深めたいと思いました。彼らのおかげで多くの友達をつくる事ができ、たくさん笑い本当に楽しかったです。同室になった友達とはいろいろな話をして夜遅くまで語りあったことはいつまでも忘れません。

皆さんには本当に感謝しています。充実した時というのは時間が経つのが早く感じるもので、あっという間に過ぎてしまいました。そして最終日にはたくさんの人が空港に見送ってくれました。そうしてこの素晴

らしいツアーは終了しました。

沖縄に行き、人間的にさまざまなことが吸収できるこのツアーは私の夢でした。これらの機会を与えてくださった方々にとっても感謝しています。そして沖縄県にはこのツアーが毎年行われる事を希望します。

いままで私を支えてくれた両親、山本先生、友人、そして、私を暖かく受け入れてくださった沖縄の親戚の方々に感謝致します。いろいろな場所に連れて行っていただきありがとうございました。一緒に素晴らしい時間を共に過ごしたジュニアスタディーの仲間たち、ツアー関係者、沖縄県政府関係者の方々、県人会の皆様へ感謝いたします。

本当にどのように皆さんにどうお礼を言ったらよいのか「ありがとう」という言葉だけでは言い尽くせない気持ちで一杯です。今回私が経験したようにこれからもたくさんの人にこのような素晴らしい機会が与えられる事を期待しています。本当にありがとうございました。

JUNIOR STUDY TOUR 2007 IN OKINAWA

El día 16 de Julio de 2007 fue un día inolvidable para mí. Desde chica, a partir de que mi primo participara en el Junior Study Tour anhelaba viajar a Okinawa. Ya la noche anterior a la partida a Okinawa, no podía dormir por la emoción que sentía. El día de la salida, mi papá me acompañó hasta el aeropuerto de Ezeiza y ya estaba Yamamoto sensei para despedirme. Me emocionó mucho verla allí.

El 18 de julio, llegué finalmente al aeropuerto de Naha, y el cansancio de haber estado viajando tanto tiempo se me fue de lo contenta que estaba. En el aeropuerto me fue a recibir la gente del gobierno de Okinawa, además de mis parientes y la hermana de Yamamoto Sensei. El recibimiento fue tan lindo, que parecía una fiesta.

Y en este reporte, voy a tratar de expresar todo aquello que sentí durante el tour y lo que siento hoy en día, una vez finalizado el viaje.

Antes que nada, quiero agradecerles a todas las personas que hicieron posible este viaje. No es sencillo expresar la gratitud que siento hacia todas las personas que colaboraron para que este viaje sea una experiencia única e inolvidable. Ni tampoco las “gracias” me resultan suficientes para expresar lo muy agradecida que estoy hacia todas las personas que me dieron la oportunidad de realizar este viaje tan maravilloso, en el que aprendí, viví y sentí muchas cosas.

En este viaje pude recorrer y conocer diferentes lugares. Entre ellos, el acuario Chura Umi, que era la primera vez que veía un acuario tan grande; la playa “Emerald beach” en donde no solamente nos metimos al agua, sino que también pasamos un rato hablando y jugando al voleibol; la caminata

hasta la catarata “Hijiootaki”, donde aprendimos sobre la naturaleza; el castillo de Shuri, donde nos explicaron un poco sobre la historia; el museo conmemorativo de la paz, en donde hicimos un recorrido por las lápidas de la paz, además de escuchar el testimonio de un sobreviviente; el recorrido por el mercado, junto con los chicos de koukousei y destacar la amabilidad y la predisposición con la que todas las personas nos recibían; el recorrido por el castillo de Nakijin, que hice junto con mis parientes. Y por último, la visita a la isla de Tokashiki, que fui junto con los chicos de Bolivia, una vez terminado el tour. Allí pasamos la tarde en el agua y sacándonos fotos. Era la primera vez que veía un mar tan admirable con su agua cristalina!!

Además, pude conocer y aprender más sobre la cultura y las costumbres okinawenses. Hubo un día durante el tour, en el que fuimos al centro artesanal Tenbusu, en donde practicamos la danza ryukyu y aprendimos a bailar tanto con movimientos de las manos, como con diferentes elementos como el samba y el paranku. Si bien, hace años que practico Okinawa buyo, allí pude por primera vez experimentar todas aquellas sensaciones de las que mi sensei de odori me hablaba. Y también, por primera vez, pude tocar el samba. Por otro lado, hace muchos años que quiero aprender a tocar el sanshin. Desde que vi por primera vez a un amigo hacerlo me gusto mucho, pero nunca me animé a tocar por vergüenza. Pero en Okinawa, me animé a hacerlo junto con los demás participantes. Y realmente disfruté mucho de ese momento! No solamente por el hecho de estar realizando una actividad que siempre quise, sino que también porque una chica de Okinawa, que ya sabía tocar, me ayudaba bastante con las cosas, los ensayos de eisa, que si bien no era la primera vez que lo hacía, lo disfruté muchísimo. Especialmente porque por primera vez lo estaba haciendo con gente de mi edad con la que tenía una buena relación. Tanto disfruté de esta actividad, que una noche nos juntamos un grupo de chicos en un salón para practicar todos juntos y perfeccionar junto con el profesor, las partes en las que nos salían mal o que más nos costaban. Esa noche practicamos un montón y si bien, el baile era cansador, el cansancio casi ni se notaba al estar acompañada de tanta gente disfrutando de lo que hacíamos. Y no solo la disfruté por el hecho de mi gusto hacia el tema, sino que también fue gracias al humor y a la paciencia que todos tenían durante los ensayos.

También, en el taller del “sentimiento okinawense en el mundo” nos contaron sobre el sentimiento uchinanchu y de los intercambios culturales en el mundo. Allí pude reflexionar sobre mi identidad, y me di cuenta de que realizaba muchas más costumbres okinawenses de lo que pensaba.

Es difícil creer que haya logrado aprender tanto en tan poco tiempo. No solo sobre la cultura y la historia okinawense,

sino también sobre las culturas de los países de los demás participantes, con quienes pude relacionarme de una forma que nunca me imaginé. Nunca pensé que pudiera hacer amigos que hablen diferentes idiomas en tan poco tiempo. Si bien el idioma fue una dificultad, no fue un impedimento para que pudiera comunicarme con los chicos que hablaban otra lengua. Fue en ese momento en el que me di cuenta de lo importante que fue haber estudiado los diferentes idiomas y además, pude poner en práctica todo lo que había estudiado hasta el momento. Y gracias a ello, pude compartir con mis compañeros, muchos momentos en los que me reí y divertí mucho. También recuerdo las noches en las que nos juntábamos en una habitación y nos quedábamos hablando y jugando hasta tarde. Me encariñé tanto con las personas, que después, el último día nos costó mucho la despedida. El tiempo se me había pasado volando! Y en un abrir y cerrar de ojos, el tour ya se había terminado.

En este tour, cumplí mi sueño de viajar a Okinawa. Y es por eso que quiero agradecerles a todas las personas que me dieron la oportunidad para que el viaje fuera posible. A la Prefectura de Okinawa que permite que todos los años se realice este proyecto. También a mis padres por su esfuerzo y sacrificio; a mis amigos, que igual que mis padres, me apoyaron mucho. No solamente con los preparativos, sino también con sus consejos y el seguimiento constante para que pudiera disfrutar el viaje al máximo. Además, le quiero dar las gracias a Yamamoto sensei, porque el interés por la cultura y por viajar a Okinawa surgió gracias a ella cuando nos contaba sobre qué trataban los bailes. También quiero darles las gracias a mis parientes de Okinawa, por el buen recibimiento, por llevarme a pasear y conocer diferentes lugares. Y además, por el tiempo compartido y el cariño con el que me recibieron. Y por último, quiero agradecerle a la gente del staff, por la paciencia que nos tuvieron y la manera en la que nos cuidaron, y el buen humor para que pudiera disfrutar aún más de este viaje. Todos hicieron que mi sueño se cumpliera e hicieron crecer aún más mi interés por Okinawa porque además me enseñaron a valorar mejor muchas cosas a las que antes no les daba tanta importancia. Sinceramente, no sé como agradecerles a todos por esta gran experiencia.

Y ahora que finalizo el tour, me gustaría transmitirles a otros sobre lo que aprendí y lo que hice durante mi estadía en Okinawa. Y por otra parte, espero que otras personas también tengan la oportunidad de disfrutar del Juniors Study Tour tal como yo lo hice.

Muchísimas gracias, nuevamente!!

Hasta pronto,



真栄城 仲宗根 カリーナ 初江

KARINA HATSUE MAESHIRO NAKASONE

17歳 3世

ペルー共和国 Republic of Peru

ペルー沖縄県人会



沖縄 私の夢の島

ジュニアスタディーツアーに参加する前から、私の夢は経理の勉強を終わってから沖縄へ行くことでした。これは5年後の計画だったが、こんなに早く私の祖先の地へ行くチャンスが訪れるものとは思いませんでした。

この研修に私が選ばれたとき、とても信じられませんでした。興奮のあまり泣きながらお母さんのところまで行ってこの大きなニュースを伝えました。幸せなひと時でした。

私はおじいちゃんや沖縄に行ったことのある友達からの話を聞いて、ビデオなどで見て、歌、踊り、沖縄料理などでしか沖縄を知りませんでした。

いよいよその日がやってきました。いろいろな準備や長時間の旅のあとであつという間に沖縄に到着して飛行機から降りていました。初めて会う親戚と出会ってとてもうれしく思いました。沖縄には私の知らないたくさんの親戚がいました。最初の1週間目が早く過ぎていきました。最初の日に親戚の皆と一緒に墓参りに行きました。毎日なにかと新しい場所を発見していました。その他にもたくさん行きたかった場所があったが、時間の関係で出来ませんでした。

ツアーの最初の日、月曜日がやってきた。このとき初めて他の国の研修生と会いました。ウェルカムパーティーで一緒に踊って、歌って、遊んで少しずつ仲良くなっていきました。私たちはペルー代表としてフェステホを踊って紹介しました。

その次の日から沖縄のいろいろな場所を見学しました。沖縄美ら海水族館へ行きました。私は大きいとは聞いていたが、自分の目で見てすごいと思いました。巨大なものでした。海の生き物にさまざまな種類があることに感心してしまいました。それからエメラルドビーチに行きました。砂が白くてきれいで静かな海でした。大きい波の音がなかったことが少し寂しかったが、泳ぎながら魚を見てたのがとても楽しかったです。

翌日、比地大滝に行きました。近くで自然とふれあって歩きながらいろいろな生物と出会いました。川の中を歩いていた時ヘビが現れてかなりびっくりしたけど、楽しい冒険でした。2時間ほど歩いてからようや

く滝に着きました。そこで水に飛び込んで、洋服を着けたまま全部ぬれながら楽しく写真を撮たくさん撮りました。すごく暑かったのですぐに洋服が乾いて、川の近くでお弁当を食べました。夜には、自分たちで作ったバーベキューを食べて、その後たき火を作って、そのまわりで輪になってみんなで沖縄の歌を歌ったり、踊ったり、ゲームをしたり、最後にはサルサのCDを流して（ペルーでよく踊るラテン系の音楽）他の研修生たちにもダンスを教えるみんなで楽しく過ごしました。

次の日に首里城を見に行きました。城とその周りにある建築物にすごく感心しました。それらの建築物が多分何回も建て直されたと思いますが、昔はもっときれいな建物だったに違いありません。その造り方には中国の影響もあってとても面白いものです。それから沖縄芸能について勉強しに行きました。沖縄舞踊について習いました。ペルーでも習ったことがあるので、私には簡単に出来ました。三板という楽器も習いました。とても面白かったので自分の三板を買いました。これからは練習を続けて、ほかの人達に教えていきたいと思っています。

その日に沖縄の踊りと音楽のショーを見に行きました。一番前でそのショーをみる事ができてとてもうれしかったです。演奏はとても気持ちがこもっていて素晴らしいものでした。こんなに気持ちがこもってやるものを見て感激しました。私もペルーに帰ってそんなふうにしてやりたいと思っています。

次の日、平和祈念公園に行きました。沖縄戦がどれだけ悲惨なものだったか学ぶことができました。その時にたくさん罪のない人々が亡くなったこととその場に私の祖先もいたことについて考えさせられました。反省と悲しみの瞬間でした。

昼食のあとに国際通りへ見学に出かけました。平和通りに入って、そこで沖縄の市場で売っているさまざまな海の幸、野菜や見たことがない果物、お土産、洋服、沖縄民芸品などを見ることができました。そこにはなんでも売っていました。夜にはエイサーの練習が待っていました。暑かったので疲れていたけど、だんだんもっと踊りたい気持ちがわき上がってきて元気が出てきました。このエイサーはツアーの最後の日に踊

るものだったのでがんばってみんなで出来上がるまで練習しました。これは私たちみんなが一緒にいられる最後の夜だったので、夜遅くまでおしゃべりして、このツアーの最後まで一緒に楽しんでいました。

土曜日に講演者の前原信一さんが私たちにウチナーンチュの移民についての話をしました。前原さんの講演はとても興味深いものでした。世界中に広がっているウチナーンチュについて、彼の視点を話して、それぞれの国についても話してくれました。それから私たちは沖縄文化について習ったものを発表したり、ゲームのようにして発表しました。とても楽しくいろいろな移民についての勉強ができました。

修了式の日がやってきました。この日修了証書を受け取り、何日か前から練習してきたエイサーを踊りました。このときはとても悲しかったです。私たちみんな抱き合いながら楽しいときを思い出して泣いていました。これが最後だということを知っていても、それでも帰りたくない気持ちがありました。ここにみんなと一緒に残りたい気持ちが心の中にありました。

次の日にはもう空港にいて、この美しい島で出会った親戚やツアーで仲良くなった新しい友達と一緒にいた日々を思い出して寂しくなりました。私は親戚の方々にとくさんの沖縄の伝統や習慣を教えてもらいました。ここで作ったたくさんの思い出や経験したことを一生忘れないで心の中に留めておきたいです。私の祖先の地を知ることができてとてもうれしいです。今まで生きてきた中で心の中に残るこれが一番の思い出になりました。短い間だったけど、親戚のみんながとても好きになりました。初めて会った時から、私には昔から知っているような感じがしました。

この研修の実現のために関わったたくさんの人々に心から感謝しています。ペルー沖縄県人会にも、沖縄文化を普及しつづける一心で若者にこの機会を与えてくれることに感謝します。これはとても素晴らしい経験なので、私として本当にみんなに経験してもらいたいです。

Okinawa la isla de mis sueños

Antes de formar parte de Junior Study tour, mi sueño era viajar a Okinawa después de terminar mi carrera de Administración, de aquí a 5 años pero la verdad, no podía creer que tan pronto iba a tener la oportunidad de conocer esta maravillosa tierra de mis antepasados.

Cuando me eligieron para esta beca, yo no lo podía creer y de la emoción fui llorando hasta donde estaba mi mamá para contarle la gran noticia fue un momento de mucha felicidad. Yo conocía Okinawa desde el punto de vista de lo que me contaban mis ojichan, mis amigos que ya habían viajado, los videos q había visto, las canciones, los bailes, las comidas tí

picas, etc.

Y finalmente el día llegó, después de tantos preparativos y horas de vuelo en un abrir y cerrar de ojos ya me encontraba bajando del avión y encontrándome por primera vez con mis familiares fue una emoción muy grande al ver q tenia un montón de parientes en Okinawa y por primera vez en mi vida los conocía.

La primera semana con mis familiares se paso volando, el primer día con ellos, lo primero que hice fue ir a poner flores al cementerio y poner osenko a los butsudanes y todos los días había un nuevo lugar bonito para conocer y muchos lugares mas que me quede con las ganas de ir porque el tiempo me lo impidió.

Y llegó el lunes el primer día del tour, fue el primer momento en donde me encontraba con todos los becarios de los diferentes países y tuvimos una gran fiesta de bienvenida en donde bailamos, cantamos, jugamos, nos fuimos conociendo poco a poco todos y en representación al Perú presentamos un número artístico bailando Festejo.

Los siguientes días nos las pasamos conociendo muchos lugares bonitos de Okinawa, fuimos al acuario Chura Umi un acuario que me dijeron que era grande pero cuando fui realmente me pareció impresionantemente enorme, me quede fascinada con la gran variedad de especies marinas que pude apreciar durante mi recorrido por todo el acuario, después del ir al acuario fuimos a la playa Emerald beach una playa muy bonita pero muy tranquila con arena blanquita yo ya estaba extrañando las olas, pero me divertí muchísimo nadando y viendo los pescaditos bajo el mar.

El día siguiente fuimos a la catarata Hijiootaki fue toda una aventura en la que pudimos tener contacto y estar muy cerca de la naturaleza y de los animales que se nos atravesaban y apreciábamos en el camino, una serpiente que mientras caminábamos por el río se nos apareció. Inos asustamos fuerte!... después de dos horas caminado llegamos a la famosa catarata y nos metimos el agua estaba muy, fresquita, nos tomamos muchas fotos, fue muy divertido mojarnos toda la ropa y luego con el sol que hacia nos secamos rapidito, después almorzamos obento sentados alrededor de las piedras junto al río. Por la noche tuvimos una parrillada en donde nosotros mismos tuvimos que cocinar fue muy divertido y mas tardecito hicimos una fogata en donde todos juntos nos pusimos en circulo y cantamos canciones okinawenses, bailamos, hicimos juegos super divertidos y al final pusimos un CD de salsa, un ritmo latino que se baila mucho en Perú y enseñamos a bailar a los demás becarios.

El día siguiente fuimos a conocer el castillo Shuri, me quede fascinada con las grandes construcciones que tiene el castillo a sus alrededores aunque ya ha sido reconstruido varias veces, seguro que antes de ello ha debido ser mucho mas

hermoso apreciarlo y el estilo en que esta construido tiene una cierta influencia china que lo hace mas interesante su arquitectura. Luego fuimos a aprender un poco del arte de Okinawa en donde nos enseñaron bailes okinawenses que ya me eran familiares porque en Perú tuve la oportunidad de bailarlos y pude realizarlos fácilmente, fue muy divertido y también nos enseñaron a tocar samba, y me gusto tanto que me compré una y ahora que aprendí lo que verdaderamente significa tocarla voy a comenzar a practicar mas y a enseñar a las personas que también les guste aprender.

Ese mismo día también fuimos a ver una presentación artística en donde un grupo nos deleito con canciones y bailes okinawenses, fue maravilloso tener la oportunidad de estar en primera fila cerquita de los artistas apreciando su música, sus bailes y sobre todo el sentimiento que le ponían a lo que hacían que fue lo que hizo mas hermosa sus actuaciones, fue la primera vez que veía tan hermosas presentaciones que verdaderamente quede encantada y me gustaría poder hacer lo mismo en mi país.

Al día siguiente fuimos a conocer el museo de la paz donde pude aprender y tener mas conocimientos a cerca de lo trágico que fue la guerra en Okinawa, me hizo ponerme a pensar en toda la gente inocente que murió y en mis antepasados que también estuvieron en ella, fue un momento triste y de reflexión.

Después del almuerzo fuimos a hacer un recorrido por kokusai douri y entramos como en una calle que se llama heiwa douri en donde conocimos como son los mercados en Okinawa, la variedad de especies marinas que vendían, verduras y frutas que antes no sabia que existían, souvenirs, ropa, artesanía okinawense, en fin de todo podías encontrar ahí. En la noche tuvimos nuestra práctica de eisa bastante agotadora por el calor que hacia pero las ganas no se nos quitaban de bailar ya que cada vez queríamos aprender más y mas, hasta terminar el baile que teníamos que presentar el ultimo día del tour. Esta fue nuestra ultima noche en la que estuvimos todos juntos reunidos conversando hasta tarde, aprovechando a lo máximo los últimos días que nos quedaban en el tour.

Ya era sábado y vino el expositor Shinichi Maehara a explicarnos y contarnos sobre la migración de los uchinanchus a todo el mundo, su exposición fue muy interesante y enriquecedora ya que dio a conocer sus puntos de vista a cerca de los uchinanchus que han migrado a diferentes países y nos comenzó a dar una breve explicación de cada una. Luego tuvimos talleres, juegos en los que tuvimos, que demostrar lo que habíamos aprendido de la cultura okinawense fue muy divertido y pude aprender mucho mas acerca de la migración de los okinawenses a los distintos países que nunca me iba a imaginar que podían

haber llegado.

Y llego el día, era el último día que nos quedaba en el tour, fue nuestra presentación final en donde recibimos nuestros diplomas de haber participado en el tour, fue la presentación del eisa que habíamos estado practicando desde hace varios días. Fue el momento más triste en donde nos encontramos abrazados todos juntos y llorando por todos los felices momentos que habíamos pasado durante el tour y sabíamos que todo ya había llegado a su final y nadie quería regresar a sus países todos queríamos seguir quedándonos en este tan maravilloso tour.

Al día siguiente, ya estábamos en el aeropuerto y me daba mucha nostalgia dejar esta hermosa isla donde viví momentos muy bonito con mis familiares y con los amigos que hice en tour, aprendí un montón con mis familiares sobre las tradiciones y costumbres okinawenses, tuve un montón de experiencias bonitas que nunca las voy a olvidar y se van a quedar en mi corazón. Me siento muy feliz de haber conocido la tierra de mis antepasados, me quedo en mi corazón con los mejores recuerdos que he podido tener hasta ahora en mi vida, voy a extrañar mucho a mis familiares de Okinawa que en tan poco tiempo les tome muchísimo cariño ya que desde el primer encuentro los sentí como si los conociera de toda la vida.

Agradezco de todo corazón a las personas que hicieron posible esta beca y sobre todo al AOP por seguir difundiendo la cultura okinawense y por seguir dando la oportunidad a más jóvenes para que puedan formar parte de esta maravillosa experiencia que de verdad me gustaría que todos tengan la oportunidad de vivirla.



伊佐 与儀 幸子 カロリーナ

SACHIKO CAROLINA ISA YOGUI

16歳 3世

ペルー共和国 Republic of Peru

ペルー沖縄県人会



忘れ難き体験

この度、2007年度のジュニアスタディーツアーに参加するに当たり、初めは非常に不安で果たして研修出来るのかと心配していました。

ところが研修が始まると隣国ボリビア及びアルゼンチンから参加したミキさん、ユカリさん達とスペイン語で会話が出来ることを知り大変安心しました。沖縄へ着くまで心配していたことは全て杞憂でした。

翌日2日目、沖縄北部観光した際、最初はお互いに遠慮し余り会話もしませんでした。美ら海水族館で昼食の時、気持ちが通じ合うようになり食事をしながら語り合い笑ったりしていました。

夜観光から帰り、皆が私の部屋へ集まりその日の出来事を夜更けまで語り合いました。その時初めてお互いに心を打ちあけ、夜が明けるのも忘れる程お友達になっていました。皆は話に花を咲かせていましたが私は夜中には寝ていました。

次の夜も私の部屋へ大勢の研修生が集まり、スペイン語、ポルトガル語、英語、日本語とお互いに会話がよく通じないながらも意思の疎通には問題ありませんでした。翌日も同様、私の部屋へ集まりお互いに自国の話をしました。不思議なことに僅か1週間内にこんな親しいお友達になり、別れるのも非常に辛かった。

キャンプで皆と一緒にバーベキューで肉を焼き、遊びながら食べ、一層友情が深まりました。又海岸へ遊びに行きバレーボールで遊んだり、美しい海を背景に写真を撮りました。

那覇の街へはパブロ君、コウダイ君、カズヤ君と一緒に見学しながら市場周辺の写真をたくさん撮りました。カズヤ君は沖縄でパリス・ヒルトンの看板をバックに写真を撮り不思議な光景でした。

私のグループはてんぶす広場へ行き、沖縄の文化、踊りと楽器を1時間半の間に覚えることができました。他のグループは空手の道場へ行き練習を見学したそうですが、大声で気合いをいれている場面がとても面白かったとのことでした。

それから全員会場へ集まり、先生から三線の弾き方の指導があり、習得するのはとても無理と思いましたが、アサドヤユンタの曲と歌を覚えることが出来まし

た。短い曲でしたが皆で合唱する楽しい時間を過ごしました。

平和祈念公園を見学した時、沖縄戦の生存者から直接当時の話を聞く機会がありました。とても怖くて苦しい壕生活を強いられたこと。それから祖父母の故郷のことがもっと知りたくなりました。

国吉トシヒロ先生から教えてくださったエイサー踊りは私にとって一生忘れることができない楽しいひとときでした。

いよいよ最後の晩となりました。皆別れを惜しんで夜更けまで話し合っていました。私は寝坊で早くから寝ていたので皆が私を起こそうとして水を掛けられました。でも楽しい最後の晩でした。

修了式の日、皆別れを惜しんで涙を流しながらお互いに記念品を交換しながらこの日を忘れないよう誓いTシャツに記念のサインをしました。私達のキャッチフレーズは“ピチピチお姉さん”でした。

私達ジュニアスタディーツアーの皆様、又どこかで再会する機会があることでしょう。お互いに祖父母の故郷、沖縄の発展のために頑張りましょう。

ユカリさん、ゆかさん、みさきさん、和哉さん、大祐さん、コウダイさん、パブロさん、マサユキさん、善男さん、ユミさん、志帆さん、聖乃さん、その他の皆様、ではお元気で再会を楽しみにしています。

最後になりましたが、県庁の皆様から歓待され、又沖縄文化を少しでも習得出来たこと心から感謝いたしております。

UNA EXPERIENCIA INOLVIDABLE

Quando recién viajamos estaba con los nervios y muchas dudas sobre el JUNIOR STUDY TOUR 2007 en el que íbamos a participar.

Quando comenzamos este programa estaba con la impaciencia de cómo sería.

Resultado que fue mucho más de lo que yo me imaginaba. Personalmente cuando recién comenzamos me logré integrar mas con las chicas de Bolivia y argentina, Miki y Yukari; supongo que era por la facilidad del idioma y como era lo mas normal, las chicas por su lado y los chicos por el suyo.

Al día siguiente cuando fuimos al norte de Okinawa, increíblemente nos logramos integrar un poco más a pesar de ser recién el segundo día, ese día fuimos al acuario Churaumi, fue la primera vez que almorzábamos juntos con los chicos y riendo.

A partir de ese momento fue cuando comenzamos a hacer amistades, ese día en la noche un buen grupo se reunió en mi habitación y se amanecieron conversando, digo se amanecieron porque siempre yo era la que se quedaba dormida primero a eso de la medianoche.

Lo que a mí me pareció interesante de esto fue que en esa habitación habíamos chicos de habla hispana, portugués, inglés y japonés; y a pesar de esto, que uno mismo no entendía todos los idiomas no fue ningún impedimento para poder comunicarnos con los demás. De igual manera se realizó la noche siguiente y para no extrañarse también me quede dormida.

Fue muy extraño que en una sola semana habíamos llegado a ser muy amigos que prácticamente no nos queríamos separar. El día que realizamos la fogata y los juegos, sentí que me pude integrar más con mi grupo. A la vez también fue muy divertido el haber cocinado juntos, aunque todos luego olíamos a grasa, aunque eso es lo de menos.

Cuando estuvimos en la playa nos la pasamos tomándonos fotos con la gran parte del grupo y también jugando voley.

El día que realizamos el paseo por el mercado y las calles justo ahí me tocó con Pablo, Kodai y Kazuya y creo que todo el camino fue sesión de fotos, ahí me divertí mucho a pesar del gran calor que hacía, una de las cosas más graciosas que sucedió fue cuando pasamos por el mercado y le tomamos una foto a Kazuya con un afiche de Paris Hilton.

Cuando fuimos al Tenbusu a aprender más sobre la cultura, me impactó que en sólo 1:30 hallamos podido realizar odori y a tocar instrumentos, no sólo hacerlos sino que también aprenderlos. Además me comentaron que en el otro grupo de Karate todo fue risas ya que cada gesto y grito que daban les causaban gracia todo fue muy divertido.

Luego nos juntaron a todos en un auditorio para aprender a tocar el sanshin, como que al principio era complicado y el sonido extraño, pero luego fue más fácil y aprendimos a tocar la canción ASADOYA YUNTA.

Compartimos gratos momentos cuando tuvimos un pequeño concierto que a pesar de ser corto lo disfrutamos juntos y muy alegres.

El día de la visita al museo de la paz, fue triste e impactante cuando escuchamos el testimonio en vivo de una persona que vivió aquellos tiempos de guerra y miedo. Para mí fue importante ya que así conocía más sobre cómo fue la vida de los Okinawenses y de mis ancestros durante ese tiempo.

Por supuesto que no olvidare nuestras prácticas de eisa con el profesor Kuniyoshi Toshihiro con quien también compartimos muy gratos momentos, y es una persona que nunca voy a olvidar.

Llegando ya la última noche juntos la gran mayoría nos quedamos despiertos hasta tarde, recuerdo que yo me quede dormida y los demás hicieron todo por levantarme tanto así que me estuvieron tirando agua, lamentablemente era nuestra última noche juntos.

Después de haber vivido todo esto estoy feliz, satisfecha y no me arrepiento de nada ya que aproveche al máximo todo lo que me brindaron, enseñaron y todas las amistades que logre. El día de nuestra graduación lo vivimos al máximo y es un día que nunca olvidaremos, casi todos entre lágrimas nos fuimos despidiendo dándoles un obsequio y dejándonos un mensaje en el polo del programa.

Fue una experiencia muy bonita de la cual no me arrepiento y que nunca voy a olvidar.

La frase de nuestro JUNIOR STUDY TOUR 2007 fue "pichi pichi onesann" la cual siempre mencionábamos en todo lugar.

Chicos los extraño bastante y nunca los voy a olvidar, gracias por todos esos bellos momentos que pasamos juntos. Tal como la promesa que nos hicimos de volvernos a encontrar en algún momento, se que la vamos a cumplir sea en corto o largo tiempo, pero de todas maneras nos vamos a volver a ver.

Los quiero un montón Yukari, Yuka, Misaki, Daisuke, Kodai, Pablo, Masayuki, Yoshio, Yumi, Shiho, Shono, y todos los demás.



ジャスティン トヨサト

JUSTIN TOYOSATO

14歳 4世

アメリカ合衆国

United States of America

北米沖縄県人会



ジュニア・スタディー・ツアー (JST) 2007

僕は正直いうとJSTの最初の日にこのツアーは退屈するだろうと思っていました。

ところが違う国々からきた多くの人たちに会いだんだんと楽しくなっていました。今ではJSTで知り合った人たちが僕の親友となりました。一番最初に声をかけてくれたのが沖縄出身のよしおでした。お互いに自己紹介をしました。僕はよしおの屈託のない態度に好感を覚えました。よしおとの話しをきっかけに色々な人たちと色々な場所で話しをするようになりました。これが僕の一番最初の日です。この時このツアーは楽しいものになると確信しました。楽しい歓迎会が催されました。そこでだいすけという面白い男の子と知り合いました。その歓迎会の日に僕はおばさんと出かけることになっていたのに、歓迎会を早めにぬけましたが、また戻ってきて僕のルームメイトと一緒にトランプをしました。

首里城を訪ねました。首里城の歴史、琉球王の話はたいへん興味深いものでした。城には違う形のシーサーがたくさんありました。城のデザインもシーサーのデザインも気に入りました。沖縄のととても蒸し暑い中を僕たちは長い間歩かされましたが城のことを教わり有意義に過ごしました。

美ら海水族館に行きました。とっても楽しかったです。その日は最高に暑い日でしたが愉快でした。イルカのショーも観ました。イルカの芸の巧みなのに皆驚かされました。

ショーの後、水族館に入るために入場券を買い五人組のグループに別れ水族館を覗いて回りました。僕たちは色々違う種類の珍しい魚を水槽に見つけては驚いていました。そこには棘のあるレイ、鮫、蟹、クラゲ、他にもたくさんの魚たちが泳いでいました。水族館は広いのでたくさん歩きました。分かれた他のグループと出口で合流しみんなで食事をすることにしました。とっても楽しい一日でした。

もうひとつ楽しかったことは比地大滝に行った日です。そこには珍しい昆虫やトカゲがいました。僕たちは裸足になり川の中に入りました。そこにもたくさんの見慣れない変わったものがありました。それから沖

縄一大きい滝にも行きました。ツアーガイドさんにここで泳いではいけないといわれましたが僕たちのリーダーはそんなことお構いなしに水の中に飛び込んで泳ぎ始めました。帰りに食事処に立ち寄ってからホテルにもどりました。

このJSTのツアーの間僕たちは三回くらいビーチに行くことができました。ビーチは最高に楽しい所です。余りに暑いので泳いだら涼しくなると思い海の中に入ったけれど沖縄の海の水は温かいのでそれほど涼しくはなりません。僕たちは水遊びをしたり、バレーボールをしたりして遊びました。とても楽しくみんなも僕と同じくらい楽しかったと思います。ポリビアから来た女の子と話をしました。名前は“みさき”だったと思います。

このJSTのツアーで最高に楽しかった日はホテルでの最後の日です。みんなで集会場に集まり歌を歌ったり、ダンスをしたり、ゲームをしたり、お喋りをしてやりして過ごしました。夜遅くまで起きてパーティーを楽しんでいたのに翌日はみんな疲れ気味でした。

僕たちは平和祈念資料館にも行きました。戦争体験者の方がその時の様子を多くの死者を出したことも含め話してくれました。それはたいへん悲惨な出来事でした。僕は通訳がなかったほうが自分なりにもっと深く戦争を理解できたように思いました。

このツアーで僕の祖国沖縄を多く学びました。沖縄に来てよかったです。沖縄で過ごした日々は僕の人生の中でたいへん有意義なものとなりました。沖縄県人会そして沖縄県のお蔭で僕は新しい友達ができ、日本語を習うことができ、また祖国の文化を習うことができました。有難うございます。

Junior Study Tour (JST) 2007

To tell the truth, on the first day of the JST, I was thinking that it was just going to be really boring. Then as the day went on, I found that I was meeting a lot of different people from different countries and I was having fun. Now, some of my best friends are people who I met on the Junior Study Tour. The first person to talk to me was Yoshio from Okinawa. We introduced ourselves to each other and I liked how he

was not shy about talking to me. After I met Yoshio, I started talking to other people from many other different places. It was just the first day, but I knew I was going to have fun. The welcome party was really fun. I met Daisuke and he was really funny. I had to leave right after the welcome party to go out with my auntie, but I came back and played cards with my roommates.

I really enjoyed visiting the castle. The history of the castle and the kings of the past were very interesting. I like the design of the castle and there were very many shisa lions of different designs. It was very hot and humid and the group had to walk for a long time, but I enjoyed learning about the castle.

I really enjoyed going to the Chura-Umi Aquarium. That day it was extremely hot, but it was really fun. The dolphin show was really enjoyable. Everyone in the audience was amazed by the flips and tricks that the dolphins performed. Once the show ended, we went inside the aquarium to pick up all of the tickets for admission. We went inside and made our own groups of 5 and explored the aquarium. My group walked around amazed by the different kinds of fishes in the tanks. I saw stingrays, sharks, crabs, jellyfish, and many other different fishes. It was a long walk because of how big the aquarium was. The whole group met up at the end of the aquarium tour and we walked outside to pick up our food and drinks. It was one of my favorite days in the tour.

The day we went to the rainforest was one of my favorite days. I liked seeing all of the strange looking insects and lizards. We took our shoes off and walked through rivers and saw many beautiful things. The whole group went to Okinawa's biggest waterfall. The tour guide for the rainforest didn't want us to swim, but that did not stop one of our study tour leaders. He just jumped in and had a great swim. Afterwards, we ate at this place that was like a mall but for food and then headed back to the hotel.

A couple of days into the tour, we all went to the beach. It was so much fun! It was a very hot day, and going in the water didn't really help because it was warm in there too, but it was playing water games and volleyball with all of my friends that made it all fun. I had a great time and I think everyone else did too. I even started talking with one of the girls named Misaki or Miki from Bolivia.

The last day we were staying at a hotel was one of the most fun times that I've had on the tour. A lot of the people from the tour got together in the orientation room and played music, danced, played games, and socialized with each other. It was very fun though the next day everyone was tired because we were up late.

We also went to a museum of the Japanese war. A veteran of the war also spoke to the whole study group about what

happened and how many people died. It was very tragic though I think it would have been better and I would have understood the concept more if I did not have to use the translator.

At the end, I really did learn a lot about my Okinawan roots. I loved going to Okinawa. The time I spent there were the best times of my life. Thanks to the OAA and the Okinawan government, I met new friends, learned some Japanese, and learned about my culture. Thank you very much.



マーロウ 麗矢

LAIYA MARLOW

14歳 2世

アメリカ合衆国

United States of America

コロラド州沖縄県人会



ジュニアスタディーについての感想

まず初めにジュニアスタディーツアーというこの素晴らしい機会を与えてくださった事に感謝します。

私が経験した様にジュニアスタディーツアーが世界の若い沖縄のジェネレーションの人々にもっともっと経験してほしいと思います。ですから下記の様に私がツアーの間に学んだ様々な事を記したいと思います。

まず時間的な余裕が全くなくきつかったのではないかと思います。1日に4ヵ所もの場所を回りそこで一生懸命学べるどころではなかった様に思います。

多数の参加者が宿題をこなし床に就く時間が1時～2時、そして6時半に起床で朝食を食べるというハードなスケジュールでした。ですから、もう少し時間的なゆとりがあればと思いました。

かんぱレクセンターで寝泊まりしたのですが、14名の方が1つの部屋でした。あまりに大きいので部屋のような雰囲気がなかったです。その上、お手洗いやお風呂場がなかったので落ち着きませんでした。けれどもみんなが助け合ってお手洗いやお風呂場を使ったりと、そういう事から集団生活を学んだと思います。

那覇空港では親戚の出迎えよりもブラジル、パルー、アルゼンチン、ジュニアスタディーツアーのスタッフの方、その他大勢の方々が大きな歓迎のサインで私たちに挨拶して出迎えて頂いた事にはとても感動しました。

沖縄の方々はとても優しく、そして仲間の皆さんにはとても恵まれました。何か私が必要としていると、いつでも側にいてくれました。

沖縄にいる間は沢山のことを学びました。まず沖縄にある水族館が世界で2番目に大きいということ。私は動物や海が好きなので美ら海水族館ではとても楽しく学びました。しかしアメリカに住んでいる私はジョージア州アトランタにある世界で1番大きな水族館へはまだ行ったことがありません。そこへ行く機会があれば美ら海水族館とどう違うのか見比べる楽しみが増えたと思います。アメリカでは見られない沖縄の動物が見られたのでアメリカと沖縄の違いが学べたのではないかと思います。

エイサーと三線も習いました。私にとってエイサーと三線はとても難しかったです。

比地大滝は沖縄で1番大きな滝、とても美しい光景で涼しくて素敵なおとこでした。途中木の上にハブがいるのを見ました。大きいかと思いましたが、小さかったのでよかったですと胸をなでおろしました。

首里城へ行ったときは、そこが海を見渡せる場所です。それはもう壮大で私の目を引きつけて放しませんでした。沖縄の海の色は沢山の緑と青の色調で彩られてとても美しいです。そのきれいな沖縄の海の色と首里城の赤色がとても完璧に近いほどあって見とれてしまいました。

首里城の龍は中国の龍の爪が4つあるのに対し、3つだと教わりました。やはり中国のと似ていると見られました。

平和祈念資料館では職員の長田さんによる戦争の話はとても詳しく、私の頭の中で、映像として何が起きていたのか想像出来るほどでした。合計2万4千人以上の人が戦死したとおっしゃっていました。沖縄、日本本土、アメリカ、そしてアメリカに同盟した他国の連合会、国籍に関係なく、名前が平和の礎に彫られているということ。戦死した方々皆さんの名前を彫ることで戦争がいかに愚かであるのかという強いメッセージです。自国の記念碑に人種を越えた敵国の戦死者も共にするという事に深く心を打たれました。

平和通りの名前が戦後に付けられたマチグァーの名前だと聞いたとき、なんと意義深いのだろう。そしてその時代にとってもふさわしい名前だと思いました。

移民の事についても教わりました。人々は仕事そして幸福を求めて移住した。今日、今もなお世界のウチナンチュが一生懸命働き幸福を求めて生活しています。

ジュニアスタディーツアーを通して世界中から友達をつくる事が出来ました。それは私にとってとても誇りに思うことです。なぜなら普段は私は人前ではとても内気なのです。ジュニアスタディーツアーは私の心を打ち広げてくれました。このジュニアスタディーツアー以来、家ではもっと日本語で話すようになり、その上、ひらがな、カタカナ、ローマ字の書き方を習っ

ています。

以前にもまして沖縄や日本について興味が湧いてきています。ジュニアスタディーツアーで沢山の事を教わりました。それは私の将来や友について沢山の機会を開放してくれました。過去を見るのではなく、今、そして将来に目を向けて前進することを。以前は、友達はずでいるから他にづくらなくてもいいと思っていました。でも今はもっと新しいお友達を作りたいと願っています。以前は私の友達に電話して出掛けることも無かったのですが、今では学校で友達と会話をする機会が多くなり、出かける様になりました。

ジュニアスタディーツアー後、私は将来について考えずにはいられなくなりました。例えば、沖縄の大学へ行く可能性やどういった仕事に就きたいのかとか、卒業後は沖縄で暮らしたいなどという事です。

有意義なジュニアスタディーツアーに参加させていただき、なんて私は幸運なんでしょう。

スタッフの方々、ボランティアの方々に行く先々で助けていただき本当に感謝しています。ありがとうございました。

もし、来年のJSTでお手伝い出来る事が有りましたら、どうぞ迷わずにお電話ください。JSTのスタッフの方々やボランティアの方々に感謝します。なんでも必要とあればお手伝いしたいのです。お知らせください。

What did I think about Junior Study Tour?

At first, I would like to say thank you for giving me a wonderful opportunity that Junior Study Tour gave me. So I would like Junior Study Tour to continue so people like me. That are Okinawan generations to experience the experience that I had. That is why the things below are going to be good and bad things that I experienced during the tour.

I thought the schedule was time crunched. Trying to get to four places in one day is harsh. The schedule was so hard that you couldn't really enjoy or learn the places you went. Most of the people didn't go to bed until one or two o'clock. In addition, we have to wake up by 6:30 to eat breakfast. So maybe make the Junior Study Tour longer, to enjoy and learn more about Okinawa. Also the big room I stayed in at Kampo recreation center. Where 14 other people stayed in, it was so big that it didn't feel like a room. It was somewhat uncomfortable, because there were no bathrooms or showers. However, everybody help each other to go to bathroom or use the shower. So, I learned about group life from that.

At Naha Airport, there was a big welcome sign and there were people from Brazil, Peru, Argentina, and other countries to greet us. Some of the Junior Study Tour staff came to, so that surprised me a lot. Instead of your relatives picking you

up and go home. Therefore, I thought that was really neat.

The people were very nice; I enjoyed everyone's company. If I needed help with anything, there were people there to help me.

When I was in Okinawa, I learned a lot. I learned that Okinawa has the second largest Aquarium in the world. I thought the Churaumi Aquarium was really fun too. I like animals and water so that fit perfectly. However, I have never been to Atlanta, Georgia, USA the largest Aquarium in the world. So, when I have a chance to go there I can compare what the difference is between them.

I really think if we went to the Zoo, it would've been more fun. In Okinawa, there are animals that don't exist in the U.S.A. I could learn about what the difference is between Okinawa and U.S.A.

In addition, I learned how to Eisa and play the Sanshin. To me, Eisa and Sanshin was very difficult to do.

I learned that the great Hiji Falls is the largest waterfall in Okinawa. It was a beautiful view, nice, and cool. In addition, we saw two habu on the tree. I was expecting it to be bigger but it was smaller so, I got lucky.

When we got the shuri castle, we went to a place where you could see to the ocean and the view was spectacular. Okinawa's ocean is so beautiful the color has many hues of green and blue. The color red of Shuri castle and the ocean fit so perfectly together.

I learned that the dragons there have three claws instead of four what the Chinese dragon has. When I looked at shuri castle and the dragons, I could see that it looked somewhat of a Chinese one.

When Nagata-san explained what it really was like during the war, I also cried. The way he explained was so detailed, that I could picture it in my head what was happening.

I learned that over 240,000 people died total. At the peace memorial there is Okinawan, Japanese and allied forces names on the wall. By putting everybody's name that died during the war on their wall sent a message that war is unnecessary. No other country has put other race then there own on a memorial. That moved me a lot.

When I heard that Machigua's name was thought of after the war meaning peaceful street. I thought "how meaningful", the name was really appropriate at the time.

I learned about immigrants and they were going after work and the pursuit of happiness. Today, around the world there are still many Okinawan people working hard to make a living.

I learned so many things about Okinawa that I didn't know before. I would of like to learn more about Okinawan culture and animals.

At the end of Junior Study Tour, I made friends with people

from around the world. I'm really proud of that because I'm really proud of that because I'm usually pretty shy around people. Junior Study Tour opened me up more.

Home stay was the part I was most looking forward to. I haven't seen my relatives in seven years, so that was a BIG thumb's up for me.

Since this trip, I speak more Japanese at home. In addition, I am learning how to write Hiragana, Katakana, and Ro-ma ji.

Now I am more interested about Okinawan and Japanese way.

Junior Study Tour has done so many things for me. It has opened me up to more opportunities of my future and to make friends. Instead of staying or looking at the past to look to the present and future. Now I want to make friends, instead of thinking I already have a lot of friends. I'm more talkative at school or just hanging out with my friends. Before I wouldn't call my friends to hang out. I would usually just stay home.

After Junior Study, it really has got me thinking about my future. For example, what kind of job I want and the possibility of going to a University in Okinawa.

After graduating maybe, make a living in Okinawa.

Attending Junior Study Tour has made me realize how fortunate I am. Junior Study Tour has so many meanings to it. I really appreciate the staff and volunteers helping me out when I needed it. Thank you very much.

If you need help with Junior Study Tour next year, Please don't hesitate to contact me. I really would like to help you.

Thank you to the Junior Study Tour staff and volunteers. Remember don't be afraid to call me I would really like to help with anything you guys need.



マケラ レネー コール

MICHAELA RENE COLE

17歳 3世

アメリカ合衆国

United States of America

アトランタ沖縄県人会



2007年 ジュニアスタディーツアー

私の名前はミケイラ・コールです。今年の夏に、アトランタ沖縄県人会代表としてジュニアスタディーツアーに参加する機会が与えられました。アメリカから5人の内の1人として、一生に一度しかない体験に選ばれました。

私達には毎日新しい何かがありました。新しい場所を訪れ、会ったことのない人に会い、そして新しい発見がありました。初日は、いろんな国から来た全然知らない人に会い、皆に好まれるだろうかと思うと、正直言って非常に緊張しました。それに言葉の壁が物凄く心配でした。母国語の英語しか話せない私は、少なくとも4カ国から来た子供達といかにコミュニケーションするか不安でした。スタディーツアーのスタッフが私達を歓迎した後に各自ゆっくり自己紹介をし始めていくうちにいくらか落ちついてきました。

一週間かけて、ツアーで私が今まで行ったことない場所に案内されました。たくさん素晴らしい場所を訪問しましたが、平和祈念資料館が私のお気に入りでした。そこは私にとってもっとも意味のある場所でした。なぜなら、私の先祖の苦痛と避けられなかった体験を学ぶことができたからです。アメリカ人の視点ではなく、ウチナンチュとして見た苦難を知ることができました。そこで、私は沖縄の家族が戦争中に体験した実話を見る機会がありました。この話には感動し、読みながら泣いていました。私の家族の事を知るために、一日中、平和祈念資料館にいれるんじゃないかと思いました。

二番目に好きな場所は水族館です。そこは息をのむくらい凄くて、いままで見た水族館で最も立派なところの一つです。こんなに大きな水槽は見たことありませんし、水槽の中の半分以上の魚は見たことも、聞いたこともありません。そしてこんなに愉快的イルカショーを見るのも初めてでした。おもしろいことに、事実そこは世界で一番大きい水族館でしたが、現在では、アトランタの水族館が最も大きいのです。私はアトランタ代表としてホントに誇りに思いました。水族館の後、エメラルドビーチに連れて行ってもらいました。何ともいえない猛暑でしたが、海の水は気持ち良

くて、友達と一緒にいて凄く楽しかったです。

私の次のお気に入りには首里城でした。首里城は魅力的でした。なぜなら本当に見て回ることができたし、完全に復元された城を見て、昔の首里城の様子がわかったからです。それから、本物の遺物を見るチャンスもありました。首里城を出た後、金城町の石畳を散歩しました。300年前にできた沖縄で最も有名な一箇所の旧跡を見て歩けることはとても素敵なことでした。

ツアーは楽しかったが、でもきつい時もありました。比地大滝へのハイキングがその一例です。美しい風景で自然に親しむのもいいが、5時間も小川を越え、溪流沿いの道を歩くのはかなり困難でした。しかし、それは私の人生の最高の経験のうちの一つでした。

他の活動で、私が楽しみにしてたのは三線のクラスでした。三線を弾くのを長い間待ち焦がれていたのに、三線のクラスを与えられた時ほど有頂天になった事はありませんでした。あまり上手には弾けなかったが素晴らしい体験でした。

実を言うと、エイサーを習うチャンスがあると知った時は最もぞくぞくしました。

私は長い間エイサーのグループと踊りたかったのです。以前、私の祖母はエイサーの練習をしてて、私がいつも習いたがっていた太鼓を送ってくれました。友達と舞台に立った時は本当のパフォーマーのような気がしたし、また、家に帰った時にはやっと祖母からもらった太鼓を使うことができるだろう。

お別れパーティーが多分一番つらい時間だった。なぜなら一週間ずっと一緒に過ごした人達に別れを告げるのは辛かったからです。旅行中の案内や言葉だけではなく、生活の仕方やいろんな事を私に教えてくださった皆さんと別れるのは本当に辛かったです。もちろん、朝早く起きたり、お箸しか使えなかったり、それに皆が何を言っているのか分からないのはきつかったけど、この気持ちは変わりません。

この旅行中に何人かの仲良しの友達ができました。一生忘れることはないでしょう。夢でしか行くことのできない国の子供たちと会うことができ、みんなからいろんな事を学びました。そして少しの日本語と少しのスペイン語、少しのポルトガル語がわかるように

なりました。でも、本当に結果的に私達は各国の人々との近親間を少しだけ築きました。世界との架け橋を創りました。こんなに素晴らしい機会を与えられ、それに参加できたことには感謝の表しようがありません。それは今まで経験したこと、そしてこれから経験するであろうことの中なかでも最も素晴らしく、記憶に残る経験でした。心から感謝します。

JUNIOR STUDY TOUR 2007

My name is Michaela Cole. This past summer I was given the opportunity to join the Junior Study Tour representing the Atlanta Okinawa Kenjin Kai. I was one of the five kids from America to be chosen for this once in a lifetime experience. Everyday we did something new, visited a new place, met new people, and discovered new things. I have to say that the first day was most nerve-wrecking, only because I knew I would be meeting many different people from different countries and wasn't sure if they would like me. I also was super nervous about the language barrier. I knew kids would be there from at least 4 other different countries and wasn't quite sure how I would be able to communicate with them judging by the fact that my first and only language is English. After everyone was welcomed by the tour staff we slowly started introducing ourselves to one another, breaking the ice. Throughout the week, the tour took us to places I have never been to. Although we visited many amazing places, my favorite was the Peace Memorial Museum. This was the most meaningful place to me because I learned the hardships and trials my ancestors had to go through. I saw the tribulations through Okinawa's eyes and not America's. I actually had the chance to read true stories of Okinawan families and what their experiences during the war were like. This touched my heart so much I actually started crying while reading. I felt like I could have stayed their all day just learning about my families past.

My second favorite place was the Aquarium. I chose this as my second favorite place because it was absolutely breathtaking. It's one of the most exquisite places I have ever been! I have never seen a fish tank so large! I also had never seen or heard of half the fish there. It was also my first time ever seeing a dolphin show as entertaining as that one. A fun fact about the aquarium is that it used to be the world's largest, but now the Atlanta Aquarium is the largest. I definitely took pride from representing the Atlanta Okinawa Kenjin Kai. After visiting the aquarium the tour treated us by bringing us to Emerald Beach. I can't even begin to tell you how hot it was, but the water was great, and being there with my friends was so much fun.

My next favorite place was Shuri Castle. Shuri Castle was

so appealing to me because we actually got to walk through it and see the exact replica of how it used to look. We also had the opportunity to see actual remnants of the castle itself. After leaving Shuri Castle we walked on the stone pavement in Kanagushuku Town. It was so neat walking through one of the most famous places in Okinawa, being able to see landmarks that were there hundreds of years ago.

Now, although this trip was extremely fun, it wasn't always easy. Trekking through the Great Hiji Falls is a perfect example of tough. Even though the scenery was beautiful and getting to know the nature was great, five hours of walking through creeks and up mountain range was pretty difficult. But it was one of the best experiences of my life.

Another activity that I was excited to be apart of was the Sanshin class. I have longed to play Sanshin for quite a long time now, and when we were offered a class to play I couldn't have been more ecstatic. I may not have been very good, but it was a great experience.

I have to say that I was most thrilled at the fact that we would be granted the opportunity to learn Eisa. I have wanted to perform with an Eisa group for as long as I can remember. My grandmother used to practice Eisa and actually sent me a drum that I've always wanted to learn to play. I felt like I was a true Eisa performer up on stage with all my friends, and that I could finally put that drum to use when I returned home.

The Farewell party was probably the hardest activity yet, only because it was just heart-breaking having to say goodbye to the people I have practically lived and been with for the past week. The people who have taught me so much and guided me through this trip, helping me understand not just their language, but their way of life. Sure, getting up early every morning, and only being able to use chop sticks, and never understanding what anybody was saying was tough, but I wouldn't change a thing. Through the course of this trip I made some of the best friends, I will never be able to forget.

I had the chance to meet kids from many different countries, I only dream of visiting. I learned so much from everyone there. I learned a little Japanese, a little Spanish, and a little Portuguese. But what it really all comes down to is we all have just brought all of our countries a little bit closer together. We have created a bridge between different nations. I can't begin to state how thankful I am to have been given an opportunity such as the one I was presented. It was one of the most amazing, memorable, unforgettable experiences I have ever had, or will have. I just want to say Thank you for everything.



トモコ レネー レオナード

TOMOKO RENEE LEONARD

17歳 2世

アメリカ合衆国

United States of America

インディアナ沖縄県人会



2007年度ジュニアスタディーツアー

私の沖縄への旅行で、私たちは沖縄の先祖の歴史、文化、言語について学びました。又、国の歴史、文化、そして言語自体についても学びました。旅行中で色々発見した事は私の生涯にいつまでも残る事でしょう。私はただ日本人であるだけでなく、私はウチナンチュです。

最初の数日はうるま市に住んでいる家族と共に過ごしました。今まで一度も会った事もないので、本当に素晴らしい経験でした。すぐに気持ちが通じ合い、色々楽しい所へ案内されました。沖縄のショッピングモール、沖縄の世界、二つの洞窟を見学しました。私はトンカツを始めて食べ、すぐに大好きになりました。もう一つ、私が見る事が出来たのは結婚披露宴でした。私はこれまでにいくつかの結婚式へ行きましたが、沖縄の結婚式へ家族と一緒に出席し、凄く感激しました。着物を着て皆と一緒にカチャーシーも踊りました。

その後、旅行グループと一緒に住み、良い友達も沢山出来ました。ペルー、ブラジル、アルゼンチン、ボリビア、そして沖縄の十代の生徒達は私の心に一生忘れる事のない印象を与えています。ゲーム、研修会、談話時間を通して、親しくなった友達と未永く交流を続けたいと思います。

グループと共に、言語、文化、各国の歴史、そして沖縄の歴史を勉強しました。新しいゲームを習い、古いゲームをしたり、新しいダンスや古い踊りも習いました。私たちは自分の家族の国だけでなく、他の国の事も忘れず、永久に関連を結ぶ事を誓いました。

旅行と活動は私の大好きな分野でした。イルカショー、水族館、ヒジの大滝、首里城、平和祈念碑、町グアーマーケット、金城町、テンプスホールを訪問しました。琉舞、エイサー、沖縄空手、三味線、エイサーを習い、唄舞いを見学し、移民についても勉強し、途中いろいろなゲームをしました。沖縄で色々学び、多くの活動をしたので、アメリカに帰ってからは退屈で大変でした。しばらくは暇な時は何をしたいのか分かりませんでした。何よりも嬉しかったのは敏雄先生からエイサーを習った事です。同じ言葉を話さなくてもとても楽しい先生でした。

私の家族と一緒に過ごしたことが何よりも良かったと思います。皆は私が気楽に過ごせるように気づかせて下さいました。沖縄の人は、アメリカの人達より礼儀正しいと思いました。ニューヨークでは歩行者が歩いていると、車にひかれる可能性もありますが、沖縄の運転手は歩行者を優先し、自身の運転にも良く気をつけています。この礼儀正しい運転手と私の素晴らしい家族はいつまでも私の心に残る事でしょう。

私は沖縄に滞在中、色々言語について学びました。まだ、簡単に意味の通る文章を組み立てる事は出来ませんが、以前よりは良くなっています。日本語を話す時は今まで話せなかった言葉もでてくるし、また少し習った方言も使えるようになりました。私の日本語の先生は私が何を話しているか解らないと思いますが、私の母と祖母は、私の話は良く解っています。良い外国語の先生に成る為にも一生懸命頑張り、言葉の知識を広げるように努力しています。

最終的に、私の沖縄旅行は私の人生に対する物の考え方を変えたと思います。私を心から歓迎して下さいました。沢山のの人に会い、最終日には別れが辛くて泣いてしまいました。沖縄であった皆さん、プログラムを企画して下さいました方々の事は一生忘れません。これからの私の物の見方に深い影響を与えました。私は日本文化、特に沖縄文化を単純に学ぼうとは思ってはいません。私が日本、沖縄文化、言語を習いたいのは、私の家族が、沖縄出身であり、私の一部が、沖縄の血のつながりがあるのでその文化、言葉を学びたいのです。私はその事を一生忘れてはならないのです。

少数の要求、提案したい事があります。もし、旅行滞在期間を1、2週間延長出来れば非常に良いと思います。滞在期間があまりにも短かすぎると感じました。プログラムの予算に制限があると思いますが、他に方法はないのでしょうか？ また、旅行をお盆祭りの期間に変更出来れば良いと思います。お盆祭りのことはいつも叔母が話していました。私も参加してみたかった。また、夕食のとき毎晩違う国から一品の料理が紹介され、各国の食事が試食できたらと思います。私も実際に試食してみたいと思いました。

最後に、色々沢山学んだものですから、このページを書くのに困惑し、思考が飛び散ってしまいました。

私が学び発見した事が皆さんの動力となるよう望みます。沖縄の歴史、文化、そして言語を色々学んだので、日本語の先生に話したい気持ちでいっぱいですが、残念なのは私が学んだ事はクラスでは、必要としないので、クラスの友人に話すだけになるでしょう。私の提案を真剣に考慮して下さいをお願いします。もしこの提案が活動良化に役立たないと思ったら、この提案は提出しなかったと思います。

私の家族と初対面する機会を与えて下さった関係者の皆さんへ、心からお礼を申し上げます。また来年のジュニアスタデーツアーが、より以上に成功を満たす事をお祈り致します。

JUNIOR STUDY TOUR 2007

On my trip to Okinawa, we learned about the history, culture and languages of the descendants of Okinawa. We also learned about the country's history, culture and language itself. Over the trip, there were many things that I discovered that will stay with me for the rest of my life. I am uchinanchu, I am not just Japanese.

For the first few days, I got to stay with my family in Uruma. Having never met them before, it was a great experience. We instantly bonded and they took me to see some fun things. I went to the Okinawan mall, we saw Okinawa World and saw a couple of caves. I also got to try tonkatsu for the first time and instantly fell in love with the food. Another thing I got to see was a wedding reception. I've only been to a couple of weddings in my life and being able to take part in an Okinawan wedding was great. I even did a kachiashi with them and wore a kimono.

Then, I went to stay with the tour group. I made many friends that I will dearly miss. Teens from Peru, Brazil, Argentina, Bolivia and Okinawa have made an impression on my heart for the rest of my days. We bonded through games, workshops and relaxation times. I hope I can stay in contact with them for forever.

While with the group, we studied language, culture, history of each country and the history of Okinawa itself. We learned new games, played old ones, learned new dances and old ones. Together, we made a lasting connection to not only our family's country, but to those of other countries as well.

The tours and activities were possibly my favorite part. We saw a dolphin show, an aquarium, a Great Hiji Falls, Shuri-jo Castle, Kanagusuku, Tenbusu Hall, study Ryu Kyuan dance, Okinawa karate, sanshin, saw Utamai, learned eisa, saw the Peace Memorial, Machigua Market, studied immigration and played multiple games along the way. There were so many things that we did, I got back to the US and was bored out of my mind. I didn't know what to do with all of my spare time.

And, by far, my favorite thing that we did was learning eisa from Toshio sensei. He was so much fun even though we couldn't speak the same language.

Staying with my family was still my number one favorite thing. They made me feel so comfortable. I also noticed that the people in Okinawa are much more courteous than back here in the US. A pedestrian could be walking down the street in New York and get hit by a car. But, in Okinawa, you are much more likely to see a driver watching out for pedestrians and paying attention to what they are doing. That is something I will miss as well as my amazing family.

I learned much more about the language while I was there, as well. No, I still can't put a coherent sentence together, but I'm getting there. I'm also speaking up more when I do try to speak Japanese or use a few Okinawan words that I learned. My Japanese teacher has no idea what I'm saying, but my mother and grandmother do. So, I am trying much harder now to further my knowledge of the language as well as pushing harder to be a foreign language teacher.

All-in-all, I would say that my trip to Okinawa was life changing. I met so many people that made me feel comfortable that I cried so hard on the last day. I will miss everyone that I met, including the adults involved in the program. Everyone has made an impact on the way I see things now. I don't want to learn more about Japanese or, especially, Okinawan culture just so I can learn about it. I want to learn about it because it's where my family came from. It's a part of who I am and I never want to forget that.

I do have few requests or suggestions to make. It would be great to make the tour longer. Maybe by a week or so? I, along with many other people, felt that the trip was much too short. I understand that there is a budget, but maybe you could move some things around. Or, you should try moving the trip so that it's at the beginning, end, or in the middle of the Obon Festival. That was the one thing my grandmother always talks about, so I've wanted to see it. Also, maybe for the dinners there could be a cultural item. You know one food item from a different country each night. I really would have liked to try the foods from other countries.

So, there you have it. I learned so much that this paper was difficult to write. My thoughts were everywhere. But, I hope it gives you some insight as to what I learned and discovered. I learned so much about the history, culture and language of Okinawa that I'm bursting with things I want to tell my Japanese teacher. Unfortunately, those things are hardly ever relevant to the class so they just have to be side comments to friends in the class. I also hope that you seriously consider my suggestions. I wouldn't have made them if I didn't think they would make things more enjoyable. Thank you very much for having given me the opportunity to visit my family

for the first time at such little cost to me. And, I hope next year's tour goes just as well as mine did.



クリスティーナ チハル ヘンリー

CHRISTINA CHIHARU HENRY

17歳 2世

アメリカ合衆国

United States of America

スペースコースト沖縄県人会 ゆいまーる会



2007年度ジュニアスタディーツアー

私の高校の卒業式は2007年5月18日に開催された。その夜、式場で自分が成し遂げた業績に誇りを感じていた。高校時代は遂に終了、これから私の人生の新しいページが始まる。新しい事への挑戦、新しい人との出会い、その準備はすでにできていた。しかし、今ここにポリエステル製のガウンを着、四角帽をかぶって座り、私と同様にガウンを身にまとった級友たちを目前にしてどうしてか涙が出てこないのが不思議でならなかった。

六年間も一緒に登校し学んだ級友達、これから一生会う機会がないかもしれない友に悲しみを感じないはずはない。今ごろはあふれ出る感情で涙が出てきてもおかしくないはずなのに、そう自分に問いかけながら四角帽を力いっぱい空中に投げ高校生活に終わりを告げた。

2007年7月29日、この日ジュニアスタディーツアーの閉会式と送別会が体育館で催された。最初に参加者達がツアーで得た貴重な体験談を話し、さらに修了証を授与され、そのあと食事や余興を楽しみ、数え切れないほどの写真を撮った。

知らぬ間に、もう「島人ぬ宝」を歌う時が来た。この歌のあとは最後の別れが待っている。私は33人の参加者とともに冷房設備のない体育館のステージに上がった。歓喜の音楽が始まった。私達は肩を組み合い、心から沖縄を愛し誇りに思っている今の感情をそのまま表現している歌「島人の宝」を歌った。「大切な物がきっとここにあるはずさ」この言葉を口にしたとき、向かいの新しい友の顔が目に入った。とても身近に感じた。周りの皆にもやはりこれまでに感じたことのない親近感があった。そのとき私はこの素晴らしい機会を与えられた幸運に深く感謝した。その瞬間初めて涙があふれでてきた。

歌が終わり、ステージを降りて周りをもう1度見回すとみんなもやはり泣いていた。汗だくの体育館でのこの最後の情熱的な別れを私は決して忘れることはないだろうと思った。流れ出る涙と汗を拭きながらメールアドレスを交換し合い、これからも連絡を取り合う約束し、強く抱きしめてさよならを言った。ツアーの

1週間はあっという間に過ぎた。しかし短い間とはいえ、このジュニアスタディーツアーで育った友情は一生続く事に間違いはない。

私は高校の卒業式よりもこのプログラムの終わりに止めどもない涙が出てきた事に自分自身が信じられなかった。そして驚いた事にツアーで知り合いわずか1週間で過ごした友の方が何年も机を並べて日々を送った友より親しさを感じたのだ。

しかし考えてみると私たちはただの友達ではない。たとえ違った人種が違った言葉を話し、違った学校、違った国から来ていても私たちはウチナーンチュという絆で結ばれた家族なのだ。

ジュニアスタディーツアーに参加を申請した今年の初め、このプログラムが私の人生を変えるほどのイベントになるとは全く想像しなかった。もちろん、期待はしていたが期待を遙かに上回る体験となった。

単に世界各国から来た沖縄県系人の子弟と県内の生徒達との相互交流を深めただけでなく、私はこのツアーで沖縄の自然に触れ魅了された。透き通る海、息をのむほどの滝の流れ、楽しいイルカショー、世界で2番目に大きい海洋博公園の水族館、沖縄の歴史は首里城見学、移民についての講義で得ることが出来た。沖縄の文化芸能、芸術は空手クラスや三味線レッスンから体験した。市場などを散策しながら沖縄の生活を把握することも出来た。平和祈念資料館では平和の概念に沈思した。

沖縄とは何かを学ぶ事で自分は誰であるかを見出す事が出来た。このプログラムはウチナーンチュとしての計りきれない誇りを私の中に根深く植え付けてくれた。私はこのツアーでウチナーンチュであることに力強さを感じウチナーネットワークを広げるリーダーとしての知識を持ち備えた。

私はジュニアスタディーツアーの企画とその実現に支援を惜しまなかった皆さんに心から感謝している。私の一生をも変える体験学習の機会を与えてくれた方々、沖縄県庁やスタッフの皆様、ボランティア、そして私のいる県人会のリーダー達、皆様のごことは一生忘れはしない。本当にありがとう。

Junior Study Tour 2007

My high school graduation was held on May 18, 2007. That night in the auditorium, I felt a sense of accomplishment and pride. High school was finally over, and I was ready to learn new things, meet new people, and begin a whole new stage of my life. But as I sat there in my polyester cap and gown, looking at my identically clad classmates, I couldn't help but wonder why I wasn't crying.

After going to school with these people for six whole years, wasn't I supposed to feel sad that we might never see each other again? Wasn't I supposed to feel emotional and sentimental? Wasn't I supposed to shed a tear for all the memories we shared together? I continued to ponder these things as I threw my cap in the air.

Fast forward to July 29, 2007. That day, the closing ceremony and farewell party for the Junior Study Tour was held. To begin the event, participants spoke of what they gained from this experience. The afternoon continued with the presentation of our certificates of completion, a meal, enjoyable entertainment, and plenty of picture-taking.

Before I knew it, it was time for the singing of Shimanchu nu takara, which was to be followed by the final goodbyes. I mounted the stage of the non-air-conditioned gymnasium with the 33 other participants. As the evocative music began to play, we all put our arms around each other and began to sing the song that so perfectly expressed our pride and our love for this island. "Taisetsu na mono ga kitto koko ni aru hazu sa." When I sang these words, I looked across the stage at my new friends. It was then that I recognized how close I had become with the people around me. It was then that I began to feel a deep appreciation for this wonderful opportunity that I was so fortunate to have been given. It was then that the tears began to fall from my eyes.

When the song ended and we stepped off the stage, I looked around again to find that almost everyone else was crying too. I'll never forget those last emotional moments in that sweltering gymnasium when we all said our goodbyes. Wiping away our sweat and our tears, we exchanged e-mail addresses, hugged each other, and promised each other we'd visit soon. The week had gone by too fast, and although our time together was limited, I knew that some of the friendships I had made on the Junior Study Tour would last forever.

I couldn't believe that I cried more at the closing of this program than at the ending of my high school career, and it was amazing to me that I somehow felt closer to the friends I had made that week than to the friends I had known for years back at home.

But when I thought about it, I realized that we were more than just friends - We were family. Though we were different

people speaking different languages, from different schools and different countries, we were all connected by that same Uchina bond.

When I applied for the Junior Study Tour early this year, I had no idea that this program would be such a life-altering event in my life. I had high hopes for the trip, but the realities of this experience far exceeded my expectations.

I not only met and interacted with Okinawan youths from across the globe, but I also took in the beauty of Okinawan nature by observing and experiencing the crystal clear oceans and the breathtaking waterfalls. I watched an enjoyable dolphin show and visited the second largest aquarium in the world. I learned about Okinawan history by touring the Shuri-jo Castle and listening to an informative lecture on immigration. I experienced arts and culture by taking part in karate lesson and a sanshin class. I obtained a sense of daily life by strolling the public market place. I walked through the Peace Memorial Museum and contemplated the concept of peace.

By learning about what Okinawa is all about, I feel that I now have a greater sense of who I am. This program instilled in me an immeasurable Okinawan pride. My identity as an Uchinanchu is now strengthened, and I now feel better equipped to become a leader in broadening and carrying forward the Uchina network.

I am extremely appreciative to everyone who made this year's Junior Study Tour possible. To the government, the staff and volunteers, and the leaders my Kenjin-kai at home, I am forever grateful. Thank you for allowing me to participate in this overwhelmingly enjoyable and life-changing program.



ジョシア マイケル キャンベル

JOSHUA MICHAEL CAMPBELL

15歳 4世

カナダ Canada

レスブリッジ沖縄県人会



2007年度ジュニアスタディーツアー

私は最初、ジュニアスタディーツアーに参加できるとは思っていなかったのですが、ツアーの一員に選ばれたとの報告を聞いた時は、大変感激しました。初めは、ジュニアスタディーツアーではどういふことを学ぶのか予想もつきませんでした。しかし、実際ツアーに参加してすぐに気づいたことは、沖縄が大好きになったことです。ジュニアスタディーツアーは、私にとってとても良い経験になりました。ホストファミリーの方々も、私にとっても親切にしてくれたので、滞在中は楽しい時間を過ごすことができました。

ジュニアスタディーツアーを通して、私の先祖が生まれ育った沖縄についての知識を深めることができましたし、友達もたくさんできました。私は、ジュニアスタディーツアーは、目的地の歴史などを学びながら観光することができたので、教育的で楽しいツアーだと思いました。観光だけでは、ジュニアスタディーツアーで学んだ知識は得られなかったと思います。

私は、ジュニアスタディーツアーで知り合った友達と、連絡を取り続けていくつもりです。カナダに戻ってから、ツアーで知り合った仲間にはメールを送っています。ツアーの間は忙しくて、友達と話す時間があまりなかったのですが、インターネットを利用して彼らと交流を図っていきたいです。できれば、将来彼らにまた会えたらいいなと思っています。

沖縄に滞在している際、日本語が話せなくて、とても悲しく思いました。以前から日本語を習いたいと思っていたのですが、このジュニアスタディーツアーに参加したことによって、その気持ちは一層強くなりました。

ジュニアスタディーツアーは、私にとって一生に一度の経験だと思っています。これからも、ジュニアスタディーツアーが継続することを願っています。私は、沖縄県系人は、沖縄の歴史を学ぶべきだと思います。ジュニアスタディーツアーは、その歴史を学ぶことに最適なツアーだと思っています。また、ジュニアスタディーツアーを経て、多くの人たちと出会い、友達をつくることもできます。

ジュニアスタディーツアーで一つだけ不満に思った

ことがあります。それは、ツアーの期間が短かったことです。短期間のツアーで、沖縄のことを学ぶことができるというのは、すごいことです。しかし、ツアーの期間がもう少し長ければ、ツアーで知り合った友達との交流を深めることができますし、沖縄の文化をもっと学ぶこともできます。でも、ツアーの期間を長くするという事は、非現実的なことかもしれません。

私が沖縄に滞在したのは、二週間という短い期間でしたが、またすぐにでも沖縄へ戻って、今度は長期間滞在したいという気持ちになりました。多くのジュニアスタディーツアーのメンバーが私と同じ気持ちであることを願います。沖縄でジュニアスタディーツアーの友達と再会できたらいいなと思います。

私はカナダに戻ってすぐに、沖縄が恋しくなりました。実際のところ、沖縄を離れたくはありませんでした。将来、日本に一年間ほど滞在できる奨学金を得ることができればいいなと思っています。私は、ジュニアスタディーツアーに参加している間に、JET(ジェット)プログラムのことを知りました。このプログラムは、大学卒業後に日本で英語を教えるというプログラムですが、私にこのプログラムが適しているかどうか調べるつもりです。

沖縄を離れてもう二週間がたったなんて信じられません。ジュニアスタディーツアーに参加する機会を与えてくださって、どうもありがとうございました。

Junior Study Tour 2007

I was so excited when I found out that I was going to be part of the Tour. I didn't actually think I was going to get into the Tour at first so I couldn't believe it when I was told that I was going. I didn't really know what to expect from the Tour at first, so I wasn't sure how it was going to be. I found out very soon that I really liked being in Okinawa, and I loved the actual Junior Study Tour. It was a great experience for me. I also had a great time during the home-stay periods. Everyone was very hospitable to me.

I learned many things about Okinawa during my time on the Tour and also I was able to make many friends. It was very interesting for me to learn so much about where my ancestors

came from. This Tour is very educational, and also very fun. I really enjoyed seeing Okinawa and learning about it at the same time. I don't think it would have been the same if we had just gone to the sites, and not known anything about them.

I want to keep in touch with the other students very much. In fact I have been sending emails to them since I got back from Okinawa. To stay in touch I plan on sending more emails to the other students. Also there are various websites that we can use to keep in touch. When I was in Okinawa I was sad because I cannot speak Japanese. I have wanted to learn Japanese for many years now and after this tour I want to learn the language even more. Through these emails I am able to communicate with the other students much better, so we can actually have conversations that we were never able to have during the tour. I hope that we can stay friends for a very long time and hopefully see each other again in the future.

This Tour is a once in a lifetime opportunity and I hope that it continues for many years. I believe that everyone who is of Okinawan descent should learn more about their history. This Tour is a great way to make that possible. It is also a great way to meet new people, and make new friends. I think that everyone who can possibly be a part of this tour should be able to experience what I was fortunate enough to experience. There is only one thing that I found wrong with the Tour. I thought it wasn't long enough. It was amazing what we were able to do in one short week but it would have been nice to stay longer and get to know the other students better, and learn more about Okinawan culture. I realize that it is probably unrealistic to hope for a longer tour, but after those two weeks in Okinawa it has made me want to go back very soon and for much longer. I hope that many other people share these feelings with me and I hope that I will be able to see the other students from the tour when I go back.

After I got back I realized that I wanted to go back to Okinawa very much. In fact I never wanted to leave. I hope that I am able to apply and get the scholarship which allows me to go to Japan to study for one year. While on the tour I found out about the JET program so I will learn more about that and see if it would be a good thing for me to try and get into. I still can't believe that I have been home for two weeks. Thank you very much for this Tour.



クリスチアン サントス マカリントル

MACALINTAL CHRISTIAN SANTOS

18歳 3世

フィリピン共和国

Republic of the Philippines

フィリピン沖縄県人会



私の沖縄への初めての旅 (2007年ジュニアスタディーツアー)

1日目 歓迎パーティー

私が那覇空港に着いた時、屋宜さんが迎えてくださって、参加者の為の歓迎式典が行われるカンポレクセンターへ同伴して下さいました。そこで幾人かの参加者に会い、お互い知らないながらも記念に写真を2枚撮り、その後昼食を摂るため、タニューホテルへ行きました。県庁へ戻り、多和田さんからツアーの間の規則やどのようにふるまわなければならないかの説明を受け、1週間のスケジュールが告げられました。そして、全参加者が自己紹介をし、スケジュールを読み返しました。

2日目 浜辺を歩く

沖縄の気候は、フィリピンの気候ととてもよく似ています。2日目は「美ら海水族館」(海洋博記念公園)へ行きました。そこで私は海の全ての生き物、鯨、鮫、エビ、魚、ひとでなどを見る体験をしました。「美ら海水族館」は、世界での最も大きい水族館の1つで、海の近くにありました。とても面白いイルカショーも見ました。また、私たちはエメラルドビーチへも行きました。

3日目 比地大滝へ行く

私たちの次の予定は、ジャングルを歩くことでした。その日、何人のツアーガイドがいたのか実のところ、私は全く覚えていませんが、私たちが行く場所には、沢山の蚊、クモ、その他の虫がいるので、安全のため、虫除け剤を持参しなければならないと説明していました。森を歩くことは、困難でエキサイティングなこと、川に架かった小さな橋の上からの眺めの何と素晴らしかったこと、そして都会の空気とはとても違って新鮮でした。

4日目 首里城

沖縄が琉球王国と呼ばれていた歴史を学びました。私たちは王が住んでおられた所や、さまざまな指導者達が描かれている絵も見ました。次に琉球舞踊や空手

の実演が行われる「那覇てんぶすホール」へ行きました。もちろん、私は空手の実演の方を選びました。それから、彼らは私たちに三線の弾き方を教えてくれました。私にとって三線を弾くのは初めてですが、とても面白く、落ち着いた気持ちになりました。それから、私たちは沖縄の民族舞踊、確か「唄舞い」という名前の舞台を見ました。

5日目 平和祈念資料館

今日は平和祈念資料館を訪れました。第二次世界大戦で戦った沖縄のある兵士のお話を聞きました。彼の実人生を学びました。彼の若き日に何が本当に起こったのか、それはとても恐ろしく、悲しくそして興味深いお話でした。次に私たちはマチグワーマーケットをぶらぶら歩きました。私たちのガイドさんは、そこで売られている色々な違う種類の沖縄の産物について説明してくれました。150から200ドルもする高価な伊勢エビもありましたが、それはとてもおいしいだろうと思いました。

6日目 歴史と社会勉強

私たちは三線、エイサー、琉球舞踊などの伝統芸能を学ぶための選択権を与えられました。私はエイサー踊りを選び練習しました。それから私たちはホームステイをするため、ホームステイ先の家へ送られ、私は再び屋宜さん宅へ行きました。屋宜さん宅はとても立派で心地よいお宅でした。この機会をお借りして屋宜さんのおもてなしの心とツアーの間中、辛抱強く私の面倒を見て下さったことに感謝申し上げます。寝る前にギター練習をいくらかしました。何故かといいますが、翌日、皆の前で舞台上で演奏しなければならないと、決して上手ではありませんが、私自身の思い出のためにも、何らかの芸をお見せしなければならなかったのです。

7日目 さよならパーティー

私たちのスタディーツアー最後の日は、他の参加者たちと共に静かな日で、スタディーツアーが延長されたらいいなあとは私たちは願いました。今日が最後の日だということでエキサイトしたり悲しんだりして

た。参加者やその家族、ツアーのスタッフの方々と一緒に余興のショーを見ました。そして、私たちツアー参加者には修了証書が授与されました。さよならパーティーの後、記念写真を撮り始め、さよならを言い交わり、直立して泣きました。参加者の誰にとっても、とても思い出に残る瞬間であったからだと思います。私は近い将来皆が再び会えることを願っています。そしてこの機会を与えて下さったすべての皆様に感謝申し上げます。

My First Trip to Okinawa (Junior Study tour 2007)

Day 1 – Welcoming Party

As I arrived at Naha Kuko Mr. Yagi san accompanied me to Kampo Recreation Center, a welcome ceremony for all participants was held, I was able to meet some of them though we did not know each other we took a couple of pictures as remembrance, and after that we went to Tanyuu Hotel to grab some lunch. Back to Okinawa Prefectural Building Mr. Tawata explained the rules and regulation on how to behave during the whole tour and told us the schedule for the week. All participant was asked to introduced ourselves. And went over the schedule.

Day 2 – Beach Walk

The climate here in Okinawa is very similar to the Philippines. On my 2nd day we went to the ChuraUmi Suizokukan(Ocean Expo Park Aquarium), where I experienced to see everything from whales and sharks to lobsters, fish and starfish. One of the world's largest aquarium which is located near the ocean. We watched the dolphin performance show a very interesting show. We also went to the beach, the Emerald Beach.

Day 3 – Trekking in the Great Hiji Falls

A hike though the Jungle was next in our schedule. I don't really quite remember well how many tour guides we have but they explained that we have to use bugs repellent because there are so many mosquito, spiders and other bugs there for our own safety. Its one hard exciting walk in the forest, what a beautiful view at the top of a river in a mini bridge, and the air is very different from the city.

Day 4 – Shuri-jo Castle

We learned the history of Okinawa which is originally called Ryukyu Kingdom. We saw where the king lived, posters of different leaders. Next we went to Naha Tenbusu Hall where Ryukyuan Dance and Karate exhibition was held. Of course I chose the Karate. And then they taught us how to play Sanshin its my first time to play Sanshin and I find it very

interesting and cool. And then we watched the performance of cultural danced of Okinawa I think its called Utamai.

Day 5 – Peace Memorial Museum

Today we visited the Peace Memorial Museum. We heard a story of an Okinawan soldier who fought during WW . His true to life study, what really happen in his younger age. It was very scary and sad but an interesting one. Next we stroll in Machugua market and our tour guide explained the different kinds of Okinawan products being sold there. There are big lobsters that cost about 150 ? 200 dollars which is very expensive but I bet it tastes very delicious.

Day 6 – History and Social Study

The next day we were given the option to learn an art, sanshin, eisa or ryukyu buyo. We did practice eisa dance. We were sent again with our homestay, so I went to Mr. Yagi's place again. The place is very nice and comfortable, I would like to take this opportunity to thank Mr. Yagi san for his hospitality and patience in taking care of my stay during the program. Before I went to bed I took my guitar and did some practice because tomorrow I have to perform on the stage in front of everyone, though not good enough I have to do some entertainment for me to be remembered.

Day 7 – Sayonara Party

Our last day together with the other participants, a very quiet day, we wish we could extend it. Both excited and sad knowing this was our last day. We watched performances together with all the participants, their families and the staff and we were given certificate of completion and after the farewell party we started taking pictures with everyone for souvenirs, and said our goodbyes at the very end we end up crying because I think it is a very memorable moment for each and everyone of us. I wish we could all see each other again in the very near future thank you very much for this opportunity to with all of you.



比嘉 紀乃

Kotonno Higa

14歳 2世

ドイツ連邦共和国

Federal Republic of Germany

ドイツ沖縄県人会



ジュニアースタデイツアー

私は2007年7月16日にドイツから沖縄へ旅立ちました。初めて一人で日本に行く旅でした。(航空会社の助けも借りませんでした)

初めは全然大丈夫だったけど一人になった時は少し緊張しました。飛行機の中でもよく眠れませんでした。飛行時間は、思ったよりも長く独りで退屈してしまいました。だけど飛行機からの景色はとてもよい眺めでした。沖縄の綺麗な青い海が見れました。私は7月の17日にドイツから沖縄へつきホッとしました。最初に飛行機から下りた時の第一印象は、暑い。それに空港に着いたとき一人だけ来ると思ってたのに、思ったより人が多かったのがビックリしました。

ジュニアースタデイツアーは7月の23日から始まりました。私は9時に県庁に集まらなければいけません。その日の朝は渋滞で全然進みませんでした。早めに出たので遅れませんでした。そのときにドイツとは交通のやり方が違う事に気づきました。

私は大きな県庁の建物を見たときドイツでは私が今まで見たことのない建物でしたから驚きました。県庁で最初に会話をした人は国内参加者でした。敬語で話しかけられたときにはびっくりしました。日本では敬語という言葉の部類が有ることは知っていたけれど今まで使うことがなかったのでどう接してよいのか分からないので少し困りましたし緊張もしました。少し会話をしたあとは時間が来たので荷物をバスに運びながらずっと暑いと思ってました。その後県庁の建物に戻りスピーチが行われ国々の紹介もありました。そのあとにホテルに行きそこではウェルカムパーティーが用意されていました。そこでは参加者といろんなお話したので楽しかったです。

二日目には海の自然学習で海洋博記念公園に行きました。二日目はホテルも変えました。私は海での海水浴が一番気に入りました。なぜならドイツでは海が近くにないからです。二日目の晩には初めてエイサーの踊りを練習しました。

三日目にはまた自然学習をしました。でも今回は山の中でした。そのときに滝まで山登りしました。初めての山登りでした。思っていたより大変でした。晩御

飯にはバーベキューをしました。みんなで一緒に作ったのが楽しかったです。夜はキャンプファイアーつきの交流プログラムがありました、皆で面白い遊びとか音楽にあわせて踊ったりして仲良くなれたのが嬉しかったです。

四日目がツアーの中で一番楽しかったです。首里城に行ってきた建物を見て綺麗だと思いました。お昼は沖縄の文化を学びました。そこでは三線などを習いました。でも家には三味線がないので続けることができなくて残念です。

五日目は沖縄戦争のことを習いました。そこでは平和祈念資料館を見回ったりそれに関するビデオを見ました。歴史は少し難しくてよく分からないところもありましたけど、ドイツのことも記されていたので興味深かったです。違う部屋では戦争を経験した人からお話を聞きました。その日の昼は沖縄の国際道を散策しました。あるお店で豚の顔をみつけました。食べ物として売られていたのですが美味しそうには見えませんでした。

夜は枕投げをしました。何回か枕投げはしてましたけど今夜は最後の一緒の夜ということでずっと起きていようとおもってました。

私は早く寝てしまったのが残念でした。でもお話ししたりカードゲームをしたりしてとても楽しかったです。

六日目はホテルで歴史と社会に関するワークショップをやりました。その日もいろいろと勉強になりましたけど参加者と話したりメールやアドレスを交換したのが印象的でした。全部終わって帰った時はツアー中は時間がもったいなくて寝れなかった分も祖父の家で思いっきり寝ました。

七日目最後の日は学習成果発表会でした。この日は一番緊張しました。リハーサルはお昼からだったので早めの朝に行きました。私は踊りと後からアメリカカチームと歌う歌を練習しました。何も間違えないように必死でした。発表会は最高でした。それに皆がやった踊りや芸は素晴らしかったです。ただお別れはとても悲しかったです。

短い七日間で楽しい思い出がいっぱい出来たし今までの夏で一番の思い出になるくらいよかったです。私は

また沖縄にきたいと思います。それに今回知り合った人の住んでる国にも行ってみたいと思いました。またジュニアスタディーツアー 2007で出会った人とまた会ってみたいです。

今後はメールや手紙でコンタクトをつづきたいです。それに私は J S T をこれからも自分の故郷を知らないわかい世代のためにもつづける事をお勧めします。故郷以外にも習える事も沢山あります。たとえば違う国の言葉。あといろんな人に出会えていい経験だと思います。

Junior Study Tour

Ich bin am 16.07.07 von Deutschland aus nach Okinawa geflogen.

Das war die erste Reise alleine nach Japan.

(Aber mit der Hilfe von einer Flugfirma)

Am Anfang war alles in Ordnung, aber als ich alleine war wurde ich leicht nervös.

Und im Flugzeug konnte ich auch gar nicht schlafen.

Der Flug hat sehr lange gedauert und es war alleine langweilig als ich mir es vorgestellt hatte.

Aber die Sicht aus dem Flugzeug war sehr schön.

Man konnte die schönen blauen Meere von Okinawa sehen.

Es war der 17.07.07 als ich von Deutschland in Okinawa ankam und war erleichtert.

Der erste Eindruck, als ich aus dem Flugzeug war, zu warm.

Außerdem war ich auch Überrascht als ich die vielen Leute am Flughafen sah, denn ich dachte es kommt nur einer und deswegen

war das sehr unerwartet..

Die Junior Study Tour begann am 23.07.07.

Ich musste um 9.00 Uhr am Verwaltungsgebäude der Präfektur sein.

An diesem Morgen hatten wir Stau und deswegen nicht voran.

Zum Glück waren wir früh losgefahren und hatten uns nicht verspätet.

Da habe ich gemerkt, dass der Verkehr anders aufgebaut ist als in Deutschland.

Ich war auch sehr begeistert vom großen Präfekturverwaltungsgebäude.

Die erste Person mit der ich am Verwaltungsgebäude der Präfektur sprach war eine Mitglie derin aus Japan.

Ich hatte mich erschrocken, weil sie mich mit dem Höflichkeitsausdruck ansprach.

Ich wusste dass es in Japan eine Höfliche Redeform gab, aber ich wusste nicht, wie es richtig angewendet wird und war deswegen ein bisschen verwirrt und beunruhigt.

Nach dem wir uns kurz unterhielten mussten wir unsere

Sachen zum Bus bringen dabei fand ich das Wetter heiß.

Und im Verwaltungsgebäude der Präfektur gab es auch noch eine Rede und dort wurden auch die Länder vorgestellt.

Danach fuhren wir zum Hotel wo auch eine Einladungsparty vorbereitet wurde dort konnte ich mit den anderen Teilnehmer unterhalten und es hat mir sehr gefallen.

Am zweiten Tag hatten wir das Naturwissen - Meer am Kaiyohakukinenkouen (Großes Weltmeererinnerungspark).

Am zweiten Tag hatten wir auch ein Hotel gewechselt.

Mir gefiel das Seebad am Meer sehr gut, weil ich kaum in Deutschland am Meer schwimmen kann.

Und ab diesen Abend haben wir zum ersten Mal den Eissa Tanz geübt

Am dritten Tag hatten wir noch mal Naturwissen, aber diesmal in den

Bergen.

Wir sind zu einem Wasserfall gegangen.

Ich hatte zum ersten Mal einen Berg bestiegen.

Es war anstrengender als ich dachte.

Zum Abendessen haben wir gegrillt und es hat Spaß gemacht, weil wir etwas zusammen gemacht hatten.

Und abends hatten wir ein Programm mit einem Lagerfeuer.

Wir haben lustige Spiele gespielt und zu Liedern getanzt.

Ich hab mich gefreut, wir uns dadurch besser kennen lernen konnten.

Der vierte Tag hat mir am meisten gefallen.

Da sind wir zum Shuri - Schloss gegangen und ich fand das Gebäude wunderschön.

Nachmittags haben wir etwas über die Kultur von Okinawa gelernt.

Dabei haben wir Sanshin und andere Dinge gelernt.

Aber leider habe ich keinen Schamisen zuhause und kann deswegen keinen Sanshin weiter lernen.

Am fünften Tag haben wir über den Krieg in Okinawa gelernt.

Ich wusste dass es in Japan eine Höfliche Redeform gab, aber ich wusste nicht, wie es richtig angewendet wird und war deswegen ein bisschen verwirrt und beunruhigt.

Nach dem wir uns kurz unterhielten mussten wir unsere Sachen zum Bus bringen dabei fand ich das Wetter heiß.

Und im Verwaltungsgebäude der Präfektur gab es auch noch eine Rede und dort wurden auch die Länder vorgestellt.

Danach fuhren wir zum Hotel wo auch eine Einladungsparty vorbereitet wurde dort konnte ich mit den anderen Teilnehmer unterhalten und es hat mir sehr gefallen.

Am zweiten Tag hatten wir das Naturwissen - Meer am Kaiyohakukinenkouen (Großes Weltmeererinnerungspark).

Am zweiten Tag hatten wir auch ein Hotel gewechselt.

Mir gefiel das Seebad am Meer sehr gut, weil ich kaum in

Deutschland am Meer schwimmen kann.
Und ab diesen Abend haben wir zum ersten Mal den Eissa
Tanz geübt
Am dritten Tag hatten wir noch mal Naturwissen, aber
diesmal in den
Bergen.
Wir sind zu einem Wasserfall gegangen.
Ich hatte zum ersten Mal einen Berg bestiegen.
Es war anstrengender als ich dachte.
Zum Abendessen haben wir Gegrillt und es hat Spaß
gemacht, weil
wir etwas zusammen gemacht hatten.
Und abends hatten wir ein Programm mit einem Lagerfeuer.
Wir haben lustige Spiele gespielt und zu Liedern getanzt.
Ich hab mich gefreut, wir uns dadurch besser kennen lernen
konnten.
Der vierte Tag hat mir am meisten gefallen.
Da sind wir zum Shuri –Schloss gegangen und ich fand das
Gebäude wunderschön.
Nachmittags haben wir etwas über die Kultur von Okinawa
gelernt.
Dabei haben wir Sanshin und andere Dinge gelernt.
Aber leider habe ich keinen Schamisen zuhause und kann
deswegen keinen Sanshin weiter lernen.
Am fünften Tag haben wir über den krieg in Okinawa
Gelernt.
Wir hatten uns im Friedenwünschenden Informationshaus
umgesehen und uns einen Film dazu angeschaut.
Die Geschichten waren etwas schwer zu verstehen, aber ich
fand es
interessant ,dass es dort auch Informationen über Deutschland
gab.
In einem anderen Raum hatten wir uns auch eine Rede von
einem Mann angehört, der den Krieg selbst erlebt hat.
Und am diesen Nachmittag sind wir durch den internationalen
Weg von Okinawa gelaufen.
In einem Geschäft hatte ich das Gesicht eines Schweins
gefunden.
Es sah nicht so lecker aus, obwohl es als Nahrung verkauft
wurde.
An dieser Nacht hatten wir eine Kissenschlacht gemacht.
Wir hatten schon mehr Mal eine Kissenschlacht
gespielt, aber dieses mal wollten wir Mädchen
die ganze Nacht auf bleiben, weil das die letzte
Nacht war, die wir zusammen übernachteten.
Also hatten wir zusammen geredet und Kartenspiele gespielt.
Es hat richtig Spaß gemacht, aber leider habe ich es
nicht geschafft die ganze Nacht auf zu bleiben und bin
eingeschlafen.
Am sechsten Tag blieben wir im Hotel und haben einen

Workshop über Geschichte und Soziologie bearbeitet.
Am diesen Tag habe ich was gelernt, aber mehr mit
anderen Mitgliedern gesprochen und E-mails und Adressen
ausgetauscht.
Als alles vorbei war und ich nachhause fuhr habe ich bei
meinen Großeltern ausgeschlafen.
Während der Tour hatte ich nämlich kein einziges mal
Ausgeschlafen.
Am siebten und am letzten Tag war die Vorführung.
An diesem Tag war ich am meisten Aufgeregt.
Die Generalprobe fing erst nachmittags an, aber ich war
schon morgens da.
Ich hatte den Tanz geübt und später auch das Lied, das ich
mit der Amerikanischen Gruppe vorführte.
Ich hatte mich bemüht nichts falsch zu machen.
Die Vorstellung war super, vor allem fand ich die Tänze und
die Speziellen Kunst ausgezeichnet.
Nur die Verabschiedung fiel mir schwer.
Es war zwar nur eine kurze Woche, aber mit vielen schönen
Andenken und das ist der beste Sommer den ich je erlebt
habe.
Ich würde auch gerne noch mal nach Okinawa fliegen und in
den Länder von Leuten die ich bei der Tour kennen gelernt
habe.
Es wäre auch schön, wenn ich die Mitglieder von der Junior
Study Tour 2007 noch einmal treffen könnte.
In Zukunft werde ich mich mit E-mails und Briefen weiter in
Kontakt bleiben.
Und ich würde vorschlagen die JST weiter zuführen, denn
es ist sehr anspruchsvoll für Jugendliche die nichts über ihre
Heimat wissen.
Man kann auch Dinge erlernen außer über die Heimat zum
Beispiel die Sprache von anderen Ländern und noch anderes
mehr.
Außerdem ist es eine gute Erfahrung um verschiedene
Menschen kennen zu lernen.

栗國 志帆

SHIHO AGUNI

真和志中学校3年



沖縄を知る、地域に学ぶ

「私はどれくらい沖縄について知っているんだろう。」これは、ジュニアスタディーツアーの研修の

中で、私が何度も考えた事です。

ジュニアスタディーツアーとは、海外に出た県系人の中高生と県内から参加する中高生が交流し、共に沖縄や他の国、海外へ移民した沖縄人（ウチナーンチュ）について学ぼうというプロジェクトです。

そのプロジェクトに参加した時、私は初めて三味線を教わりました。最初は、「まあ、なんとかなるよね。」と軽く考えていましたが、指の動きが難しく、速いスピードで弦を押さえなくてはならないので、苦戦してしまいました。周りの人を見れば、皆上手に弾いていて、海外参加者の中にもとても上手に弾く人がいました。私はびっくりし、「沖縄人なのに三味線も舞踊もできないし、沖縄についても深く知らないなあ。」とはっとさせられました。結局、この時習った「安里屋ユンタ」は前奏部分までしか弾くことができませんでした。このように、ジュニアスタディーツアーは良くも悪くも私にとって多くの刺激を与えてくれました。

例えば、ツアー初日の「ウェルカムパーティー」や「さよならパーティー」でそれぞれの特技を披露する場がありました。その時、海外参加者が、各国の伝統的な歌や踊り、沖縄の三味線や空手を発表していました。みんな堂々として自分をもってやっているようでした。その時、「なんでみんなあんなに上手なんだろう。」と疑問に思った私は、海外参加者の1人に尋ねてみました。

「ねえねえ、どうしてそんなに三味線が上手なの？それに住んでいる国のダンスも素晴らしかった。おけいこでもしているの？」

「そうよ。県人会で習っているの。平日は学校の後に、地域の活動をしたり三味線や琉球舞踊の練習もあるの。毎日くたくたよ。」

彼らが言うには、部活などはなく、地域で沖縄の唄や踊りを習ったり、県人会の行事に向けての練習を毎日しているというのです。私達は、部活動はありますが地域の活動はあまり盛んではありません。「大変そう。」と思う反面、とてもうらやましく感じました。彼らは遠くに住もうとも、沖縄の心や文化を引き継いだ「沖縄人」であったからです。

伝統芸能を学ぶ事だけが、沖縄を知る上で大切という事ではありませんが、「沖縄の良い所をアピールする時に私は何ができるんだろうか。」と思いました。

このように、ジュニアスタディーツアーを終えて、自分の中にあった「沖縄人であるという意識」がより大きくなりました。

今まで私が持っていた東京や外国などの外の世界に対するあこがれや「沖縄から出たい。」という考えより、今住んでいる沖縄を色々な方向から見ていきたい、学びたいという考えに変わりつつあります。私の他にもそう感じている人はいると思います。そんな人の為に地域や公民館の活動で、沖縄について学ぶ機会があれば、若い人達も気軽に三味線や民謡に触れる事ができるし、お年寄と若者達が一緒になって勉強できれば、違う世代同士の交流にもなります。それにはもちろん、私達の「知りたい、やってみたい。」という意欲も大切です。

私は、今は無理でも必ず三線を弾けるようになろうと思います。そして、ジュニアスタディーツアーのメンバーやこれから出会う人達に、沖縄の良さを伝えていきたいです。

そのためには、三線だけでなく歴史やこれからの沖縄県の課題や問題にも耳を傾けて、考えていく事が「沖縄を知る、地域に学ぶ」ことに繋がると思います。

金城 華奈子

KANAKO KINJYO

潮平中学校 2年



JSTの感想と交流の継続

私は、ジュニアスタディーツアーに参加してたくさんさんの事を学びました。

まず、沖縄の歴史についてです。13年間沖縄に住んでいるのに、全然知識がありませんでした。壺屋のポンプの井戸や金城町の石畳など、こんな古くからあるものが沖縄にあることを知りませんでした。

それから、戦争についてです。私は糸満に住んでいるので、学校の平和学習などで平和祈念公園に行ったことがあります。でも、今回のように実際に戦争を体験した人の話を聞いた事はありませんでした。やっぱり、体験した人の話は本で読むよりもリアルでやっぱり恐ろしいものだなと感じました。今の時代に生まれてきたのは幸せなんだなと思いました。これからもこの気持ちを忘れずにいきたいです。

学習面では、沖縄の魅力や外国の歴史もたくさん学びました。でも、もっと学んだことがあります。それは友達の大切さです。いままでは、別に友情とか気にしてませんでした。でも、ツアーに参加して、いつでも頼れる友達がいる、いつでも一緒に笑いあえる友達がいる、頼られる喜びも24時間一緒にいることで知ることができました。国際交流をすることで、友達の輪がひろがりました。お別れの時は仲よくなった分づらかったです。

だから、これからもその友情が消えないように、メールしあったり、国際電話したり、文通したりしたいです。今は、機械が発達してるからコンピューターが使えるから、JSTのブログや掲示板をつくれればいつでもすぐ、話ができるからいいなと思います。

私は、ジュニアスタディーツアーに参加できて、とてもうれしく思います。きっと、みんなも同じ気持ちだと思います。だから、ずっとずっとツアーは永遠に続いてくれればいいです。来年もスタッフとしてツアーに参加できたらうれしいです。他の人々にも、自分たちが体験した喜怒哀楽な1週間を体験してほしいです。

宮城 玲奈

RENA MIYAGI

美里中学校2年



ジュニアスタディーツアーに参加して

私は、ジュニアスタディーツアーに参加して、いろいろな事を学びました。いろんな国のウチナンチュとの交流で、沖縄の歴史を学べたし、友達もいっぱいできました。

1日目、県庁に海外参加生を迎えに行きました。最初は、ドキドキだったけど、みんな優しくて話しやすい人ばかりで、すぐ仲良くなりました。歓迎セレモニーが終わり、かんぼレクセンターで自己紹介や、部屋割りをしました。その後、ウェルカムパーティーで大はしゃぎ！！とても楽しかったです。夜はみんなで枕投げやお話などで、深夜の2時まで起きていました。

2日目、眠い目をこすりながら、海洋博記念公園へ行き、イルカショーや美ら海水族館を見学しました。その後、エメラルドビーチに行きいっぱい遊びました。海に入ったり、ビーチボールしたり、友達を砂にうめたりして、とても楽しかったです。帰るころには、みんな仲良くなっていて、その日はホテルタニューに泊まったのですが、その日も、夜遅くまで起きていました。

3日目、比地大滝へ行きました。比地大滝を見るには、山を登ったり、川を渡ったりしなければならず、でも海外から来た男の子が、手をかしてくれたりして、日本の男子とは違うなって思いました。滝が近くなってくると、岩にこけがついていて、歩きにくくなりました。でも、滝についたら疲れなんかふっとんで、同じ学年の子といっしょに、水遊びしていました。昼ごはんも滝の近くで水につけながら弁当を食べました。すると、自分たちが落としたご飯粒に、ちっちゃな魚が集まってきて、取り合いっこしていました。そしたら最後の一粒はなんと！！かにかが持って行ったのです！！みんなが「かにかがもっていきよったあ」ってしゃいっていました。帰りは洋服がぬれていて重かったです。ホテルに帰って、お風呂に入って、夕ごはんはみんなでバーベキューしました。その後、キャンプファイヤーをして、グループ対抗でゲームをし、夜中みんなでまた枕投げをして遊び、知らない間に寝ていて、気づくと朝になっていました。

4日目、首里城に行きました。その時、地図にあったスタンプ集めに夢中で、怒られたりしました。しかし、写真でしかみたことのなかった首里城を見て、とても感動しました。その後、てんぶす館に行き、伝統芸能をならいました。私は、空手を選択しました。空手では「元気！！」を連呼していました。三線では、「安里屋ユンタ」を習ったのですが、あんまり上達しませんでした。三線が終わった後、「唄舞〜い」を見学して、かんぼレクセンターに戻り、エイサー講習をして、その日は疲れていたのですぐ寝ました。

5日目、平和学習で平和祈念資料館に行きました。そこでは、平和について考えさせられました。その後、マチグラー散策で那覇のいろいろなところを歩きました。平和通りや壺屋地区、歴史の深いところ、いろいろでした。その日は最後の夜だったので、みんなで寝よう！となり、男子混合、枕投げをしました。その日は、夜中の5時まで起きていて、次の日、みんな目の下にくまができていました。

6日目、前原信一さんによる講習会があり、ワークショップもありましたが、半分寝ていました。その後、久しぶりにおうちに帰って、妹やお母さんにいっぱい話して8時には寝ていました。

7日目、最後の日、さよならパーティーがありました。みんなで、練習してきたみるくむなりを踊り、歌を歌い、みんな泣きながら「また会おうね！！」ってバイバイしました。

こんなかんじで、ツアーは終了したのですが、まだ物足りないかんじで、またこのメンバーに再会したい！！って思います。ジュニアスタディーツアーはとても楽しかったし、とても良い体験ができたなって思いました。

安里 巽

TATSYMI ASATO

与那原中学校 2年



ジュニアスタディーツアーレポート

私は、このジュニアスタディーツアーに参加できてよかったです。

最初は、受かると思っていなくて、受かったと聞いた時は、うれしさ半分、不安半分のふくざつな気持ちでした。でも、1日目からみんな仲良くなっていて、そして楽しいプログラムなどで、1週間が楽しみになりました。全部のプログラムで、国内参加者・海外参加者と仲良くなり、交流ができてとっても楽しく、1日1日が忘れられない思い出です。夜などは、みんなでおしゃべりしたり、とっても楽しかったです。

私は、このツアーに参加するまでは、外国のことにあまり興味がありませんでした。でも、ジュニアスタディーツアーの募集を見て、このツアーに参加して、たくさんの人と交流して、みんなの国を少しずつ知って行って、今では外国にとっても興味があります。どんな食べ物があって、どんな生活をしてるのだろうか、気になる事がたくさん増えていきました。今までの私では考えられないなと思います。だから今では、もっと英語しかしゃべれない人達と、たくさん交流しておけばよかったなところかいています。逆に、日本語が上手な人とたくさん話をして、とっても楽しかったし、たくさん仲良くなれて良かったとも思っています。お別れの日も、あんなに悲しくなるとは思っていませんでした。

今後の交流の継続については、メールをしたり、手紙をおくったりしたいと思います。でも、返事がこなかったら悲しいんですよね。あと、みんなが作ってるホームページにいて、書き込みなどしたいと思います。

もし私が外国に行くきかひがあれば、その国にいるみんなに連絡して遊びたいなと思います。逆に、またみんなが沖縄に来たら、同じように連絡してほしいです。そして、遊びたいし、小さくて、あんまり案内する場所がない、私の住んでる与那原を案内したいです。

4年後のウチナンチュ大会では、ほとんどの人が来ると思うので、とっても楽しみです。私の夢ですが、そのころには、車の免許をとって、今より成長したみんなとドライブしたいです。あと、みんなホテルにでも泊まって、まくら投げとかやりたいです。

このツアーに参加できて本当に幸せです。

これからもずっと続けてほしいです。来年は、ボランティアとして参加出来たらいいなと思います。

玉城 美耶子

MIYAKO TAMAKI

那覇西高等学校2年



ジュニアスタディーツアー

「私は純粋なうちなーんちゅです。」

これは私がスタディーツアーの応募作文で書いた文です。しかし、スタディーツアーに参加して、自分は何も、沖縄のことを知らなかったんだなぁと思いました。

前日に開かれた、県内参加者事前説明会に、ドキドキしながら行きました。海外から訪れる参加者は、私たちよりも緊張しているんだ、と思うのと同時に、快く迎え、積極的に話しかけたほうがいいんだなぁと思いました。

翌日、大きな荷物を持って、県庁に到着すると、前日友達になった友恵さんとおしゃべりをしていました。すると次々に日本人のハーフっぽい人や、外人もやって来ました。友恵さんと私はさっそく、「おはよう。名前は何ですか？」と尋ねました。すると、「おはよう。ポリビアから来た美咲です。みきと呼んで下さい。」と笑顔で答えてくれました。みんな、思っていたより日本語が上手でした。

県庁を出発して、ホテルで昼食を食べました。海外からの参加者は上手にお箸を持っていました。「家で、日本や沖縄の料理は食べるの？」と聞くと、ドイツから来た紀乃さんは、「父が寿司屋さんだから食べるよ。」と言ったり、アメリカから来た麗矢さんは、「母がウチナンチュだから沖縄料理も作ってくれるよ。」と言っていました。

初日は、5泊7日も楽しめるかなぁ~と思ったけど、みんなフレンドリーでボランティアの方々主催の交流プログラムは大成功でした。

一番楽しかったのは2日目でした。そして、印象に残っているのは3日目です。比地大滝の滝やしぶきがダイナミックで、つかれていたけど、空気もいいし、癒されました。また、川で食べたお弁当はとてもおいしかったです。頑張ったのはエイサーです。県人会でエイサーをしている人もいて、みんな上手でした。6日目の移民についての講話は、とても分かりやすく、興味深いものでした。偏見、差別など、苦しい時代を生きぬいてきた方々の功績を決して忘れてはいけないと思いました。さよならパーティーでは歌をうたったり、エイサーを披露したり、とても楽しかったです。

ジュニアスタディーツアーに参加して、たくさんの事を学びました。

スタッフのみなさん、ボランティアのみなさん、ありがとうございました。これからの生活、そして将来に役立てます。

上間 瑞樹

MIZUKI UEMA

開邦高等学校2年



世界中の友達

「Junior Study Tourの申し込み締め切っていいよね？」

その先生の一言が参加のきっかけでした。JSTの存在すら知らなかった私は、先生の口から出た“世界中のウチナンチュと交流する…”という言葉に、「参加したい！」と強く思いすぐに申し込みました。第4回世界のウチナンチュ大会のフィナーレに参加した私は、私たちのダンスや舞台を見て泣いて感動して下さった方々に心をうたれ、「また必ず世界中のウチナンチュと交流したい。」という思いをずっと持ち続けていました。そんな時JSTの存在を知った私は申し込みを迷うなんてことはなく、届いた結果にも大喜びでした。

JSTで実際に各国のウチナンチュと接することができ、多くの事を経験し、学び、感じることができました。まず英語を話すことのできない私は、日本語を上手に話すウチナンチュに驚き、母国語より日本語の方が上手なウチナンチュに驚き、色々な言葉の飛びかっているこのツアーが毎日楽しくて仕方ありませんでした。それから、生まれた時からずっとこの沖縄で育った私も初めて訪れる自然と触れ合うことができました。このツアーが無ければ一生触れることがなかったでしょう。沖縄にはいくつものステキな自然があることを実感し、そこで生活している生き物についても学ぶことができました。そして何よりも心に残ったモノ、それは私のずっと抱いていた「世界のウチナンチュに会いたい」という願いが叶ったことです。正直、言葉も通じないかもしれないという不安はとてもありましたが、早く仲良くなりたくて、自分から声をかけるように努力しました。その結果、ただ仲良くなるだけではなく、相手の国の事も学ぶことができました。一番衝撃だったのはドイツにはゴキブリがないということでした。そして一番感じたことは、歌やダンスに国境はないということです。これはウチナンチュ大会でも感じたことなのですが、今回それをまた実感しました。初日、会って間もない私たちの間には、どこかぎこちない雰囲気は漂っていましたが、みんなでダンスをした時から距離が縮まっていったような気がします。バスの中でも、キャンプファイヤーの時もみんな歌やダンスが盛り上がるきっかけだったように感じました。

沢山の仲間に出会い、一緒に笑って、過ごして、感動して、言葉は通じなくとも、心で通じ合える友情が生まれました。今まで知らなかった沖縄の素晴らしさも学びました。これからはこの沖縄の素敵な所を世界中の人へ伝えられるような人を目指して頑張りたいと思いました。

JSTを通して出会えた世界一素敵な世界中の友達の心はまぎれもなくウチナンチュでした。その友達とこれからも連絡を取りながら、これまでの思い出を大切に、新しい思い出を作っていきたいと思います。

JSTの素敵な友達、関係者のみなさん、お金で買えない価値のある経験、思い出を本当にありがとうございました。

Thank you!

Gracias!

Obrigado!

にへーでーびる!

これからも、もっと多くの人がこのツアーを経験することができますように…。

与那覇 智都

CHISATO YONAHA

開邦高等学校 2年



国境を越えたウチナンチュの心

私は今回、JST7期生としてこのツアーに参加させて頂きました。このツアーには今まで私が本当

にしたかった事が全て組まれていて、沖縄県に本当に感謝しています。私は沖縄に住んでいながらも、地元の事すら説明できません。こんなんで、内地や世界へ行った時に本当の異文化交流ができるのか心配でした。今回は、沖縄についても詳しく知れたし、世界中に友達の輪も広げられました。

初日は、県系人との初対面でした。皆ぎこちなくて、先輩達のようにになれるか戸惑いました。夜は私はミケーラと2人部屋で、英語のみでの会話でした。日本語を教えたりもしました。またアメリカの子3人と私で、恋話とかしました。流行の話やテレビ、音楽などの情報交換もしました。見た目は大人っぽいけど、中身は同じ高校生だったので何かうれしかったです。

2日目は一番楽しみだった美ら海でした。オキちゃんショーでは手を挙げる気満々だったのですが、何も聞かれずショックを受けたのを覚えています。名護のホテルは絶景でした。夜は県系人のそれぞれの国について知れ、良かったです。

3日目は比地大滝へ行きました。正直、一番嫌なプログラムだと思っていました。がしかし、このツアーを終えてみると、一番楽しかったです。この時から、ようやく全員がうちとけたと思います。夜はサルサを習いとても情熱的でした。

このツアーで、私が一番考えさせられたのは、5日目の平和学習でした。私は中学校の頃から、外国の人は戦争についてどう考えているのか非常に興味がありました。祈念公園では、沖縄の私たちよりも県系人の方が真剣な姿だったと感じました。また、その後には皆で沖縄戦や平和について意見交換もでき、とても実りあるものになりました。

最終日のワークショップでは、皆の夢について聞くことができ、大変良かったです。国境を越えた同じウチナンチュの交流、今の私にとっても大きな変化をもたらしてくれました。地元についても、知るだけでなく、考えなければならない事もあることを改めて分かりました。本当は、学んだ事、ツアー中の出来事を全て書き残したいのですが、うまく言葉に出てきません。今回、このJSTに参加させて下さった県の方々、またサポートしてくれた方々に心から感謝します。将来は、沖縄県そして世界平和に貢献できるような人になります。本当にありがとうございました。

また、来年はボランティアの形で参加できたらなと思います。JSTに参加できて、よかったです。

瑞慶山 美咲

MISAKI ZUKEYAMA

コザ高等学校3年



ジュニアスタディーツアーに参加して

1週間という短い期間でしたが、いろんな分野からたくさんのことを学ぶことが出来ました。学んできた中には、私の知らなかった沖縄を知ることが出来たし、知っていたことでも違った発見などがありました。その中で、「沖縄の移民」についての話は、初めて聞いたので一番印象に残っています。沖縄が100年前貧しかったこと、そのために海外に出稼ぎに行ったことなど、今まで知らなかったの、話が聞けて良かったし、とてもいい勉強になりました。

また、戦争体験談の話も聞きましたが、体験者から聞くのと映像とでは伝わり方が違ってきました。体験者からの方がその時の恐怖感や悲惨さが伝わり悲しくなりました。このようなことが二度と起きないように平和を維持し続けて、この出来事を忘れることなく伝えていければいいなと思いました。

学習以外の時間では、ほとんどがお喋りでした。各国々での様子や文化などを聞いたり、普段使いたいような言葉を教えてもらったりしました。話を聞いていておもしろかったのが、スペイン語圏でも国によって少し言葉の意味の違いがあったことです。日本語はそういうことがないので少しびっくりしたけど、ほんとに話していて楽しかったです。ゲームやダンスも盛り上がりました。特にダンスの時は、最高に盛り上がっていたと思います。みんなと過ごした時間はとても楽しくいい思い出ばかりです。

改めて沖縄の文化などにふれ、新しい発見もでき、たくさんの人に出逢えることが出来ました。そして、このツアーでたくさんの友達もできました。海外にまで友達の輪がひろがったことをとても嬉しく思っています。

みんなと離れるのは寂しかったけど、これからはメールでやりとりしていきたいです。

最後に、このツアーがスムーズに、そして事故一つなく、なにより楽しく終わることが出来たのも6期の先輩方、スタッフ、素晴らしいメンバーのおかげです。本当にありがとうございました。

このツアーでの思い出は一生忘れません。そして、ここで得た知識や経験を将来に活かしていきたいです。

宮城 聖乃

SYONO MIYAGI

コザ高等学校 1年



ジュニアスタディーツアーに参加して

私にとってジュニアスタディーツアーに参加した7日間は夢のようにあっという間でした。

初めて海外メンバーに会ったときは、「みんなと仲良くなれるのかな？」って思ったけど、ツアーシャツに着替えるときに色んな国から来た人に話しかけてみると日本語が上手な子がいたり、私と同じ琉球舞踊を習っている子がいたり気の合う友達ができ、初日泊まったかんぽレクセンターでのウェルカムパーティーもとても盛り上がり、夜寝る時も私が当てられた部屋が大部屋だったこともあり、海外メンバーと県内参加者の女16人で枕投げやカードゲームのウノ、怖い話、恋の話で盛り上がり4時頃まで起きていました。

2日目は那覇から海洋博記念公園までの移動があり、バスの中は意外にも寝ている人もあまりいなく、海を見ながら日本語でしりとりしながら海洋博へ向かい、イルカショー、美ら海水族館と見回った後は、エメラルドビーチで泳いだり、ビーチバレーしたりして遊びました。そしてその日はやんばるのホテルタニニューに泊まりました。

3日目は比地大滝にトレッキングに行き、山を登っている途中にリュウキュウアオヘビという蛇を見つけたり、川の上を渡る橋の上からやんばるの絶景を見てとても感動し、今でもその絶景が忘れられません。そして目的地の比地大滝上流に着き、冷たくて気持ちいい川に足を浸しながらみんなでお弁当を食べました。トレッキングを終えホテルに戻りすぐお風呂に入り、少し部屋で休憩したあと去年参加した6期生と一緒にバーベキューをし、その日の夜は交流プログラム～キャンプファイヤー～で、グループ対抗で腕相撲大会や飴玉探し、腹筋競争、パンの早食いなどで得点を競い合ったのですが、私達グループは見事にワースト1位！グループのみんなで「ドンマイさー！結構盛り上がり楽しかったし！」とか話し、最後にみんなでサルサを習いながら踊り、火を囲みながらダンスをしてその日のカリキュラムは終了。でも、部屋に戻った後もみんなテンションが高くて、小さいクーラーの効かない部屋で男女混合で枕投げをして、お風呂に入ったのにまた汗をかいたのに、遊び疲れてみんなそのまんま寝ちゃいました。

4日目は歴史学習で首里城と金城町の石畳に行き、沖縄の歴史を学びました。それから国際通りに行き、テンプス館にて琉球舞踊や空手、三線を習い最後に琉球芸能「唄舞～い」を見て、初日泊まったかんぽレクセンターに戻りました。そして、この日からエイサー講習が始まりました。講師はとーしー先生で、曲が「ミルクムナリ」という聞き覚えのある曲だったので、その日教えてくれた踊りをすぐ覚えられました。エイサー練習が終わると、海外メンバーの連絡先などを各部屋部屋話しながら聞きまわって、眠くなると自分の部屋に戻りすぐ寝ました。

5日目は平和祈念資料館を見学し、沖縄戦体験者のお話を聞いて礎をまわり、ひめゆりの塔の近くでお昼を済まして、国際通りでまちぐわあー散策をしてホテルに戻り、すぐエイサー練習をしました。終わるとすぐお風呂に入り、昨日連絡先を聞いたメンバーの部屋に遊びに行くと、その日がお泊まり最後の日だったので「オリエンテーションした部屋で枕投げしよう」となり、オリエンテーションした部屋に一番近かった私達の部屋から枕をすべて持って行き、朝まで大騒ぎ！途中で私はそのままそこで寝てしまい、朝、掃除のおばさんに起こされました。

6日目は朝から講話があったのですが、聞きながら眠ってました。そのあともワークショップがあり、発表中立ったまま寝てました。ワークショップが終わると同時に久しぶりに家へ帰ると、一緒に参加していた妹とツアー中の出来事をお母さんに話し、気づいたら自分のベッドで寝てました。

次の日さよならパーティーでとーしー先生から習ったエイサーを披露したのですが、出だしから間違えてしまい、みんなに「出だしから間違ったしー！」とか話している間にお別れの時間が来て、みんな泣きながら「また沖縄に来て、またいっぱい遊ぼうな！」って言って空港に見送りに行き、涙をこらえながら笑顔でみんなを送りました。

私にとってJSTはとても短かったけど、いろんな人たちに出会い、いろんな体験をし、たくさんのお話を学ぶことができた素晴らしい1週間でした！これからもぜひJSTの活動を続けて欲しいし、世界のウチナンチュ大会も辞めずに活動してほしいと私だけでなく、JSTに参加した誰もが

思っています。

最後にこの機会を与えてくれたすべてのみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました！ありがとう！Thank You！Gracias！Obrigado！

狩俣 友恵

TOMOE KARIMATA

宮古高等学校3年



ジュニアスタディーツアー

私はジュニアスタディーツアーに参加する事が決まった時、喜びの反面、違う国や地域に住む人達と仲良くなれるのかとても不安でした。また、離島からは一人での参加なので、私の生まれ育った宮古島のことをうまく伝えられるのか、というプレッシャーを感じる部分も少しありました。

そんな不安な思いからツアー初日はとても緊張していました。しかし、黙っていても皆と打ち解ける事が出来ないと思い、出来るだけ自分から話し掛けるようにしました。海外参加者とは文化や言葉の違いから戸惑う事があるのではないかと心配していましたが、日本語を話せる人が多かったので違いはあまり感じる事なく打ち解ける事が出来ました。

学習プログラムの中で一番心に残った事は琉球舞踊の体験学習です。私は三味線を習っているのですが琉舞を見る機会が多く、私もやってみたいという思いを前から持っていたので、体験できてとても嬉しかったです。実際に舞踊をやってみて、舞踊の楽しさと難しさを知り、琉球舞踊の奥深さにさらに興味を持ちました。

様々なプログラムを皆と共に体験していく中で沖縄をいつもと違う目線から見ることができ、分かち合う事で沖縄の良さを再確認する事ができました。また、たくさんの海外参加者と交流する事で世界的な視野が広がり、もっと色々な国のことを知りたい、訪れてみたいと思いました。私達の住んでいる国や地域は違うけど、沖縄という場所を通して皆繋がっているという事に気づく事ができました。この繋がりを大事にしてもっとお互いに絆を深めていくことで、今よりもさらに世界に視野を広げていきたいと思っています。

今回スタディーツアーを通して多くの人と出会う事ができました。この出会いをそのまま思い出として終わらせるのではなく、今後も交流を続けていきたいと思っています。より多くコミュニケーションをとるためにツアーでも意見が出ていましたが、7期生のホームページを作り、それぞれの近況報告を仕合えたら素敵だと思いました。来年8期生のボランティアをする時や、その他に県内参加者で集まる機会などにホームページを作る企画が出来たらいいと思います。

最後にスタディーツアーを通して本当に多くの経験をさせて頂きました。ツアーで学んだ事、そしてたくさんの出会いは私にとって一生の宝物です。この経験を通して学んだ事をこれからの毎日に生かし、成長していきたいと思っています。スタッフの皆さん本当にありがとうございました。

上原 善男

YOSHIO UEHARA

南部工業高等学校3年



ジュニアスタディーツアー

貴重な体験をさせていただきありがとうございます。私は、JSTで学んだことが、たくさんあり

ます。

まず、海外に住む人達との交流です。私には、海外の人達も同じ仲間だと思いました。確かに言葉の壁は大きいものでした。言葉が通じ合わない分、的確に情報を伝えきれないし、聞きとれなかったです。しかし、ゼスチャーでカバーすることができる時がありました。なによりも表情は世界共通のような気がしました。楽しい顔、怒った顔、悲しい顔は、英語が分からなくても十分に感じることができました。

次に、沖縄を学ぶことです。私の知っている沖縄は本当に少ないです。首里城など、このツアーをきっかけに行くことができました。沖縄に興味のあった私には、最高のプランでした。その中でも、歴史学習と平和学習については、大変興味深いものでした。首里城を巡回したときは、ガイドさんが、ウタキだとかいろいろな門の意味などを教えてくれました。平和祈念資料館では、戦争体験者の生の声を聞くことができました。おじいの声は、本当に悲しそうでつらそうでした。私は聞くだけでもつらくなりました。戦争は、莫大なお金が動き、経済が豊かになる国があるそうですが、その代償は計りきれないものだと今は感じます。私は「戦争ダメ」をずっと心に残したいです。

そして、私の気持ちの変化もありました。私は英語が分からない、人前にでたりすることがとても苦手です。しかし、JSTのメンバー皆が、私には積極的な人達に見えました。私は班のリーダーを努めていたので、前に出なきゃ行けない場面がたくさんありました。私は逃げれないと思う気持ちとJST皆の協力のもとで、どうにか乗り越えることができました。リーダーなど初めての体験ばかりでしたので、すばらしい経験を得ることができました。

今、私は県内のメンバーとも、また海外のメンバーとも連絡を取り合うことがあります。

このツアーを通して、海外に関心を持つことができました。また、日本語だけではなく、英語などで話しができるようになり視野をもっと広くもちたいとも思います。今でも恥ずかしがり屋ですが、前に比べたら、とても成長することができたと感じます。

私はこれからも、JSTのような交流会があったら良いと強く願います。学校だけでは、とうてい味わうことのできない最高の体験がありました。またメンバーで会えるような企画があるとうれしいです。

宮城 和哉

KAZUYA MIYAGI

西原高等学校3年



ジュニアスタディーツアー

私は、このジュニアスタディーツアーに応募した理由は、海外に住んでいるウチナンチュの方々との交流出来るのと沖縄の文化や自然、歴史のことについて学べるからです。

私は幼い頃からアメリカの音楽や映画などに触れる機会が多く、アメリカという国と「英語」という言語に憧れを持つようになりました。今では、アメリカだけではなく、いろいろな国に行ってみたいと思うようになり、もっと視野を広げて世界を見てみたいと思うようになりました。

ジュニアスタディーツアーに参加することになった初日、アメリカ、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、ボリビア、ペルー、フィリピン、ドイツからのウチナンチュの方々に来ていました。南米から来た何人かは日本語が流暢で話が出来たのですが、他は皆言葉が通じず、ジェスチャーを交えながら片言の英語で会話をしていました。その上、グループの班長になっており、この1週間やってくれるのか不安と緊張でいっぱいでした。しかし海外の子はとても明るく、言葉も通じない私達に積極的に話し掛けてくれました。交流プログラムやウェルカムパーティーのおかげで、不安と緊張も次第に無くなりました。その夜、部屋決めで、私とアメリカの子とフィリピンの子3人1部屋になりました。2人は英語で会話し、私は片言の英語とジェスチャーを交え会話をしていました。ジュニアスタディーツアーに参加している女の子で誰が1番かわいいかなどのお話をしてとても盛り上がった夜になりました。

2日目から皆でバスに乗り、自然学習や歴史学習、文化学習、社会学習、平和学習などを学びました。私は生まれた時から沖縄に住んでいるのに、沖縄のことについて全く知識が無く、ジュニアスタディーツアーに参加して知ることがたくさんありました。

最初は長いと思っていた1週間が最終日になってしまいました。最終日は、学習成果発表会とさよならパーティーをし、とても盛り上がりました。皆で写真を撮ったり、練習をしていたエイサーを披露したり、とても楽しかったです。でもその一方でとても悲しかったです。

このジュニアスタディーツアーに参加出来て本当に良かったです。海外のウチナンチュの子達と友達になることが出来、海外の文化や歴史を知ることが出来、また自分の故郷についても知ることが出来、とてもいい経験が出来ました。このジュニアスタディーツアーに参加して、少し自分が大人になったような気がします。

今でも海外の子とメールで連絡を取り合っています。メールだとジェスチャーが出来ない分、自分が伝えたいことがうまく表現できませんが頑張っています。そのおかげで英語をより勉強しようと思ひ頑張っています。

このジュニアスタディーツアーに参加していろいろなことが変わりました。本当に参加して良かったです。ありがとうございました。

川満 大祐

DAISUKE KAWAMITSU

西原高等学校 3年



ジュニアスタディーツアー

私は、このジュニアスタディーツアーに参加する前にとっても期待と不安でいっぱいでした。夢だった外国の方々との交流ができると思うと夜も寝られないほどでした。一方、不安もありました。なぜなら、世界共通語である英語が苦手だったからです。しかし、実際話をしてみると、ただ単語を並べるだけの話をして、案外通じました。気持ちが通じた時、何か他では得られない感動を得ました。一生懸命自分の伝えたいことを伝えるというのは、とても大変でした。しかし、通じた時に得る喜びにかわるものはありません。みんなと話せるようになるまで4日ぐらいかかり、残り3日となると、みんなやっと慣れてきたせいも英語と日本語がペラペラになっていました。最初は、英語を考えていたのですが、だんだんと日本語を考えるようになりました。自分でもびっくりするくらい英語が頭にかんてくるのです。

日本人メンバーの中にいた女性の1人は、留学をしていたため、通訳ができました。その人からジュニアスタディーツアーの最初に「英語全然しゃべれないでしょ」と言われました。しかし、最終日近くになると、「相当英語うまくなったね」と言われました。自分では気づけなかったのですが、その言葉を聞いて、私は「楽しく英語と向き合えば、一週間でもちょっとは上達するのだ」と改めて実感することができました。

そして、なにより感動したのはエイサーとお別れパーティーでした。まず、ブラジル、アルゼンチン、アメリカ、日本、ボリビア、ペルーといった各国の人達が「沖縄」という1つの小さな島国の伝統文化であるエイサーを全員で踊るということがどんなに感動的でどんなに素晴らしかったか、私は涙が出そうになりました。私がジュニアスタディーツアーに参加して一番変わったことは、以前よりも少しだけ大人になれた気がするところです。このツアーに参加している人達の中には、考えや行動、発言が「大人だ」と感じる人がいました。精神的に自立していて、改めて自分と向きあうことができたと思っています。最後に、このジュニアスタディーツアーに参加して見つけたことは、人と人は言葉の壁を乗り越え心と心をひらき合えば私達が仲良くなれたように、各国が協力し世界が平和な毎日を暮らせるようになると、私は思います。

岸本 りいま

RIIMA KISHIMOTO

宜野湾高等学校 2年



J S Tの感想と今後の交流の継続について

J S Tが始まる前日は、全然寝ることが出来なく、色々考えていました。でも、考えても意味はあるけれど、明日にならないと分からない事もあったので眠りました。そして、当日になり緊張とワクワクで朝から大変でしたが、県庁に着いたらJ S Tの海外参加者の人がいたので、声をかけようとしたらアメリカ出身のマケラとクリスティーナが先に声をかけて来たので、物凄く嬉しかったし、話しかけられた時は、どう反応していいのかわからなく動揺してたけど、ジェスチャーを使い、少し通じたので良かったです。それに、緊張も解れ、待っている時間おしゃべりをしていました。そこにドイツの紀乃やフィリピンのクリスチアンが来て共に話をしていたら、マケラがアメリカの人達3人を紹介してくれました。その3人は、クッキー、ジャスティン、マーロウでした。そんな半時間も過ぎ、歓迎セレモニーや記念撮影、そして県知事表敬訪問も行われましたが、県知事が体調不良のため、副知事が代わりにいました。そこでは、まずJ S TのオリジナルTシャツに着替え、次が各国の国旗を持ち1人1人の名前が呼ばれ、海外参加者の代表は、ブラジル出身のシルビアでした。それが無事に終わったら、かんぽレクセンターにて開講式がありました。内容は注意事項や自己紹介、グループ分け、各国の言語の紹介をしました。言語・文化の違いに触れ、難しい事もありましたが、とても楽しかったし勉強にもなりました。

次は、交流プログラムで6期生の皆さんが考えてくださったゲームやダンスをして盛り上がりました。

その次は、いよいよウェルカムパーティーで、食事や各国の自慢芸能や個人の特技を披露し、その中でもペルーの踊りは印象的でした。そこには、カメラマンも居たので驚きでした。私はキャスターに声を掛けられ質問に答えたり、この1週間の要望を話し、意外と良い事も学んだように思います。全部終了した後、部屋に戻り、夜中の3時まで起きて枕投げやトランプをして遊びました。

でもツアー2日目は北部の方に行かなければならないので起床が6時半できつく朝食に遅刻し怒られると思いました。それに加え、バスの中では爆睡していました。11時に海洋博記念公園に到着して、イルカショー見学をし、昼食をとり、美ら海水族館を見学していたら本当に海に浮かんでいるかのような気持ちになりました。そして、隣のエメラルドビーチで海水浴をしたり、ビーチバレーをしたりして楽しみました。17時にビーチを出発し、バスの中で部屋割りのメンバーの発表を行い、18時にホテルタニューに着き、部屋のリーダーと一緒に行き、少し休んで夕食だったので疲れてあまり食べませんでした。

そしてツアー3日目は、朝から比地大滝トレッキングに行き、そこでは4人のガイドが付き「マーボー、サイ、のっち、ジョリー」の皆さんでした。そして3つのグループに分かれて滝まで行き、途中変わった生物に出会い、またハブにも会って驚きでした。それに滝に着いた時は、岩から流れている滴が魅力でした。午後はつり橋を通過して帰った時、さっき歩いて来た所は別世界のようなダイナミックで大自然の力は素晴らしいと思いました。そして、ここから最初の場所に戻り、又ホテルタニューに帰り、5時半にBBQをするので休息していると、ボリビア、ペルー、アルゼンチンのゲームやスペイン語を教わったりしました。BBQでは3台も使い、作りながら盛り上がり腹が痛かったりもしたけど、食べ物は旨かったです。

BBQが終わると、10時までキャンプファイヤーをし、その中の対抗リレーゲームでは後ろから2番だったので悔しかったです。でも、一番笑ったのは飴探しで、口の周りが真っ白でしたが、それに比べ一番凄かったのは、腕相撲でした。皆、力強いなと感じました。ゲームが終わり、キャンプファイヤーでは、唄やダンスをして楽しみました。これは、6期生のお陰です。そして3日目が過ぎました。

ツアー4日目は、名護から首里城まで行き、門の前などで集合写真を撮り、いろんな所も回ったし、金城町の石畳にも行ったら、そこは蚊が沢山いたけど、石畳の中は涼しかったです。首里城や石畳を案内してくれた人達にお礼を言い、12時から新都心のフードコロシウムで昼食しました。ここは、世界各国の料理を食べるお店で凄く良かったです。昼食を済ませ、13時半からテンプス館で琉舞や空手の体験に行き、私は琉舞で、時間は少なかったけど三板、パーランクーを使った踊りを習いま

したが、覚えるだけでも大変だったけど、いい経験になりました。そして15時から三味線の講習会、17時からライブ見学をし、参加者全員でカチャーシーをして盛り上がり、このライブが終わり、かんぽレクセンターに戻り、夕食を先に食べ、20時から21時までエイサーの講習を受け、講習が終わると、風呂に入り、巽と聖乃で男子の部屋に行き、住所を聞いて、まーさーとサンちゃんの部屋で色々話し、それにマッサージもしてくれて本当に気持ち良かったし、ツアーが早いと感じた。

ツアー5日目では、平和祈念公園に行き、12時半まで見学をしたり、話を聞いたりしました。見学では、資料館で戦争の出来事をスライドで見て、心がはち切れそうでした。未だに戦争を続けている国を不思議に思い、次に戦争体験の話聞いた時、泣きそうになり、自分達は豊かで幸せすぎるのだと思いました。まったく戦争は、ただものじゃない事に気づかされましたし、礎に刻まれている数多くの名前を見て、正直嫌になりました。そして昼食では、手作りソバで美味しかったです。次は2時間もマチグァー散策をしに国際通りに行き、壺屋焼きを見学したし、シェイクも飲み、又かんぽレクセンターに戻り、エイサー講習で半分まで習い1日を終えました。

翌日はツアー6日目でした。9時から移民の話で講師の前原さんに、沖縄の人が何故世界へ移民すると決め、出稼ぎに行ったのかを聞き、ワークショップなどで沖縄移民の歴史を学び、双方向性や相互作用を活かし、同じ母県を持つことを再確認しました。それと、NGO団体の人達と、勉強会などをし終了して、16時から、エイサー講習で最後まで通せて本当によかったです。

そして、いよいよツアー最後の日は、14時半から体育館が会場でした。まずはハーサルを行い、本番で8カ国の人達の成果発表した時、とても日本語がペラペラだったので驚きました。次に県内の5つのグループリーダーが発表した時、リーダーの言葉や文章に感動しました。修了式では、賞状と三味線の楽譜を貰いました。続いて乾杯セレモニーでは四つの言葉で乾杯したら、次は、各国の民族踊りなどを披露してくれたり、南米の友情の唄を歌ってくれました。最後は参加者全員でエイサーを披露しました。そして最後まで終わりきると6期生から7期生にメッセージを頂き、そのお返しに「島んちゅの宝」を熱唱して、海外参加者からプレゼントを貰ったりしました。

それと、皆からオリジナルTシャツに、メッセージを書いたり、ハグしたりして、最後に皆で、今度はウチナンチュ大会で会おうと約束して、このツアーの一時を過ごし、宇宙一最高の思い出になりました。

もし、言葉が通じなくてもジェスチャーをしたら打ち解けるし、本当の自分を出せたので良かったです。このツアーに参加して最高にうれしかったし、感動もうまれたので本当に素晴らしいことだと思いました。

今後の交流の継続としては、もう少しツアーの期間を長くして欲しいし、それに部屋は全員同じがいい。また、自然学習ではマリンスポーツを取り入れたらいいと思います。最後にスタッフと6期生の皆さん本当にありがとうございました。

許田 侑加

YUKA KYODA

興南高等学校3年



ジュニアスタディーツアー

私は、沖縄で生まれ育ったにも関わらず、自分が暮らしている場所についてほとんど知識がない事に

気づき、ジュニアスタディーツアーに参加しました。

ツアーを通して、沖縄県人子弟の方が、実際自分よりも彼らの国で沖縄の文化や伝統を守り続けているのを知り、少し恥ずかしく思いました。しかし、彼らと一緒に、自然学習、歴史学習、平和学習、社会学習をし、本当に多くの事を体験し、学びました。

自然学習では、沖縄の美しい海で泳いだり、滝でトレッキングし、色々な動植物を発見しました。

歴史学習では、首里城を見学し、実際に、琉球舞踊、三線を体験しました。私は、踊ったり、楽器を弾いたりした事で、楽しさを覚え、それを続けていきたいと思いました。

平和学習では、平和の礎を見学し、平和祈念資料館で戦争体験者の講話を聞きました。そして私は、戦争のない世界で生まれ育ち、それがどんなに幸せなことなのか、そして、決して同じ過ちを犯してはならないと思いました。その他に、前原信一さんから、沖縄の移民の話「世界中に広がるウチナーンチュの心」を聞きました。そこで私は、沖縄の心について学び、ワークショップを通じて、自分のアイデンティティが何なのかを考えさせられました。私は、そのお陰で自分の考え方や価値観が広がりました。

この一週間を振り返ってみると、あまりにも楽しすぎて、時間が経つのがとても早く感じました。様々な国の子達と友達になることが出来ました。初めて彼らと出会ったのはちょうど七日前なのに、今ではすっかり仲良くなり、お互いをニックネームで呼び合うなど、これこそ、沖縄の方言で言う「いちゃりばちよーでー」の心なんだなと思いました。私は彼らと過ごした時間が一生忘れられない思い出になりました。皆とはお互いに連絡先を教え合ったので、私達の関係は住む場所が違っていてもずっと友達でいる事が出来ると思います。次会う時は、きっとウチナーンチュ大会になると思います。それまでには、それぞれが成長し、もっともっと絆が深まっていると思います。

私は、このツアーに携わったスタッフの方々にとても感謝しています。そして、私はこのツアーで言葉にならない程多くのことを学び、とても充実した日々を過ごせたので、ジュニアスタディーツアーがこれからもずっと、この様な素晴らしい機会を他の生徒にも与えてくれたら良いなと思います。

私を、ツアーの参加者として選んで下さって本当にありがとうございました。

源河 花乃子

KANOKO GENKA

首里高等学校3年



ジュニアスタディーツアーに参加して

私は、沖縄で生まれて育って17年になりますが、沖縄について知らないことがたくさんありました。学校の外国の先生と話をしていても、沖縄のことについて聞かれているのに答えられないことがたくさんあり、すごく恥ずかしい思いをしました。それが私がこのツアーに参加した理由です。

初めて県内参加者だけでオリエンテーションをした時、「このツアーで自分を成長させたい！」という期待と「これから1週間大丈夫かな？」という不安でいっぱいでした。しかも、Eグループのリーダーに任命されて、私の心の90%は不安でいっぱいになりました。けれど、私より年下の県内参加者もいっぱいいて、「自分は年上の方なんだから、しっかりしなきゃな」と自分自身に言い聞かせていました。

そしていよいよ、県庁で初めて県外参加者の子達と会いました。何て話しかけていいのかもわからず、とりあえず日本語で「こんにちは！」と言うと、ボリビアの美咲とアルゼンチンのゆかりが「こんにちは！」と返してくれ、とてもうれしかったのを覚えています。

県外参加者の中には日本語が上手な子もいれば、母国語しか話せない子も、うまくコミュニケーションがとれるか不安でしたが、そんな気持ちもツアーが進むにつれ、なくなっていきました。最初の3日間は、正直言って「早く帰りたいな」という気持ちがありました。リーダーだけで話をしたりする時も、他の4人のリーダーはしっかりみんなとなじんでいるのに、私だけ浮いているような感じがして、「ああ、自分ってダメなヤツだな」と本気で落ち込んでいました。けれど、他の参加者の子やグループの子に支えてもらい、「よっしゃ！もうここまできたらやるっきゃない！」と心を決めて、自分から積極的に行動するようになったのです。すると、周りもどんどん私の名前を覚えてくれ、話しかけてくれるようになったのです。寝食を共にし、ゲームをしたり、夜中まで話をしたり、テレビでサッカーを見たり、本当に楽しくて、どんどん仲良くなっていきました。

小さな子達が、私を頼ってきてくれたり、甘えてきたりすると、本当のお姉ちゃんになった気分でした。このツアーに参加したみんながまるで1つの家族になったように感じました。

このツアーに参加して得たものは、言葉ではうまく伝えられません。たくさんの人と出会い、沖縄について知らなかったことを学び、平和や自然、沖縄の未来について考えさせられました。最終日に沖縄移民について学び、みんなで将来の夢について語ったことは、決して忘れません。「国が違っていても、私達は沖縄という地を通して繋がっているんだ！」と実感させられたからです。

私は今高校3年生で、周りにはもうそれぞれの夢に向け受験モードに入っています。私自身、しっかり志望を決めなくてはならない時期に入りながらも、まだはっきり自分自身が本当にやりたいことを見つけられずにいました。しかし、このツアーに参加して、「みんなの国に行ってみよう！」と強く思ったのです。そして語学を勉強し、それぞれの国の文化や歴史についても知りたいと思ったのです。

だから私は大学へ行き、勉強します。いつか大人になって、みんなの国の言葉で話ができるように、そして自信を持っていろんな国の人に沖縄について教えられるようになるために。

最後に、このツアーをサポートしてくれた皆さん、本当にありがとうございました。これからもこのツアーを続けてほしいと思うので、私もこれから協力していきたいです。本当にありがとう。

宇座 愛希

AIKI UZA

浦添高等学校 1年



忘れないこのすばらしい1週間

「友達できるかなあ。ちょっと心配だけど、おもいきって楽しもう。」という気持ちで迎えた、ジュニアスタディーツアーが始まる朝、私は早くみんなと仲良くなって遊びたいという気持ちがいっぱい、わくわくしながら県庁に向かった事を今でも覚えています。今では、思い出したんびにあの頃の緊張が甦り、お腹が痛くなります。

ジュニアスタディーツアーに参加してみて、楽しくなかった日や、笑わなかった日は1日もありませんでした。たまに、学校よりも楽しく感じられる日もありました。どの一日も充実してて、素敵な経験ばかりでおもしろかったです。広い水槽に感動したちゅら海水族館、海藻が多かったエメラルドビーチ、ヘビを2匹も見れた比地大滝の山登り、かなり笑ったし、やきそばを上手に作れたバーベキュー、テンションも高くなり、皆が一致団結したキャンプファイヤー、スタンプ集めにとても必死だった首里城見学、今でも忘れないテンプスで習った琉球舞踊に三線教室、平和学習で行った平和の礎、6期生の先輩を中心にやったマチグァー散策、夜遅くまで頑張ったエイサー講習、前原信一さんによる講話、そして一番辛かったさよならパーティーなど、どれも自分のためになったプログラムばかりで、ウチナーンチュの私自身、もっと沖縄の事を知ったし、このツアーのおかげで、英語だけではなく、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語などの語学を学ぶ事ができました。これを機会に、私はスペイン語を勉強してみようと思いました。また、今まで習ってきた英語を活用する事ができたので、少し自分に自信を持つ事ができました。

英語を聞いたり、書いたりする事はできますが、どうしても会話だけが苦手だったので、それを克服しようと頑張りました。意味がちゃんと通じたかどうかは分かりませんが、相手もある程度、理解してくれたのでとてもうれしかったです。

ジュニアスタディーツアーを終えて、ふり返ってみると、私は一つ反省するべき所を見つけました。それは、もっと海外グループの人たちと交流を深めておけばよかったと言う事です。私は、移動をしたりする時ずっとウチナーンチュのメンバーについていました。それにより、海外グループの人とあまり関わらなかったと後悔しています。しかし、何人かとは仲良くなったので、その友情を大切にしたいです。

さよならパーティーでは、色々な出し物で盛り上がりましたが、最後は、本当に涙が止まらなかったです。私たちが共に過ごしたこの1週間は、一生忘れません。そして、ジュニアスタディーツアーに参加できた事を心より感謝いたします。すばらしい機会を作ってください、ありがとうございました。最後に、1週間では短かったのもう少し長くしてください。



城間 呉屋 カリーナ ジセーレ

KARINA GISSELLE SHIROMA GOYA

27歳 3世

ペルー共和国 Republic of Peru

ペルー沖縄県人会



ジュニアスタディー 2007 ただいま 沖縄！！

まず最初に沖縄県庁と沖縄県観光商工部交流推進課に感謝したいです。その努力とすばらしいチームワークのおかげでジュニアスタディーツアー 2007を実現することができて感謝しています。

私は引率者に選ばれてから、2人の研修生と一緒にこの旅の準備をしてきました。私たちは3ヶ月間のあいだに、沖縄に送る書類の準備、民族踊り「ラバンデラス」の練習、沖縄の文化・音楽・歴史について勉強し、「ペルーの紹介」のプレゼンテーションの準備、ペルー沖縄県人会についての知識を強化し、旅行のためのいろいろな書類も準備したりしていました。それからこの13日間の過ごし方を元ジュニアスタディーツアー参加者からのアドバイスもたくさんもらいました。

何ヶ月ものあいだ準備したあと、出発の日がやってきました。緊張もしながら嬉しい気持ちと少し悲しい気持ちもあったが、7月15日日曜日にその素晴らしい島に向かって出発しました。親戚や昔知り合った友人たち、これから仲良くなる新しい友人や新しい経験に出会うために出発しました。それから31時間の旅から、あたたかい那覇空港に到着しました。私たちは疲れていたけど興奮の気持ちが湧き上がってきました。ここでは沖縄県庁とプログラム責任者の方々がペルーの旗と「ジュニアスタディーツアー」の看板を手に持ちながら出迎えてくれました。その場にも私たちの親戚や友達、ペルー沖縄協会の会長がいて、あいさつをしながら写真を撮っているあいだに、私たちを温かくウチナンチュの気持ちで出迎えてくれました。

ホームステイの日々が親戚や友達を訪問、沖縄ワールドへ観光、恩納ビーチ、てだこ祭り、国際通り、新都心へ行きながらあっという間に過ぎていきました。

ジュニアスタディーツアーのプログラムが本格的に始まったのは23日からでした。皆さんは県庁のホールでそのときをわくわくしながら待っていました。この日各国の代表団が紹介され、副知事のあいさつを聞いてそして記念写真を皆で撮りました。午後からオリエンテーションがあり、それぞれの自己紹介と国紹介が終わったあとで、研修生たちが言葉と文化の壁をこえていろいろなことを分かち合いながら仲良くなってい

きました。私はこれを見てとても嬉しく思いました。この日の最後にウェルカムパーティーが開かれ、研修生たちがそれぞれの代表団で準備してきた出し物が紹介され、その中にペルーの民族踊り「ラバンデラス」も紹介されました。最後に皆が喜びを感じながらカチャーシーを踊ってその日は終了しました。

次の日、沖縄美ら海水族館を見学するため本部へ出発しました。そこで研修生たちが沖縄の海の美しさに驚きました。特にガラス張りのところで、海のすごさと海水の美しいエメラルド色を見ることができました。沖縄の海というのはとても有名なので、私たちはエメラルドビーチに行く機会がありました。そこで2時間くらいの間だったけど、海水浴することができてリラックスもできました。

比地大滝で、ぬれながら川の中を歩いてたとき私たち皆がいろいろな動植物を見ることができたことに感動しました。この経験は私たちにとって大冒険でした。そのあとにうれしい出来事がありました。元ジュニアスタディーツアーの参加者たちが私たち皆のためにバーベキューを開いて、たき火をしていろいろなゲームも企画してくれました。このとき研修生たちがみんな一緒になって楽しく、歌って、踊って、遊んで友達になっていきました。

那覇で首里城を見学に行きました。研修生たちは首里城の中を見学し、首里城の石畳道（石の道）を歩きながら、琉球王国の偉大さを知り、芸術、建築、生活、習慣面でも中国やタイのような国から大きな影響を受けたことも知ることができました。踊り、空手と三線のクラスを受けたことが研修生たちにとってとてもいい経験になったと思います。その短い時間の中で沖縄の心をつかんで感じるすることができました。同様に生で沖縄舞踊を見ることができました。それに沖縄の音楽グループが私たちのためにさまざまな沖縄の歌を歌ってくれました。彼らと一緒に舞台の上でカチャーシーを踊って楽しいひと時を過ごしました。

次の日、平和祈念公園を見学に行きました。そこで戦争によって沖縄の人々の苦しみやなくしたものについて学ぶことができました。個人的にはこの訪問の間でその中に親戚の名前を見つけることが出来ました。私だけじゃなく皆にとってもこの訪問が特別なものに

なっただと思います。それから戦争の生還者長田さんからの話を聞いて、戦争はどんなものだったのか、その経験が全員に伝わってきました。この話を聞いて、沖縄の人々のその時の生活はどんなものだったのか考えさせられました。これを聞いて研修生たちがなぜ沖縄の人々が平和を強く願うのか理解したと思います。世界平和を願って、戦争などをなくしたいそんな沖縄の気持ちをこれからも大切にしてほしいと思います。

平和通り、那覇の市場、壺屋を見学に行って、社会の勉強もすることが出来ました。そこで元ジュニアスタディーツアー参加者がこの見学のポイントを紹介してもらいました。準備万端でサーターアンダギーから壺屋にある昔の焼き物釜の紹介までしてもらいました。

私は研修生たちにとってとてもためになった話がありました。前原信一さんがお話しした沖縄の移民とそのアイデンティティについての話です。この話の中ではどうやって世界中に沖縄の移民がいるのか、その子孫が今まで沖縄の習慣を持ち続けているのか教えてくれました。この時にも、さまざまなイベントを企画してくれたあるボランティアグループも一緒になって、移民と移民した国、沖縄とウチナンチュアイデンティティについて話しました。

この厳しいスケジュールの中で、エイサーの練習もありました。研修生たちが疲れていてもいつも元気に楽しく遅くまで修了式で踊る「ミルクムナリ」を練習していました。この期間に研修生たちの間で仲間意識が芽ばえて、いつも遅くまで修了式の出し物を準備したり、遊んだり、歌ったり、踊ったり最後の最後まで楽しく過ごしていました。その間、私たち引率者とスタッフメンバーはミーティングでその日の出来事を報告したり、次の日のプログラムをスムーズに行われるように必要なチェックしたりしていました。

最後の日、修了式の日、研修生たちがこの日が皆と一緒にいられるのが最後だと思って悲しい気持ちになっていたけど、皆は涙をこらえながら一人ずつ修了証書を受け取っていました。スピーチの時も笑いも涙もありました。エイサーのとき皆は3回しか練習できなかったけど、頑張って素晴らしいものを見せました。それから、研修生たちが近い将来に会う約束をして、皆で抱きあって泣きながら別れのあいさつをする感動的な瞬間でした。

最後に、私を信頼してくれてこのプログラムの引率者に選んでくれたペルー沖縄県人会に感謝します。それから沖縄県庁と沖縄県観光商工部交流推進課にも、このプログラムは若いウチナンチュにとっていいものになるために大きな努力で実現することが出来て感謝しています。各国の参加者と沖縄の参加者、ブラジル、ボリビア、アメリカの引率者と一緒に楽しいひと時を過ごせて感謝します。この経験を活かして世界中

の県人会や沖縄の人々につないで「イチャリバチョーデー」精神を強くしていきたいと願っています。

友人の又吉パトリシアさんにもホームステイ期間に留めてもらって感謝しています。それに私の親戚や再会できたたくさんの友達と忘れられない楽しい時を過ごしたことに感謝しています。

ありがとう沖縄、私たちを受け入れてくれて、私たちが沖縄の美しさ、文化、歴史、人々、自然、きれいな景色を分け合って、私たち子孫と遠く離れているけど、私たちはいつも心の中でまた会える日を願っています。忘れられない貴重な体験をありがとう。

JST 2007: Tadaima Okinawa!!

En primer lugar, quiero agradecer a la Prefectura de Okinawa y a la División de Intercambio y Promoción de la Oficina Prefectural, por el inmenso esfuerzo y la excelente labor desplegada para la organización de este Programa Junior Syudy Tour 2007.

Desde el momento en que se me eligió para desempeñar la labor de guía del JST 2007, asumí el reto, junto con las participantes elegidas, de prepararnos para este viaje, por lo que durante los siguientes 3 meses estuvimos preparando documentos para enviarlos a Okinawa, ensayando el baile folclórico peruano "Lavanderas", aprendiendo sobre la cultura, música, historia de Okinawa, preparando la presentación de Perú, reforzando los conocimientos acerca de la Asociación Okinawense del Perú, preparando también los documentos para viajar y reuniéndonos con participantes del JST de años anteriores, quienes nos guiaron y aconsejaron para tener un mejor aprovechamiento y desenvolvimiento durante estos 13 días de programa.

Y es así que tras meses de preparación, llegó el día de la partida, el domingo 15 de julio; nos embarcamos llenas de nervios, alegrías, tristezas, al encuentro con esa maravillosa isla, con los familiares, con amistades antiguas, y al encuentro también de nuevas amistades y nuevas experiencias. Y luego de 31 horas de viaje, cansadas pero emocionadas y nerviosas, llegamos al cálido aeropuerto de Naha, en donde nos recibieron los representantes de la Prefectura de Okinawa y Organizadores del programa, con una bandera de Perú y un cartel del Junior Study Tour inmenso, también estaban nuestras familias, amistades y el Presidente de Perú Okinawa Kyokai, quienes entre saludos y fotos, nos hicieron sentir bienvenidas y sentir también el calor uchinanchu tan famoso y que extrañaba.

Los días siguientes de Homestay pasaron rápido entre visitas a familiares y amigos, visitas turísticas a Okinawa World, Playas de Onna, Tedako Matsuri, Kokusai Dori y Shintoshin. El Programa intensivo del Junior Study Tour, comenzó el

lunes 23 de Julio y todos reunidos en el Hall de la Oficina Prefectural, esperábamos ansiosos el inicio de este JST 2007. Y así en este primer día fuimos presentados por delegaciones, escuchamos el saludo de la Vice Gobernadora de la prefectura y nos tomamos la foto de recuerdo con todos los participantes. En horas de la tarde nos reunimos para escuchar la charla de orientación y luego de nuestras presentaciones personales y de nuestros países, empezamos la parte interactiva del programa, con dinámicas entre los participantes, en donde fue muy grato ver a los jóvenes compartiendo y participando, rompiendo las barreras del idioma y cultura. Finalmente se organizó una fiesta de Bienvenida, en donde se presentaron números artísticos preparados por los participantes, entre los que estuvo el baile folclórico de Perú "Lavanderas", y terminamos la fiesta bailando alegremente el tradicional kachashi.

Al día siguiente partimos hacia Motobu para visitar el Churaumi Aquarium, en donde los participantes se quedaron atónitos al ver la belleza marina que Okinawa posee, sobretodo al ver el inmenso paño de cristal que nos muestra en escala real la vida marina y el hermoso color esmeralda que tienen sus aguas. Como Okinawa es conocida sin dudas por sus hermosas playas, tuvimos la oportunidad de ir a Emerald beach, en donde por un par de horas pudimos zambullirnos en ese hermoso mar y pasar un momento de relax.

La caminata hacia la catarata de Hijiotaki fue sin duda toda una aventura tanto para los chicos como también para los guías ya que pudimos tener contacto directo con la flora y fauna de Okinawa, al caminar y mojarnos en el río, y al ver todos los animales que se nos cruzaban. En horas más tarde tuvimos la grata visita y colaboración de los ex participantes del JST, quienes organizaron una parrillada, una fogata y un sinnúmero de juegos que hicieron que los jóvenes se divirtieran y compartieran un hermoso momento todos reunidos, cantando, bailando, jugando, interrelacionándose y haciéndose amigos.

Al regresar a Naha, la visita al Castillo de Shuri y el recorrido por los caminos de piedra de la zona de Shuri, demostraron a los jóvenes lo grande que fue el reino de Ryukyu, su riqueza artística y la inmensa influencia que tuvieron los países como China y Taiwán en su arquitectura, estilo de vida y costumbres. Por lo que considero que el hacer que los jóvenes tomaran parte activa de la cultura y artes de Okinawa, al tener clases de danza, karate y sanshin, fue una experiencia excelente y única ya que en pocos minutos pudieron sentir por sus venas, el ritmo de la música okinawense y la disciplina del karate. Igualmente tuvimos la oportunidad de apreciar en vivo presentaciones de bailes tradicionales okinawenses y también la presentación de un grupo musical

okinawense quienes nos interpretaron los temas más famosos de Okinawa, y con quienes bailamos kachashi en pleno escenario y por todo el teatro tornándose en un ambiente de mucho festejo y alegría para todos.

Al día siguiente visitamos el Museo Conmemorativo de la Paz en el cual pudimos aprender lo terrible que es la guerra y todo lo que los okinawenses sufrieron y perdieron por ella. Personalmente pude encontrar durante el recorrido por las lápidas de la paz, la lápida de un familiar, por lo que esta visita fue muy especial no solo para mí sino para todos los que hallamos los nombres de nuestros familiares fallecidos. Otro momento muy emotivo durante esta visita fue la charla que recibimos por parte de un sobreviviente de la guerra, el Sr. Nagata, quien nos narró con mucho sentimiento toda la terrible experiencia y el sufrimiento que tuvo que padecer por culpa de la guerra. Esta charla nos hizo pensar en todos los okinawenses y también en nuestras familias, quienes también tuvieron que pasar por el mismo sufrimiento y las mismas penurias durante esa terrible época. Esta visita a mi parecer ha sido una de las más importantes para todos los jóvenes ya que ahora comprenden mejor el porqué los okinawenses atesoran mucho la Paz, no quieren más violencias ni guerras en el mundo y la importancia de proteger y promover siempre la Paz.

También pudimos socializar con Okinawa a través de la visita a Heiwa Dori, el mercado y la zona de Tsuboya, organizada por los ex participantes del JST, quienes muy preparados, pudieron explicarnos los puntos más importantes de este recorrido, y así nos mostraron desde lo que era un sata andagi hasta los antiguos hornos de cerámica en Tsuboya.

Una charla que me pareció muy importante para los jóvenes no solo extranjeros sino para los mismos jóvenes okinawenses fue la que nos dio el Sr. Maehara Shinichi, quien nos habló acerca de la Emigración okinawense y la Identidad, como es que hay descendientes okinawenses en todo el mundo y se han organizado en diferentes Kenjinkai, han mantenido las costumbres y han prosperado en todos estos países. A esta charla se le sumó un grupo de voluntarios que organizaron diferentes dinámicas y talleres, profundizando más los temas de migración, de conocimientos de todos los países participantes del programa, de Okinawa y de nuestra identidad uchinanchu.

Junto con todas estas arduas jornadas se le sumaron los ensayos de eisa para los participantes, quienes a pesar del cansancio lograban siempre sacar las energías y alegría necesarias para ensayar con muchas ganas y hasta muy tarde el baile "mirukumunari" que se presentaría en la clausura del programa. También cabe resaltar que la amistad, fruto del programa, fue tan grande que hasta muy tarde, los participantes se quedaban preparando números artísticos para

la clausura y entre juegos, cantos y bailes, aprovechaban al máximo el tiempo del programa. Mientras, los miembros del staff y guías extranjeros nos reuníamos para comentar acerca de las actividades realizadas durante el día y también para realizar las coordinaciones necesarias para que día a día el programa se desarrollara a plenitud.

El último día del programa, el día de la clausura, fue muy emotivo ya que los participantes a pesar de estar tristes y saber que era el último día en el que estarían juntos como amigos y hermanos, dieron todo su esfuerzo para recibir sus diplomas durante la parte protocolar y sobretodo al momento de dar sus discursos entre risas y llantos. También pusieron muchas ganas al hacer sus presentaciones artísticas sobre todo al momento de bailar el eisa, ya que tras haber tenido solo 3 ensayos, lograron presentar un excelente número. Luego se presentaron los números artísticos preparados entre los mismos participantes y entre abrazos, risas y llantos, se despedían y prometían no romper la amistad hecha y volver a verse en un futuro no muy lejano.

Para concluir, agradezco a la Asociación Okinawense del Perú por la confianza que depositaron en mí para ser guía de las participantes; agradezco también a la Prefectura de Okinawa y a la División de Intercambio y Promoción de la Oficina Prefectural, por el esfuerzo para sacar adelante este programa que es de tanto provecho para todos los jóvenes uchinanchus y por el excelente trabajo de organización de este JST 2007. A todos los participantes extranjeros y uchinanchus, y también a los guías extranjeros de Brasil, Bolivia y EEUU con quienes compartimos momentos gratos y de mucha satisfacción por el desempeño arduo durante el programa. A todos les deseo que estos lazos de amistad y hermandad que hemos formado durante el programa, nos sirva para poder no solo conectarnos entre nosotros mismos, sino para conectar a todos los kenjinkai y okinawenses en el mundo y ponerle mucho esfuerzo para fortalecer así nuestro espíritu uchinanchu de "ICHARIBA CHOODE".

Agradezco también a mi amiga Patricia Matayoshi por acogerme durante los días de homestay, a mis familiares y amigos con quienes pude reencontrarme y compartir bellos e inolvidables momentos.

Gracias Okinawa por acogernos y compartir con nosotros toda tu belleza, tu cultura, tu historia, tu gente, tu naturaleza y paisajes inolvidables, porque aunque estés lejos de tus descendientes, nosotros siempre te llevamos en nuestros corazones anhelando el día en que podamos volver a visitarte. Gracias por todas estas experiencias que nunca olvidaremos.



儀間 いつ子

ITSUKO GIMA

30歳 2世

ボリビア共和国 Republic of Bolivia

ボリビア沖縄県人会



ジュニアスタディーツアーの 感想と今後の交流の継続

祖父母そして、両親の国沖縄県、ジュニアスタディーツアーに参加することになり夢のように沖縄県的那覇空港に到着するまでは、信じられませんでした。2回目の滞在6年という時日が経っているので不安はありましたが、とても居心地が良かったです。これも、このツアーを実行して下さった方々と、このツアーを盛り上げて下さった皆様のおかげだと確信しています。

このツアーでは環境について、平和についてそして私の両親も体験した移民について細かくそして、これらのテーマについて考えさせられることが多かったです。

環境破壊について特に考えさせられました。私の国ボリビアでは環境破壊についての情報が発展している国に比べてとても少ないことです。一緒にこのツアーに参加した生徒たちも同じことを感じたと言いました。また、沖縄の自然と動植物等に触れ合い大切さを学ぶよう設けられた学習プログラムの時、なにげなく手にした新聞「笑いながら楽しみながら30秒で世界を変えちゃう新聞」の記事を読んで今でも忘れられないメッセージが目にとまりました。それは「この世に存在する一切のものには、すべて不要なものは一つもない」というメッセージです。また「一緒に種をまきましょう」というメッセージも心に今でも残っています。私の職業は先生という職業で、子供たちの人生を良くするのも、悪くするのも私たち次第です。この地球には不要なものが一つもないというメッセージの種を同僚と一緒にまいていけたらどんなに良いことだろうと思いました。これを実現するのも、しないのも私自身にかかっているのです。とても深く環境や自然について考えさせられました。

平和学習では「戦争は人を鬼にかえる」と言う言葉が戦争を実際に体験された方の話を聞いてどうしてもこの言葉が忘れられません。この沖縄県平和祈念資料館を見学するのはこれで3度目のことです。最初は99年に見学し、とても悲しい気持ちを感じたことを覚えています。そして3回目で貴重なそして悲しい戦争の

体験を聞きました。テレビなどでどここの国が戦争で何人が死んだとニュースで聞くことが今までにも何回かありました。でも、かわいそうだとは思っても心のどこかで人事だと思っていたのに今回このツアーに参加して気づきました。それは、戦争は環境問題とは関係ないものだと考えていたのです。私も普通の社会人のように銀行口座があります。ある新聞で「銀行を変えれば、戦争が終わる」という記事を読みました。そこには環境問題や社会問題を応援する機関があると書かれていました。その時自分の国にはそんな機関があるのだろうかと考えました。日本で読んだ記事がこんなにも心に残ったのです。そういうめんではいろんな刺激を受けて帰って来ました。とてもうれしくおもっています。

そして、私の両親も沖縄県を離れてボリビアに移民して来ました。聞いたことのある話なので、とても身近に感じました。また、違う国の特に南米出身の引率の方々と話をしていくうちにとても似たような環境で生活をしていたことも聞きました。また、日本の参加者と外国の参加者が1つのテーマを通して意見交換が出来、自分たちとはちょっと違ったまた、同じ意見の人たちと知り合えた、世界はこんなにも広いんだということが伝わってきました。

そしてどんな時でも出会いがあれば、別れがある。でも、ずっとこの関係を続けることが出来るので、ちょっとの間だけ「さよなら」を言ってあとは、どう関係を続けていくのか私たちしだいだと思います。そのため、今回一緒に参加した生徒たちと考えていきたいと思っています。

お世話になりました。そして、ありがとうございました。



カネシロ ジョゼ マツオ

KANESHIRO JOSE MATSUO

56歳 2世

ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil

ブラジル沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー 2007年度

沖縄県観光商工部推進課主催で実施された「ジュニアスタディーツアー」にブラジルの児童の引率者として祖国に参加させていただく機会があり、うれしく幸いに思っています。特に私の妻を例外的に参加させていただき、実行委員会の皆様にもいろいろとご迷惑おかけしたことを恐縮に思います。妻も大変喜んでいました。

海外参加者は祖国である沖縄県の歴史、文化、自然を体験学習でき、県内の高校生や中学生との交流ができ、今は遠く離れている新しいフレンドも心のどこかには温かい気持ちを留めているはずです。ジュニアスタディーツアーの目的は達成されたと存じます。

このプログラムを通して各国の参加者ウチナーンチュの子孫が沖縄県と強い絆を結んだことと感じます。この交流プログラムは児童や生徒に強く印象に残ったと思います。これから先、各一人一人が自分の国で沖縄の自然や文化や歴史、または沖縄県の県民の温かさについて多くの人に伝え、普及していくでしょう。

ブラジルの沖縄県会館で理事を勤めている私たちにとって、地球の真反対側で沖縄に関することは何もかも守り続けたいと一生懸命がんばってきた甲斐があり、これからもずっと続けていかなければと励まされました。この先、新しい世代のリーダーを育成し、ずっと私たちが先祖から教えられたことを守り後継者に伝えていくべきだと実感しました。

ホームステイでは私たちの親戚とのコンタクトがよりよい親善となり、さらに沖縄県民の日常生活に触れることができました。

ブラジルに帰国後、ブラジル沖縄県人会会館で沖縄ジュニアスタディーツアーで学んだこと、体験したこと、印象に残ったことを報告いたしました。私を初め、ブラジルの児童生徒全員はこのジュニアスタディーツアーのプログラムが理解でき、有意義に体験できたことと思います。

沖縄県主催の方々、プログラムの実行委員会の方々、随行スタッフの方々、親戚の方々、県内参加者の方々、直接あるいは間接的に世話になった方々全員にこの素晴らしい機会を与えてくださり誠にありがとうございます。

ます。妻も感謝の気持ちでいっぱいです。

JUNIOR STUDY TOUR 2007

Estou feliz e satisfeito pela oportunidade que tive de participar como responsável do grupo de jovens que representaram o Brasil neste programa denominado “Junior Study Tour” que aconteceu na terra natal de meus pais, gentilmente patrocinado pelo governo da Província de Okinawa. Sou muito grato por esta oportunidade, sobretudo pela gentileza dos organizadores possibilitando a inclusão da minha esposa como participante. Sei que foi uma exceção e espero que não tenha causado maiores transtornos. Ela também está particularmente, feliz e agradecida.

Entendo que o programa foi muito bem elaborado e que atingiu plenamente os objetivos, pois todos tiveram a chance de vivenciar a cultura, a historia e as belezas naturais de Okinawa, sempre acompanhado dos seus novos amigos okinawanos que hoje, embora distantes estão muito próximos do coração de cada um dos participantes.

Creio, ser esta a forma mais eficiente para manter o elo de ligação entre a província e a nova geração dos descendentes em cada um dos países participantes. Este encontro deixou a marca que nunca mais será esquecida pelos jovens, principalmente nesta fase da adolescência. Deixou a semente para a formação de novos líderes que comandarão a divulgação em seus respectivos países, da cultura, da historia, da beleza e da hospitalidade do povo de Okinawa.

Nós que batalhamos aqui no Brasil, do outro lado do planeta, para manter a cultura de Okinawa, transmitindo às novas gerações, os usos e costumes daquele país de onde vieram os nossos pais, sentimos honrados e fortalecidos para continuarmos o nosso projeto, a nossa luta, no sentido de formarmos novos líderes mais bem preparados para darmos continuidade a tudo aquilo que herdamos dos nossos antepassados.

O sistema do home stay foi muito importante, pois além de permitir uma maior aproximação com os nossos parentes, vivenciando o seu dia a dia, possibilitou assim termos uma idéia do cotidiano do povo de Okinawa.

Retornando ao Brasil relatamos na Associação Okinawa Kenjin do Brasil, as nossas impressões, as nossas experiências, e o nosso aprendizado. Sinto que os participantes do Brasil absorveram bem o espírito e a proposta do programa Junior Study Tour, e que valeu a pena para a nossa associação e muito para mim, particularmente.

Deixamos aqui registrado, eu e a minha esposa, os nossos melhores agradecimentos ao governo da província de Okinawa, aos organizadores do programa, aos participantes, ao pessoal do staff, aos nossos parentes e a todos aqueles que, direta ou indiretamente, nos presentearam com essa inesquecível viagem e estada em Okinawa



マユミ マーレイン コール

MAYUMI MARLENE COLE

48歳 2世

アメリカ合衆国

United States of America

アトランタ沖縄県人会



ジュニアスタディーツアー 2007

私の生まれた島から招待されて、そしてもう何年も島には帰っていないので私の心から色あせたように思える文化を再び学ぶことができるなんて、何て刺激的なことなのでしょう。もっと興奮したことは、アメリカ合衆国から参加する、私の10代の娘を含む6人の子供たちの「引率者」として選ばれたことでした。日本語や文化の知識、個性や成熟度などの違う子どもたちが1つのチームとして米国から集まり、そういった様々なバックグラウンドをもつ子供たちが、世界中から集まった子供たちとまるでずっと友達だったかのように1つに溶け合うのを見ることができて、とてもよかったです。その絆はさよならパーティーで別れを告げるときに、全員が涙ぐんでいた様子にとってもよく表れていました。この活動、ツアー、交流の結果、私たちの間には明らかに架け橋が築かれました。でも私たちが沖縄に着いた時にはすでに、私たちは祖先の遺したものとウチナーンチュとしての心で潜在的に繋がっていたんだと信じています。

私はプログラムを徹底的に楽しみ、こんな短い期間でもたくさんのことを学びました。あと数週間滞在したかったくらいです！また、沖縄についてこんなにたくさん知らないことがあるのを知ってとても落ち込みました。それは悲しいことで、恥ずかしいことでした。南米から来た子供たちが日本語と方言の両方を知っていて、伝統音楽や伝統芸能ができることにとっても感動しました。私は彼らに尊敬の念を抱くとともに、どうしたら米国でも同じようなことができるだろうかと考えた。彼らは私たちよりはるかにウチナーンチュであると言えました。でも飛行機に乗って米国に戻る頃には、誇りと喜び、感謝、悲しみや他の入り交じった感情で満たされていましたし、フライト中は胸がいっぱいで泣き出しそうでした。私たちの先祖が苦難にたえ、乗り越えてくれたことや沖縄の美しく素晴らしい自然をのこしてくれたことを知って誇りでいっぱいになったけれど、遠く離れていることの障害に悲しくもなりました。車で島に戻るなんてことはできませんし、それは車でどこでも移動するアメリカとは違うところです。でも自分が何者でどこから来たのかを知っ

て、全身が喜びで満たされました。

このプログラムは細部まで十分に配慮されたものでしたし、プログラムの成果で悪かったところは何もありません。私はプログラムを効果的なものにしたスタッフの努力に拍手喝采します。プログラムは私たちの求めるものと合っていたし、スタッフは通訳であったり、カウンセラーだったり、お姉さん、お兄さんだったり、友達だったり、主催者であったり、そして子供たちの意欲を高めてくれる役割を担ってくれました。用意された資料はとても素晴らしかった！よくまとめられていて、わかりやすかったです。(私が漢字を読むのに苦労したという事実は除きますが)「沖縄へようこそ」のページはとても役に立つ情報が満載で持ち歩くのに便利でした。例えば天気や服装、どういった活動ができるかという内容でした。日程表は絶対に必要な1枚でした。私は「あなたは何人」という活動が好きでした。私がどうやって生まれたのか理解しようと真剣に考えました。私たちはこの活動でたくさん笑いましたが、この活動の本当の目的はもっと深いところにありました。私はそれぞれに違ったリーダーシップをとらせるというやり方はいいと思いました。なぜならそれは子供たちに責任感をもたせることになるからです。(必ずしも全員が真剣に取り組んでいたわけではなかったが、少なくともその時だけは他人の事を考えなければならぬのですから。)そして前原信一さんと会えたことはすばらしかったです。彼はベテランのニュースキャスターで、ゼロから作り上げられた沖縄県系人社会をたくさん見てきた人で、彼の経験した話はとてもためになりました。私は見ることで習う人なので、人の話を聞くことはとてもためになります。(でもそれは話し手にもよります。ですから、話が面白い方がいいです。)グループ交流や討論もおもしろくて、体験学習も役立ちました。また、前の年に参加した若者を参加させて、新しい参加者たちのやる気を高めたり、ゲームやその他の緊張をほぐすような活動をさせたことも素晴らしい考えだと思いました。

こんなに素晴らしくて、本当に必要なプログラムに参加させてくださってありがとうございます。帰国する時には沖縄についてより詳しくなただけではなく、人間に対する深い感謝の気持ちを持つことができ

ていたのです。私は危険なことに直面しているときでない限り、こんな短期間にだれかと絆を築くことができるとは思いませんでした。前に述べたように、たぶん架け橋はすでにそこにあったのです。ただ我々がその絆を感じない限り、ずっとそこに横たわったままなのです。

Junior Study Tour 2007

Wow! What an exciting opportunity that was to have been invited back to the island where I was born and to relearn about the culture that seemed to have faded from my mind after a long absence. Even more exciting was that I was selected to be the 'mother hen' to look after six youths from the United States, to include my teen-aged daughter. It was great to see these kids from various backgrounds in terms of knowledge of Japanese language and culture; different personalities and different maturity levels to come together as a team from U.S. and to blend in with the entire group of youths from around the world as if they had been friends forever! The unspoken bond was very apparent at the farewell party when there was not a dry eye in sight when bidding good-byes. The conscious bridge was built as a result of packed activities, trips and social interactions during our stay, but I believe each of us arrived to Okinawa with subconscious bridge for the sheer reason of our heritage and our Okinawan soul.

I thoroughly enjoyed the program and learned sooooo much in just a short time. I would loved have stayed on a few more weeks! It was also a very humbling experience to realize how little I knew about Okinawa. That was both sad and embarrassing on my part. Youths in general from South America were so impressive with their knowledge of both Japanese and Hogen and their ability to play traditional instruments and dance. I was awed at them and wondered how we can in the United States make that happen with our generation youths? Those youths were so much more Okinawans then I would ever be. By the time I was on the plane back to the states I was filled with pride, joy, appreciation, sadness and other jumbled emotions. I must have flown back with a lump in my throat the whole flight back! I came back with greater pride in knowing my heritage, appreciate what my ancestors had to endure and appreciate the beautiful and wonderful Okinawan nature but sad knowing the distance was a challenge. It's not like I can drive and be back on the island. Something we're accustomed to in the states. But all in all, it brought joy into my heart knowing who I am and where I came from.

This program was obviously put together with great attention to detail. I cannot think of anything negative that came out of

the program. I applaud to the staff for their efforts ensuring positive flow of the program, that our needs were met, wearing multiple hats executing various roles such as being interpreters, counselors, big sisters/big brothers, friends, party organizers, motivators, and more. Packet handouts were great! It was organized and easy to follow (other than the fact that I had trouble reading kanji's). 'Welcome to Okinawa' section was very useful and informative with helpful things to bring; weather and recommended clothes; and type of activities we would be doing. Daily schedule was a must have sheet. I loved the exercise "anata wa nani jin. Trying to figure out what I was made up of made me really think. We had a lot of laughs with this particular exercise but the core purpose of it was pretty profound. I liked the format of assigning different leadership roles because that forced them to be responsible and accountable (not that everybody took their roles seriously but gave them a taste of having to think about someone else for a change). It was great to meet Maehara Shinichi-san. His personal experience as a veteran broadcaster visiting so many Okinawan communities building from scratch was informative. I am a visual person so it helps a great deal to listen to people talk (but that also depends on the speaker, too. Make sure to bring in the lively ones), group interactions/discussions can be interesting and hands-on really help me retain what I learn. Bringing back the youth leaders from the previous year was also a great idea to help get the new group motivated and help get started with games and other ice breaker activities.

Thank you for allowing me the opportunity to take part in this wonderful and much needed program. I came away not only smarter about Okinawa but I left with a greater appreciation in humanity. I never thought I could build a bond with someone in such a short period of time, especially when you're not even facing danger. As I stated earlier, the bridge was probably already there but just remained dormant until it got woken up through our heartfelt bonding.

資料編

受 入 実 績

(1) 海外参加者・引率者の国別内訳 【() はそのうち引率者の人数】

国名	年度	H13 (ウチナンチュ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ウチナンチュ大会)	H19	計
ボ リ ビ ア		5(1)	2	3(1)	2	2	5(1)	3(1)	22(4)
ブ ラ ジ ル		7(1)	3(1)	2	3(1)	3(1)	5(1)	3(1)	26(6)
" (カンボグランデ)		3(1)	1	2(1)	1	1	2	1	11(2)
アルゼンチン		5(1)	3(1)	2	3(1)	3(1)	3	2	21(4)
ペ ル ー		5(1)	3(1)	3(1)	3(1)	3(1)	4(1)	3(1)	24(7)
ベ ネ ズ エ ラ		2(1)	0	0	0	0	0	0	2(1)
メ キ シ コ		3(1)	0	0	0	0	1	0	4(1)
キ ュ ー バ		0	2(1)	2(1)	2(1)	0	2(1)	0	8(4)
フ ラ ン ス		2(1)	0	0	0	0	0	0	2(1)
イ ギ リ ス		2(1)	0	0	0	2(1)	2	0	6(2)
ド イ ツ		2(1)	0	0	0	0	0	1	3(1)
米 国(ハワイ)		0	2	3(1)	1	0	1	0	7(1)
" (グアム)		1	0	2(1)	0	0	0	0	3(1)
" (本 土)		20(4)	6(2)	5(2)	5(1)	6(1)	11(2)	6(1)	59(13)
カ ナ ダ		6(2)	2(1)	1	1	1	2	1	14(3)
フィリピン		4(1)	3(1)	3(1)	1	1	1	1	14(3)
シンガポール		0	2(1)	0	0	0	0	0	2(1)
マレーシア		0	0	0	0	0	1	0	1(0)
計		67(17)	29(9)	28(9)	22(5)	22(5)	40(6)	21(4)	229(55)

(2) 海外参加者内訳
世 代 別

国名	年度	H13 (ウチナンチュ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ウチナンチュ大会)	H19	計
1世		0	0	0	1	2	1	0	4
2世		26	5	6	6	3	14	5	65
3世		21	8	10	8	9	13	8	77
4世		3	7	3	2	3	5	4	27
5世		0	0	0	0	0	1	0	1
計		50	20	19	17	17	34	17	174

男 女 別

国名	年度	H13 (ウチナンチュ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ウチナンチュ大会)	H19	計
男子		30	9	5	7	6	15	6	78
女子		20	11	14	10	11	19	11	96
合計		50	20	19	17	17	34	17	174

(3) 県内・県外参加者内訳
学 校 別

国名	年度	H13 (ウチナンチュ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ウチナンチュ大会)	H19	計
小学生		9	0	0	0	0	0	0	9
中学生		24	13	7	5	4	11	4	68
高校生		17	11	18	15	15	22	13	111
計		50	24	25	20	19	33	17	188

男 女 別

国名	年度	H13 (ウチナンチュ大会)	H14	H15	H16	H17	H18 (ウチナンチュ大会)	H19	計
男子		15	6	4	4	5	7	3	44
女子		35	18	21	16	14	26	14	144
合計		50	24	25	20	19	33	17	188

平成19年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名
1	栗 國 志 帆 AGUNI SHIHO	14	女	真和志中学校
2	金 城 華 奈 子 KINJO KANAKO	13	女	潮平中学校
3	宮 城 玲 奈 MIYAGI RENA	13	女	美里中学校
4	安 里 翼 ASATO TATSUMI	14	女	与那原中学校
5	玉 城 美 耶 子 TAMAKI MIYAKO	16	女	那覇西高等学校
6	上 間 瑞 樹 UEMA MIZUKI	17	女	開邦高等学校
7	与那覇 智 都 YONAHA CHISATO	16	女	開邦高等学校
8	瑞慶山 美 咲 ZUKEYAMA MISAKI	17	女	コザ高等学校
9	宮 城 聖 乃 MIYAGI SYONO	15	女	コザ高等学校
10	狩 俣 友 恵 KARIMATA TOMOE	17	女	宮古高等学校
11	上 原 善 男 UEHARA YOSHIO	21	男	南部工業高等学校
12	宮 城 和 哉 MIYAGI KAZUYA	18	男	西原高等学校
13	川 満 大 祐 KAWAMITSU DAISUKE	17	男	西原高等学校
14	岸 本 りいま KISHIMOTO RIIMA	16	女	宜野湾高等学校
15	許 田 侑 加 KYODA YUKA	18	女	興南高等学校
16	源 河 花 乃 子 GENKA KANOKO	17	女	首里高等学校
17	宇 座 愛 希 UZA AIKI	15	女	浦添高等学校

平成19年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏名	年齢	性別	世代	国名	県人会名
1	宮里 賢征 MIYAZATO UETA MAURY MASSAYUKI	17	男	3世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	上江洲 小百合 シルビア UESU SILVIA SAYURI	15	女	4世		
3	ヴィヴィアネ ユミ ハラサキ VIVIANA YUMI HARASAKI	17	女	3世		カンボグランデ沖縄県人会
4	新城 パブロ アリエル PABLO ARIEL ARAGUSUKU	18	男	4世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	仲宗根 ゆかり YUKARI NAKASONE	17	女	2世		
6	真栄城 仲宗根 カリーナ 初江 KARINA HATSUE MAESHIRO NAKASONE	17	女	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
7	伊佐 与儀 幸子 カロリーナ SACHIKO CAROLINA ISA YOGUI	16	女	3世		
8	大城 広大 KODAI OSHIRO	13	男	3世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
9	クダカ 美咲 MISAKI KUDAKA	15	女	3世		
10	ジャスティン トヨサト JUSTIN TOYOSATO	13	男	4世	アメリカ	北米沖縄県人会
11	麗矢 マーロウ LAIYA MARLOW	14	女	2世		コロラド州沖縄県人会
12	マケラ レネー コール MICHAELA RENE COLE	17	女	3世		アトランタ沖縄県人会
13	トモコ レネー レオナード TOMOKO RENEE LEONARD	17	女	2世		インディアナ沖縄県人会
14	クリスティーナ チハル ヘンリー CHRISTINA CHIHARU HENRY	17	女	2世	カナダ	スペースコースト沖縄県人会 ゆいまーる会
15	ジョシュア マイケル キャンベル JOSHUA MICHAEL CAMPBELL	15	男	4世		レスブリッジ沖縄県人会
16	クリスチアン サン MACALINTAL CHRISTIAN SANTOS	18	男	3世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
17	比嘉 紀乃 KOTONO HIGA	14	女	2世	ドイツ	ドイツ沖縄県人会

海外引率者名簿

	氏名	年齢	性別	世代	国名	県人会名
1	カネシロ ジョゼ マツオ KANESHIRO JOSE MATSUO	56	男	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	儀間 いつ子 ITSUKO GIMA	30	女	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
3	城間 呉屋 カリーナ ジセーレ KARINA GISSELLE SHIROMA GOYA	27	女	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	マユミ マーレイン コール MAYUMI MARLENE COLE	48	女	2世	アメリカ	アトランタ沖縄県人会

平成18年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	学年	性別	学 校 名	
1	国 吉 明 奈	KUNIYOSHI MEINA	3	女	中城村立中城中学校
2	久手堅 憲 稀	KUDEKEN NORIKI	3	男	西原町立西原東中学校
3	比 嘉 夏 海	HIGA NATSUMI	3	女	浦添市立浦添中学校
4	富名腰 彩 乃	FUNAKOSHI AYANO	3	女	那覇市立首里中学校
5	豊見山 佐 妃	TOMIYAMA SAKI	3	女	那覇市立松島中学校
6	前 里 雅	MAESATO MIYABI	3	女	那覇市立松島中学校
7	中 村 春 葵	NAKAMURA HARUKI	3	女	豊見城市立長嶺中学校
8	与 坂 勇 姫	YOSAKA YUKI	1	女	南城市立玉城中学校
9	比 嘉 美 幸	HIGA MISAKI	3	女	与那原町立与那原中学校
10	崎 原 佑 介	SAKIHARA YUSUKE	3	男	与那原町立与那原中学校
11	島 袋 正 志	SHIMABUKURO MASASHI	1	男	多良間村立多良間中学校
12	諸 見 正 太	MOROMI SHOTA	3	男	石川高等学校
13	津 波 義 弥	TSUHA YOSHIYA	3	男	北谷高等学校
14	山 内 祐 奈	YAMAUCHI YUUNA	3	女	普天間高等学校
15	喜 納 亜沙美	KINA ASAMI	3	女	普天間高等学校
16	川 節 奈 那	KAWASETSU NANA	3	女	西原高等学校
17	屋比久 ま り	YABIKU MARI	3	女	浦添工業高等学校
18	運 天 美由紀	UNTEN MIYUKI	3	女	浦添工業高等学校
19	池 原 ななえ	IKEHARA NANAE	3	女	那覇国際高等学校
20	上 間 もえみ	UEMA MOEMI	3	女	那覇国際高等学校
21	狩 俣 彩 乃	KARIMATA AYANO	1	女	首里高等学校
22	久 貝 博 文	KUGAI HIROFUMI	1	男	小禄高等学校
23	大 城 ひろか	OSHIRO HIROKA	2	女	那覇西高等学校
24	岩 田 彩 希	IWATA AYA	1	女	那覇西高等学校
25	稲 福 奈実子	INAFUKU NAMIKO	3	女	那覇商業高等学校
26	城 田 麻莉亜	SHIROTA MARIA	3	女	那覇商業高等学校
27	謝 敷 アリーニ	JASHIKI ALINI	1	女	沖縄尚学高等学校
28	宮 城 若 名	MIYAGI WAKANA	2	女	沖縄女子短期大学附属高等学校
29	下 地 由芙子	SHIMOJI YUFUKO	2	女	開邦高等学校
30	照 屋 美友貴	TERUYA MIYUKI	2	女	知念高等学校
31	糸 数 舞	ITOKAZU MAI	2	女	知念高等学校
32	金 城 将 吾	KINJO SHOGO	3	男	糸満高等学校
33	平 良 優 圭	TAIRA YUKA	3	女	久米島高等学校

平成18年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名
1	ガブリエレ エリ 比嘉 GABRIELLE ERY HIGA	女	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	カリナ イズミ 具志堅 KARINA IZUMI GUSHIKEN	女	3世		
3	カレン ユミ 宮城 KAREN YUMI MIYASHIRO	女	4世		
4	レチシア チエミ 高良 LETICIA TIEMI TAKARA	女	3世		
5	マリオ セルジオ いさお 小波津 MARIO SERGIO ISSAO KOHATSU	男	3世		カンポグランデ沖縄県人会
6	レナタ ちえみ 城間 RENATA TIEMI SHIROMA	女	3世		
7	宮平 レオナルド マルティン LEONARDO MARTIN MIYAHIRA	男	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
8	新垣 あかね AKANE ARAKAKI	女	1世		
9	喜納 パウラ ミカエラ ミユキ PAULA MICAELA KINA	女	3世		
10	新垣 金城 ジーミ ホルヘ JIMMY JORGE ARAKAKI KANASHIRO	男	4世	ペルー	ペルー沖縄県人会
11	具志堅 大城 ガブリエラ イサベル GABRIELA ISABEL GUSHIKEN OSHIRO	女	3世		
12	渡嘉敷 国頭 ダニエラ DANIELA TOKASHIKI KUNIGAMI	女	4世		
13	比嘉 さゆり SAYURI HIGA	女	3世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
14	眞榮城 弥生 YAYOI MAESHIRO	女	3世		
15	安里 健 KEN ASATO	男	2世		
16	ホカマ 栄 SAKAE HOKAMA	男	3世		
17	イダルゴ カネド フランシスコ エイジ FRANCISCO EILLY HIDALGO CANEDO	男	4世	メキシコ	メキシコ沖縄県人会
18	キヨミ トレス ゴンザレス KIYOMI TORRES GONZALEZ	女	4世	キューバ	キューバ沖縄県人会
19	高田 シャンテル 真由美 CHANTELLE MAYUMI TAKATA	女	5世	アメリカ	ハワイ沖縄連合会
20	ダニエル マコト バンバード DANIEL MAKOTO BOMBARD	男	2世		北米沖縄県人会
21	又吉 まりこ リン MARIKO LYN MATAYOSHI	女	2世		北カリフォルニア沖縄県人会

海外参加者名簿

19	高田 シャンテル 真由美 CHANTELLE MAYUMI TAKATA	女	5世	アメリカ	ハワイ沖縄連合会	
20	ダニエル マコト バンバード DANIEL MAKOTO BOMBARD	男	2世		北米沖縄県人会	
21	又吉 まりこ リン MARIKO LYN MATAYOSHI	女	2世		北カリフォルニア沖縄県人会	
22	ウエットセル ミッシェル ケイコ MICHELLE KEIKO WHETSELL	女	2世		ワシントン州沖縄県人クラブ	
23	デイブ アレン シュルライン DALE ALLEN SCHLEHLEIN III	男	3世		中西部沖縄県人会	
24	アシュレイ 紀子 シャンクス ASHLEY KIKO SHANKLES	女	2世		ニューメキシコ沖縄県人会	
25	イアン トーマス ダグラス IAN THOMAS DOUGLAS	男	3世		ニューヨーク沖縄県人会	
26	フェングラー 美花 MIKA LEILANI FENGLER	女	2世		アトランタ沖縄県人会	
27	アшлиー ブルック シングルトン ASHLIE BROOKE SHINGLETON	女	3世		ジャクソンビル沖縄県人会	
28	クリストファー ジェフリー エドワーズ CHRISTOPHER JEFFREY EDWARDS	男	2世		ミシガン沖縄県人会	
29	パターン アンドリュウ 義輝 ANDREW YOSHIKI PATTERSON	男	2世		カナダ	バンクーバー沖縄県友愛会
30	比嘉 史 NICHOLAS CHIKASHI HIGA	男	2世			トロント球陽会
31	ブライアン ブリア ヤキテン YAQUITEN BRYAN MEJIA	男	3世		フィリピン	フィリピン沖縄県人会
32	比嘉 麻耶 MAYA HIGA	女	2世		マレーシア	マレーシア沖縄会
33	石垣 幸夫 SACHIO LUCIAN ISHIGAKI	男	2世	イギリス	イギリス沖縄県人会	
34	石垣 優児 YUJI ISHIGAKI	男	2世			

海外引率者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名
1	与儀 上原 昭雄 AKEO UEHARA YOGUI	男	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	譜久原 アントニオ FUKUHARA ANTONIO	男	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
3	イノウエ 悦子 ETSUKO INOUE	女	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
4	ジュリエタ フォンテ 伊波 JULIETA FONTE IHA	女	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	ジャネット 亜希子 山内 JANET AKIKO YAMAUCHI	女	2世	アメリカ	北米沖縄県人会
6	上原 さやか SAYAKA UEHARA	女	1世	アメリカ	ニューヨーク沖縄県人会

平成17年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名
1	具志堅 靖 知 GUSHIKEN YASUTOMO	14	男	沖縄市立コザ中学校
2	城間 ひかる SHIROMA HIKARU	14	女	那覇市立石嶺中学校
3	伊 地 侃 海 ICHI TADAMI	14	男	与那原町立与那原中学校
4	又 吉 奈保子 MATAYOSHI NAOKO	14	女	石垣市立伊原間中学校
5	金 城 千 尋 KINJO CHIHIRO	16	女	北部工業高等学校
6	幸 地 長 治 KOUCHI CHOUJI	16	男	名護高等学校
7	金 城 エリナ KINJO ERINA	17	女	読谷高等学校
8	大 城 奈 々 OSHIRO NANA	17	女	具志川高等学校
9	玉 城 美 優 TAMAKI MIYU	18	女	具志川高等学校
10	山 城 杏 奈 YAMASHIRO ANNA	16	女	普天間高等学校
11	宇 根 あみ菜 UNE AMINA	17	女	浦添高等学校
12	大 城 李理子 OSHIRO RIRIKO	15	女	那覇高等学校
13	斉 藤 愛 里 SAITO AIRI	16	女	那覇国際高等学校
14	又 吉 扶 MATAYOSHI TASUKU	17	男	那覇国際高等学校
15	上 原 麻 衣 UEHARA MAI	15	女	小禄高等学校
16	小那覇 祥 子 ONAHA SHOKO	16	女	豊見城高等学校
17	番 園 亨 BANZONO TORU	16	男	糸満高等学校
18	翁 長 琴 乃 ONAGA KOTONO	17	女	久米島高等学校
19	伊良部 夏 美 IRABU NATSUMI	18	女	宮古工業高等学校

平成17年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県人会名
1	大城 直美 マヤラ MAYARA NAOMI DE ALCANTARA OSHIRO	女	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
	宮城 明子 ベアトリス BEATRIZ AKIKO MIYASHIRO	女	3世		
3	川波 エンリッケ ケンジ HENRIQUE KENJI KAWANAMI	男	3世		カンポグランデ沖縄県人会
4	屋宜 宣広 アレハンドロ ALEJANDRO DANIEL YAGI	男	3世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
	岸本 ユカリ YUKARI KISHIMOTO	女	1世		
6	仲里 国頭 エミ カロリーナ EMY CAROLINA NAKASATO KUNIGAMI	女	4世	ペルー	ペルー沖縄県人会
	7	亀甲 亀甲 たかし アレハンドロ TAKASHI ALEJANDRO KAMEGO KAMEKO	男		
8	親川 千草 カサンドラ CHIGUSA CASANDRA OYAKAWA	女	3世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
	9	ジャンニ ブラジル JANNY BRASIL TAMASHIRO	女		
10	ヤマシロ ミッシェル MICHELLE ALEXANDRA YAMASHIRO	女	4世	アメリカ	北米沖縄県人会
	11	イタリアーノ チャンス ケンイチ CHANCE KENICHI ITALIANO	男		1世
12	イーズリー マケーナ ヴィカーシャ MCKENNA VIKASHAA EASLEY	女	2世		ワシントンDC沖縄県人会
13	ラックエル 笑美 コンドン RAQUEL EMI CONDON	女	3世		インディアナ沖縄県人会
14	クリストファー ジョシア ワールターズ CHRISTOPHER JOSHUA WALTERS	男	3世	フロリダ沖縄県人会	
15	ジョーダン カミオ サワダ JORDAN KAMIO SAWADA	男	4世	カナダ	レスブリッジ沖縄県人会
16	ジャスミン マリー ドフレド デ ヘスス JASMINE MARIE DE JESUS	女	3世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
17	ゴンザレス 優子 エリザベス YUKO ELIZABETH GONZALES	女	2世	イギリス	イギリス沖縄県人会

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県人会名
1	松堂 忠顕 CHUKEN MATSUDO	男	1世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
	2	新里 ファビアナ カルメン FABIANA CARMEN SHINZATO	女	2世	アルゼンチン
3	安座間 喜屋武 シェイラー パトリシア SHEILLAH PATRICIA AZAMA KIYAN	女	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	牧志 啓和 HIROKAZU MAKISHI	男	1世	アメリカ	ユタ州沖縄県人会
5	伊敷 久子 HISAKO ISHIKI	女	1世	イギリス	イギリス沖縄県人会

平成16年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名
1	棚 原 琴 希 TANAHARA KOTOKI	14	女	宜野湾市立宜野湾中学校
2	糸 数 梨 乃 ITOKAZU RINO	13	女	那覇市立小禄中学校
3	国 吉 美 樹 KUNIYOSHI MIKI	14	女	久米島町立具志川中学校
4	高 原 茉 奈 TAKAHARA MANA	14	女	平良市立平良中学校
5	前上里 李衣奈 MAEUEZATO LIINA	13	女	石垣市立伊原間中学校
6	幸 地 美 琴 KOUCHI MIKOTO	17	女	名護高等学校
7	平 良 楨 子 TAIRA MAKIKO	17	女	石川高等学校
8	小 谷 仁 人 KOTANI KIMIHITO	17	男	石川高等学校
9	池 原 春 奈 IKEHARA HARUNA	18	女	読谷高等学校
10	又 吉 毅 MATAYOSHI TAKESHI	17	男	美里高等学校
11	上 原 唯 UEHARA YUI	18	女	球陽高等学校
12	崎 濱 優 希 SAKIHAMA YUUKI	18	女	与勝高等学校
13	沖 吉 ハンナ OKIYOSHI HANNA	16	女	普天間高等学校
14	運 天 美 里 UNTEN MISATO	16	女	首里高等学校
15	久 銘 次 美 奈 江 KUMEJI MINAE	16	女	那覇国際高等学校
16	謝 敷 エミリー JASHIKI EMILY	16	女	那覇国際高等学校
17	金 城 のぞみ KINJOU NOZOMI	17	女	那覇西高等学校
18	許 田 卓 史 KYODA TAKAFUMI	18	男	興南高等学校
19	金 憲 禎 KIM HUNJUNG	16	男	沖縄尚学高等学校
20	細 田 愛 HOSODA MANA	15	女	豊見城高等学校

平成16年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県 人 会 名
1	比嘉 理恵 デボラ DEBORA LIE HIGA	女	3世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	知念 まゆみ クリスチーナ CRISTINA MAYUMI CHINEN	女	2世		
3	城間 ロドリーゴ シゲイロ RODRIGO SHIGUEIRO SIROMA	男	3世		カンボグランデ沖縄県人会
4	又吉 アンドレス MATAYOSHI ANDRES PABLO	男	3世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	米須 ノルマ ビルヒニア KOMESU NORMA VIRGINIA	女	3世		
6	エスコバル 伊礼 ジョアナ エツコ ESCOBAR YREY JOHANNA ETSUKO	女	4世	ペルー	ペルー沖縄県人会
7	比嘉 シンボ エリック ハビエル HIGA SHIMBO ERIC JAVIER	男	3世		
8	中村 稲嶺 真由美 NAKAMURA INAMINE MAYUMI	女	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
9	新垣 サトル ARAKAKI SATORU	男	2世		
10	サユリ ゴンザレス ナカソネ GONZALEZ NAKASONE SAYURI	女	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会
11	ミッシェル ミヨリ パニス PANIS MICHELLE MIYORI	女	3世	アメリカ	沖米沖縄県人会
12	ウィリアム ウォルター ストレリー STRALEY WILLIAM WALTER	男	2世		ペンサコーラ沖縄県人会
13	コラオ クリスタル CORRAO CRYSTAL MARIE	女	2世		シカゴ沖縄県人会
14	新城 アントニ 大陸男 ARASHIRO ANTHONY MUTSUO	男	2世		サンディエゴ沖縄県人会
15	ジェシー・マイ カイアオ ア カマラニ・ホリ HORI JESSIE MAI KAIAO A KAMALANI	女	4世		ハワイ沖縄連合会
16	喜久川 可奈 KIKUKAWA KANA	女	1世	カナダ	バンクーバー沖縄県友愛会
17	レンド ジャン ボニファシヨ BONIFACIO RHEND JAN	男	3世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県人会名
1	与儀 上原 昭雄	男	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	新垣 アリエル	男	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
3	松田 美津江	女	2世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	ミユキ イトカズ モラレス	女	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	光江 上原 コーチ	女	1世	アメリカ	シカゴ沖縄県人会

平成15年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名	
1	宮 本 詩 織	Miyamoto Shiori	12	女	港川中学校
2	島 袋 希	Shimabukuro Nozomi	15	女	首里中学校
3	山 城 貴 徳	Yamashiro Takanori	14	男	糸満中学校
4	比 屋 根 安 尚	Hiyane Yasunao	13	男	南星中学校
5	長 嶺 一 司	Nagamine Kazushi	13	男	南星中学校
6	古 波 蔵 直 子	Kohagura Naoko	14	女	南星中学校
7	比 嘉 淳 子	Higa Junko	18	女	八重山農林高等学校
8	吉 村 苑 華	Yoshimura Sonoka	17	女	読谷高等学校
9	高 良 南	Takara Minami	18	女	球陽高等学校
10	玉 城 幸	Tamaki Miyuki	17	女	浦添高等学校
11	安次富 紗綾香	Ashitomi Sayaka	16	女	浦添商業高等学校
12	比 嘉 こ な み	Higa Konami	17	女	首里高等学校
13	安 里 み ち よ	Asato Michiyo	17	女	首里東高等学校
14	新 垣 怜 子	Arakaki Reiko	17	女	那覇高等学校
15	新 崎 奈 央	Arasaki Nao	17	女	那覇高等学校
16	前 田 那 美 子	Maeda Namiko	18	女	那覇国際高等学校
17	大 本 紗 哉	Ohmoto Saya	16	女	那覇国際高等学校
18	金 城 美 菜	Kinjo Mina	17	女	那覇商業高等学校
19	大 城 桃 香	Oshiro Momoka	16	女	沖縄尚学高等学校
20	真 栄 城 智 恵 美	Maesiro Chiemi	16	女	沖縄尚学高等学校
21	稲 福 陽 香	Inafuku Haruka	15	女	興南高等学校
22	村 吉 梨 華 子	Murayoshi Rikako	15	女	興南高等学校

県外内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名	
1	金 城 幸 代	Kinjo Sachiyo	15	女	兵庫県立宝塚私立高司中学校
2	上 原 勝 也	Uehara Katsuya	17	男	兵庫県立宝塚高等学校
3	小 山 奈 未	Koyama Nami	18	女	日本福祉大学附属高等学校

平成15年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名
1	新城 真由美 Monica Mayumi Arashiro	女	3世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	仲村 カロリーナ みどり Carolina Midori Nakamura	女	2世		
3	新里 チエミ アンネ Anne Thiemy Suzuki Shinzato	女	3世		カンポグランデ沖縄県人会
4	井口 セシリア ミドリ Iguchi Cecilia Midori	女	3世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	諸喜田 マリネ Shokida Marine	女	3世		
6	仲本 山城 ダニエラ Nakamoto Yamagusuku Daniella	女	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
7	渡慶次 山城 マリア ガブリエラ Tokeshi Yamagusuku Maria Gabriela	女	3世		
8	神谷 ナオミ Kamiya Pedraza Naomi	女	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
9	比嘉 浩二 Higa Koji	男	2世		
10	アレマン レオナルド ホルヘ エルネスト Aleman Leonard Jorge Ernesto	男	4世	キューバ	キューバ沖縄県人会
11	キャサレン アーヌ シロマ Katharine Anne Shiroma	女	4世	アメリカ	ハワイ沖縄県人会
12	タイ ジン コバシガワ Ty Jin Kobashigawa	男	4世		
13	玉城 由美 Tamashiro Yumi	女	2世		北米沖縄県人会
14	柳田 コリン タケシ Yanagida Colin Takeshi	男	2世	アメリカ	ワシントン州沖縄県人会
15	アシュリー フリック Ashley Frick	女	3世		ニューヨーク沖縄県人会
16	仲原 オリバー 竜司 Nakahara Oliver Ryoji	男	2世	カナダ	カルガリー沖縄県人会
17	ディナマエ エロイ リエゴ Llego Dinahmae Eroy	女	3世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
18	パトリスア レジーナ ノセダ ロペス Lopez Patricia Resyna Noceda	女	3世		
19	レドナ ジェニファー 祐紀 Redona Jennifer Yuki	女	3世	アメリカ	グアム沖縄県人会

海外引率者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名
1	屋富祖 正一	男	1世	ブラジル	カンポグランデ沖縄県人会
2	安座間 平敷 ファン 喜勝	男	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
3	比嘉 次雄	男	1世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
4	上間 大兼久 ホルヘ	男	2世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	タランティニ 裕子 伊波	女	1世	アメリカ	北米沖縄県人会
6	曾野 知雄	男	2世		ニューヨーク沖縄県人会
7	島袋 カオル ネイディー	女	2世		ハワイ沖縄県人会
8	アセルデン マリア コラソン エバンヘリオ	女	2世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
9	奥濱 レドナ 悦子	女		アメリカ	グアム沖縄県人会

平成14年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名	
1	宮 里 諒 哉	Ryoya Miyazato	15	男	名護市立大宮中学校
2	奥 間 友里恵	Yurie Okuma	14	女	金武町立金武中学校
3	與那城 美姫乃	Mikino Yonashiro	12	女	沖縄市立安慶田中学校
4	伊良波 一 美	Kazumi Iraha	14	女	沖縄市立山内中学校
5	嘉 数 真 菜	Mana Kakazu	13	女	浦添市立浦西中学校
6	比 嘉 麻 臣	Asami Higa	13	女	那覇市立松城中学校
7	平 敷 綾	Aya Heshiki	15	女	那覇市立小祿中学校
8	山 城 信 裕	Nobuhiro Yamashiro	14	男	与那原町立与那原中学校
9	杉 山 星 河	Seika Sugiyama	12	女	豊見城市立伊良波中学校
10	川 平 一 之	Kazuyuki Kawahira	14	男	城辺町立福嶺中学校
11	宮 城 聖里香	Serika Miyagi	17	女	辺土名高等学校
12	大 城 奈津紀	Natsuki Ohshiro	16	女	石川高等学校
13	山 城 夢 乃	Yumeno Yamashiro	15	女	美里高等学校
14	宮 里 あすか	Asuka Miyazato	17	女	宜野湾高等学校
15	嵩 本 哲 也	Tetsuya Takemoto	16	男	西原高等学校
16	西 筋 理 奈	Rina Irisuji	15	女	那覇高等学校
17	玉 城 智 佳	Chika Tamaki	18	女	沖縄女子短大附属高等学校
18	國 場 雄 作	Yusaku Kokuba	16	男	豊見城高等学校
19	又 吉 香穂利	Kahori Matayoshi	15	女	糸満高等学校
20	石 井 雄 大	Takehiro Ishii	17	男	八重山高等学校

県外内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名	
1	川 崎 麻奈美	Manami Kawasaki	13	女	鶴見中学校
2	金 城 香 奈	Kana Kinjo	13	女	鶴見中学校
3	與那嶺 美 香	Mika Yonamine	12	女	大阪市立天下茶屋中学校
4	糸 洲 久美子	Kumiko Itosu	17	女	明浄学院高等学校

平成14年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名
1	当間 嗣栄 マウリシオ Mauricio Shiei Touma	男	4世	ブラジル	ブラジル 沖縄県人会
2	高良 グラウシヤ ネンシー Glauca Nancy Takara	女	3世		
3	志良堂 ジャケリネ Jacqueline Shirado	女	4世		カンポグランデ 沖縄県人会
4	米須 トマス Tomas Komesu	男	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人 連合会
5	島袋 エリアーナ ビルヒーニア Eliana Virginia Shimabukuro	女	3世		
6	広中 山城 ルイス フェルナンド Luis Fernando Hironaka Yamagusuku	男	4世	ペルー	ペルー 沖縄県人会
7	ゴンザレス 平良 ハイメ Jaime Gonzales Taira	男	3世		
8	仲里 秋奈 Akina Nakazato	女	2世	ボリビア	ボリビア 沖縄県人会
9	ロニー ヴェレス 真栄城 Rony Velez Maeshiro	男	3世		
10	ナリマン ピーニャ フォンテ Narryman Piña Fonte	女	4世	キューバ	キューバ 沖縄県人会
11	清本・伊舎良 マッシュー 誠 Matthew Makoto Kiyomoto-Isara	男	4世	アメリカ	ハワイ 沖縄県人会
12	伊良波 クリストファー マイケル Christopher Michael Iraha	男	4世		
13	比嘉 クリスティン ミヨシ Cristan Miyoshi Higa	女	4世		北米 沖縄県人会
14	パウチャー 飛鳥 Asuka Christine Boutcher	女	2世		ワシントンD.C. 沖縄会
15	ジョナサン サンダース Johnathan David Saunders	男	3世		アトランタ 沖縄県人会
16	ジョセフ リー バザード Joseph Lee Buzzard	男	3世	北加 沖縄県人会	
17	藤田 エリザベス 由利子 Elizabeth Yuriko Fujita	女	2世	カナダ	トロント 球陽会
18	ミシェル アベダニア ペベニト Michelle Abedania Pebenito	女	3世	フィリピン	フィリピン 沖縄県人会
19	ジョネロバス コメロス イグナシオ Jonerobeth Comeros Ignacio	女	3世		
20	照屋 なつ子 Natsuko Teruya	女	2世	シンガポール	星琉会

海外引率者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名
1	具志堅 ジーナ 美千代	女	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	新里 ダニエル エステバン	男	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
3	赤嶺 光弘	男	1世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	エステル タマキ トーレス	女	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	呉屋 君子	女	1世	アメリカ	北米沖縄県人会
6	大城 順市	男	1世		北加沖縄県人会
7	藤田 みどり	女	1世	カナダ	トロント球陽会
8	エステーラ アレホ アドルフォ	女	2世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
9	橋本 真理	女	1世	シンガポール	星琉会

平成13年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏名	学名	学年	性別	学校名
1	知名倫子	Rinko China	小学4年	女	宜野座小学校
2	仲田尚仁	Naohito Nakada	小学4年	男	南風原小学校
3	又吉椎菜	Shiina Matayoshi	小学5年	女	漢那小学校
4	平良久美子	KuIniko Taira	小学5年	女	志真志小学校
5	仲本達郎	Tatsuro Nakalnote	小学5年	男	城西小学校
6	新垣史織	Shiori Arakaki	小学5年	女	知念小学校
7	目取真輔	Tasuku Medoruma	小学5年	男	北玉小学校
8	城間祥大	Shoudai Shiroma	小学6年	男	若狭小学校
9	照屋寛佳	Hiroyoshi Teruya	小学6年	男	城南小学校
10	玉城匠	Takumi Talnaki	中学1年	男	コザ中学校
11	知念鈴奈	Suzuna Chinen	中学1年	女	伊江中学校
12	仲間良成	Yoshinari Nakama	中学1年	男	越来中学校
13	牧山梨紗	Risa Makiyama	中学1年	女	沖繩尚学中学校
14	仲程祐介	Yusuke Nakahodo	中学1年	男	古蔵中学校
15	成底徹	Toru Narisoko	中学1年	男	港川中学校
16	仲里彩夏	Ayaka Nakazato	中学1年	女	知念中学校
17	屋嘉比梢	Kozue Yakabi	中学1年	女	東風平中学校
18	玉城彩衣	Ai Tamaki	中学1年	女	那覇中学校
19	松本佳子	Yoshiko MatsuInoto	中学1年	女	那覇中学校
20	東江真理子	Mariko Agarie	中学2年	女	伊江中学校
21	与那嶺悠	Haruka Yonamine	中学2年	男	伊良波中学校
22	古謝ちひろ	Chihiro Koja	中学2年	女	嘉手納中学校
23	比嘉紗苗	Sanae Higa	中学2年	女	鏡が丘養護学校
24	仲程若菜	Wakana Nakahodo	中学2年	女	古蔵中学校
25	平田吉郎	Yoshiro Hirata	中学2年	男	佐敷中学校
26	比嘉彩賀	Ayaka Higa	中学2年	女	松城中学校
27	比嘉亜樹	Aki Higa	中学2年	女	興南中学校
28	古堅葵	Aoi Furugen	中学3年	女	安田中学校
29	佐久川俊介	Shunsuke Sakugawa	中学3年	男	沖繩尚学中学校
30	謝花千夏	Chinatsu Jahana	中学3年	女	宮里中学校
31	普天間一樹	Kazuki Futenma	中学3年	男	小禄中学校
32	玉那覇優香	Yuka Tamanaha	中学3年	女	西原東中学校
33	宮城鮎子	Ayuko Mayagi	中学3年	女	西原東中学校
34	高田真奈美	Manami Takada	高校1年	女	小禄高等学校
35	翁長里美	Satomi Onaga	高校1年	女	小禄高等学校
36	上原恵理佳	Erika Uehara	高校1年	女	昭和薬科大学附属高等学校
37	与那覇恵梨	Eri Yonaha	高校1年	女	石川高等学校
38	德里麗華	Reika Tokuzato	高校1年	女	石川高等学校
39	中村晴枝	Harue Nakamura	高校1年	女	那覇国際高等学校
40	伊計美希	Miki Ikei	高校2年	女	宮古高等学校
41	仲宗根智世	Tomoyo Nakasone	高校2年	女	宮古農林高等学校
42	佐久田智世	Tomoyo Sakuda	高校2年	女	宮古農林高等学校
43	川口真未	Mami Kawaguchi	高校2年	女	首里東高等学校
44	池原理一	Riichi Ikehara	高校2年	男	普天間高等学校
45	宝蔵寺祐司	Yuji Hozoji	高校2年	男	普天間高等学校
46	仲間明奈	Akina Nakama	高校3年	女	宮古高等学校
47	茶奈畑美加	Mika Chabata	高校3年	女	小禄高等学校
48	新崎舞	Mai Arasaki	高校3年	女	小禄高等学校
49	比屋根恵美	Megumi Hiyane	高校3年	女	南風原高等学校
50	真謝絵美	Emi Maja	高校3年	女	名護高等学校

平成13年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	国 名	県 人 会 名	引 率 者
1	与儀 エリカ ERIKA YOGI	女	ブラジル	ブラジル沖縄県人会	松堂 ひろみ
2	太田 ゼオゴ DIOGO TAKAKE OTA	男			
3	知花 ムリロ MURILLO CHIBANA	男			
4	諸見里 春美 KARINEHARUMI MOROMIZATO	女			
5	崎間 ビクトル 達由鯉 VICTORTA TSUYURI SAKIMA	男			
6	宮里 昌宏 MARCELO MASAHIRO MIYAZATO UETA	男			
7	宮城 ガストン GASTON MIYASHIRO	男	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会	安里エステラ アレハンドラ
8	比嘉 フェルナルド FERNANDO EZEQUIEL HIGA	男			
9	玉那覇 ノルベルト NORBERTO TAMANAHA	男			
10	大城 ノエリア NOELIA OSHIRO	女			
11	伊芸 ヘラルド GERALDO IGEI KOHATSU	男	ペルー	ペルー沖縄県人会	仲宗根 吉修
12	亀甲 マサル MASARU ARTURO KAMEGO	男			
13	山城 イサベル ISABEL YAMASHIRO NAKACHI	女			
14	比嘉 盛繁 HECIOR ALEXANDER HIGA SHIROMA	男			
15	比嘉 恵理子 ERIKA CAROLINA HIGA YAMASHIRO	女	ボリビア	ボリビア沖縄県人会	安谷屋 敬
16	大城 ニカリ NIKARI OSHIRO MURARA	女			
17	中田 弘喜 FERNANDO HIROKI NAKATA	男			
18	仲村 美恵子 MIEKO NAKAMURA SOKEI	女			
19	仲村 ミツオ JOSE MITSUO NAKAMURA OROZCO	男	メキシコ	メキシコ沖縄県人会	中村 イルマ ヌネス
20	仲村 ヤスヒロ YASUHIRO NAKAMURA OROZCO	男			
21	島田 バグネル 和良 WAGNER KAZUYOSHI SHIMADA	男	ブラジル	カンポグランデ沖縄県人会	具志堅 弘
22	具志堅 ノブユキ ANDERSON NOBUYUKI GUSHIKEN	男			
23	古謝 景士 RAUL KEISHI KOJA	男	ベネズエラ	ベネズエラ沖縄県人会	古謝 いそえ
24	宜保 亜由美 カレン AYUMI KAREN GIBO	女	カナダ	バンクーバー沖縄友愛会	仲宗根 功
25	嶺井 真実 MELISSA MAMI MINEI	女			

平成13年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

26	金城 茜 MARGARET AKANE KINJO	女	カナダ	レスブリッジ沖縄県人会	浦崎 ジョージ
27	目取真 ジャネル ミホコ JANELLE MIHOKO MEDORUMA	女			
28	玉栄 チャールズ CHARLES MASATOMO TAMAE	男	アメリカ	北米沖縄県人会	前田 洋子 (北米沖縄県人会)
29	ジョセフ ジョーンズ JOSEPH FREDRIC JONES	男		サンディエゴ 沖縄県人会	
30	ブライアン デイビス BRYAN KIYOSHI DAVIS	男		ユタ州沖縄県人会	
31	デイビット レイモンド DAVID RICHARD RAYMOND	男		ワシントン沖縄県人会クラブ	トシコ バートリー
32	アリシア 恵子 ブレンズ ALICIA KEIKO BERENZ	女		シカゴ沖縄県人会	洋子 サンダリン (シカゴ沖縄県人会)
33	テイル リチャーズ DALE KAORU RICHARDS	男		遊友会	
34	ティファニー フィドラー TIFFANY FIEDLER	女		オハイオ 沖縄友の会	
35	比嘉 龍児 RYUJI HIGA	男		米国東海岸沖縄県人会	
36	落合 北斗 HOKUTO CREIG OCHIAI	男		ニューヨーク沖縄県人会	
37	ロバート ファンチェス ROBERT JAMES FUNCHES	男		ワシントンDC沖縄県人会	
38	ケイラ ケンプ KAYLA RENEE CAMP	女	アトランタ沖縄県人会		
39	アンディー ライダー ANDY KIYOSHI RIDER	男	D FW 沖縄県人会	ルイス 高江洲 佳代子 (アトランタ沖縄県人会)	
40	キム ビセット KIM BISSETTE	女	ジャクソンビル沖縄県人会		
41	マイケル ハーカー MICHAEL ALAN HARKA	男	フェイエットビル沖縄県人会		
42	クリスタル スワンソン CRYSTAL LYNN SWANSON	女	ペンサコーラ沖縄県人会		
43	テレサ マリコ モートン TERESA MARIKO MORTON	女	フロリダ沖縄郷友会(がじまる会)	引率者無し	
44	クリストファー ポーティン CRISTOPHER PORTIN	男	グアム沖縄県人会		
45	マリア ジェイリン ディキアツコ MA. JAYLYNC. DIQUIATCO	女	フィリピン	フィリピン沖縄県人会	トヨコ照屋エリセオ
46	チヨミ サンタローサ ランセス CHIYOMI STA. ROSA RANCES	女			
47	嶋崎 妙恵美 TAEMI SHIMAZAKI	女			
48	知念 賢吾 KENGO CHINEN	男	フランス	フランス沖縄県人会	知念 睦子
49	石垣 優児 YUJI JOE ISHIGAKI	男	イギリス	イギリス沖縄県人会	石垣 栄康
50	松川 ルカ LUCA TOM MUSASHI MATSUKAWA	男	ドイツ	ドイツ沖縄県人会	松川 カ

知 事 表 敬 式 次 第

日時：平成19年7月23日（月）

場所：県庁1階 県民ホール

司会：大城 眞幸（交流推進課長）

11:00	写真撮影（中庭）	
11:10	開 会	司会
11:12	参加者紹介	司会
11:15	歓迎の挨拶	沖縄県副知事 安里 カツ子
11:25	参加者代表挨拶	海外参加者代表 上江洲 シルビア 小百合 （ブラジル沖縄県人会） 県内参加者代表 川満 大祐 （西原高等学校）
11:30	閉 会	司会

ウェルカムパーティー式次第

日時：平成19年7月23日（月）18:30～20:00

場所：かんぽレクセンター 3F研修室

18:30	開 会	
18:32	歓迎の挨拶	沖縄県観光商工部参事監兼観光交流統括監 金城 秀雄
18:37	宣 誓	アトランタ沖縄県人会 トモコ・レネー・レオナード
18:40	乾杯の音頭	沖縄ブラジル協会 会長 西原 篤一
	食事・懇談	
19:30	余 興	司会：ジュニアスタディーツアー6期生 津波 義弥、池原 ななえ
19:30	琉球舞踊	宮城 聖乃（コザ高校）
19:35	三味線	宮里 賢征（ブラジル） ヴィヴィアネ ユミ ハラザキ（ブラジル） 大城 広大（ボリビア）
19:45	空手	ジョシワ マイケル キャンベル（カナダ）
19:50	伝統舞踊「ラバンデラス」	真栄城 仲宗根 カリーナ 初江（ペルー） 伊佐 与儀 幸子 カロリーナ（ペルー）
20:00	終 了	

さよならパーティー式次第

日時：平成19年7月29日（日）

場所：かんぽレクセンター体育館

司会：金城将吾 池原ななえ

17:00	開会	司会
17:02	乾杯の音頭	沖縄パンアメリカ連合会 会長 大山 盛稔
	食事・懇談	
17:30	エイサー演舞 「神々の詩」「五穀豊穰」	琉球国祭り太鼓
17:40	ボリビア民族舞踊 「タキラリ」	大城広大（ボリビア）クダカ 美咲（ボリビア） 儀間 いつ子（ボリビア）
17:45	アルゼンチン民族舞踊 「folklore」	新城 パブロ アリエル 仲宗根みゆき
17:50	サンバ「アクアレラド ブラジル」	上江洲 小百合 シルビア（ブラジル）
17:55	三線「豊年の歌」	狩俣 友恵
18:00	三線「ていんさぐの花」	真栄城 仲宗根 カリーナ 初江（ペルー）
18:05	空手演舞	宮城 玲奈（美里中）
18:10	ギター演奏「アコエ ソヨ」	クリスチアン サントス マカリンタル（フィリピン）
18:15	歌「アミーゴス」	南米参加者
18:20	歌「島唄」	アメリカ カナダ フィリピン ドイツの参加者
18:25	エイサー「ミルクムナリ」	参加者全員
18:30	合唱「島んちゅの宝」	参加者全員
18:35	カチャーシー「唐船ドーイ」	参加者全員
	～終了～	

ジュニアスタディーツアーグループ表

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
1	上原 善男 (男)	宮城 和哉 (男)	川満 大祐 (男)
	Yoshio Uehara	Kazuya Miyagi	Daisuke Kawamitsu
	日本	日本	日本
2	狩俣 友恵 (女)	与那覇 智都 (女)	宮城 玲奈 (女)
	Tomoe Karimata	Chisato Yinaha	Rena Miyagi
	日本	日本	日本
3	栗国 志帆 (女)	岸本 りいま (女)	瑞慶山 美咲 (女)
	Shiho Aguni	Riima Kishimoto	Misaki Zukeyama
	日本	日本	日本
4	上間 瑞樹 (女)	クリスティーナ チハル ヘンリー (女)	宇座 愛希 (女)
	Mizuki Uema	Christina Chiharu Henry	Aiki Uza
	日本	アメリカ	日本
5	比嘉 紀乃 (女)	ジョシア マイケル キャンベル (男)	マケラ レネー コール (女)
	Kotono Higa	Joshua Michael Campbell	Michaela Rene Cole
	ドイツ	カナダ	アメリカ
6	トモコ レネー レオナード (女)	伊佐 与儀 幸子 カロリーナ (女)	仲宗根 ゆかり (女)
	Tomoko Renee Leonard	Isa Yogui Sachiko Carolina	Yukari Nakasone
	アメリカ	ペルー	アルゼンチン
7	宮里 賢征 (男)	上江洲 小百合 シルビア (女)	ヴィヴィアネ ユミ ハラザキ (女)
	Miyazato Ueta Maury Massayuki	Uezu Silvia Sayuri	Viviana Yumi Harasaki
	ブラジル	ブラジル	ブラジル
引 率	カネシロ ジョゼ マツオ (男)	儀間 いつ子 (女)	城間 呉屋 カリーナ ジゼーレ (女)
	Kaneshiro Jose Matsuo	Itsuko Gima	Shiroma Goya Karina Gisselle
	ブラジル	ボリビア	ペルー

ジュニアスタディーツアーグループ表

	Dグループ	Eグループ
1	許田 侑加 (女)	源河 花乃子 (女)
	Yuka Kyoda	Kanoko Genka
	日本	日本
2	金城 華奈子 (女)	宮城 聖乃 (女)
	Kanako Kinjyou	Shono Miyagi
	日本	日本
3	安里 巽 (女)	玉城 美耶子 (女)
	Tatsumi Asato	Miyako Tamaki
	日本	日本
4	クリスチアン サントス マカリンタル (男)	ジャスティン トヨサト (男)
	Christian Santos Macalintal	Justin Toyosato
	フィリピン	アメリカ
5	マーロウ 麗矢 (女)	新城 パブロ アリエル (男)
	Marlow Laiya	Aragusuku Pablo Ariel
	アメリカ	アルゼンチン
6	真栄城 仲宗根 カリーナ 初江 (女)	クダカ 美咲 (女)
	Maeshiro Nakasone Karina Hatsue	Misaki Kudaka
	ペルー	ボリビア
7	大城 広大 (男)	
	Kodai Oshiro	
	ボリビア	
引 率	マユミ マーレイン コール (女)	
	Mayumi Marlene Cole	
	アメリカ	